

2017年2月分新聞書評



「超」世界史・日本史～大学入試問題で読み解く～(文春新書 1111)

片山 杜秀 著

文藝春秋

東大、京大、一橋、早慶の歴史記述問題に、日本思想史を専門とする片山杜秀教授が挑戦。イスラム世界を遡り、帝国憲法を読み解き、中国史の肝を?む良問を厳選して収録する。『文藝春秋 SPECIAL』掲載を書籍化。

2016:12./ 237p

978-4-16-661111-9

本体 ¥860+税



産経新聞 2017/02/04



トランプは世界をどう変えるか?～「デモクラシー」の逆襲～(朝日新書 599)

エマニュエル・トッド、佐藤 優 著

朝日新聞出版

虐げられたプロレタリアの不安と怒りを背景に就任するトランプ米国大統領。「米第一主義」は世界にどんな影響をもたらすのか? 日米安保はどうなるか。戦争のリスクは増大するか。トランプ以後の世界、日本を読み解く。

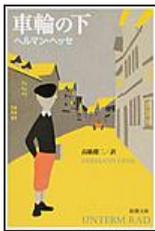
2016:12./ 173p

978-4-02-273699-4

本体 ¥720+税



産経新聞 2017/02/05



車輪の下 改版(新潮文庫 へ-1-3)

ヘンルマン・ヘッセ 著

新潮社

ひたむきな自然児であるだけに傷つきやすい少年ハンスは、勉強にうちこみ、中学校の入学試験に通るが、そこでの生活は少年の心理を踏みじめる規則づくめのものだった。彼は学校を去って見習い工として出なおそうとし...

2015:6./ 246p

978-4-10-200103-5

本体 ¥340+税



産経新聞 2017/02/05



パリの福澤諭吉～謎の肖像写真をたずねて～

山口 昌子 著

中央公論新社

フランスの人類学者が「日本人の典型的な知識階級の顔」として紹介した「一万円札の肖像画になる前の無名の青年武士の肖像写真」が放つ激しいオーラ...。遣欧使節団としてパリに滞在した福澤諭吉の足跡を明かす。

2016:11./ 321p

978-4-12-004916-3

本体 ¥1,600+税



産経新聞 2017/02/05



かぼちゃを塩で煮る

牧野 伊三夫 著

幻冬舎

明けても暮れても、食べることを考えている“食いしん坊”画家は、何を好み如何に食べてきたか。きらずまめし、砂肝の前菜、野菜と鶏、まずいまぐろのおいしい食べ方など、美味探求の記録を絵とともに紹介する。

2016:12./ 213p

978-4-344-03047-3

本体 ¥1,300+税



産経新聞 2017/02/05

- ご注文の際には、タイトル・出版社名・価格のほか、ISBNも併せてお知らせください。
- 原価の改定、為替相場の変動などの理由により価格を変更する場合がございます。予めご了承の程お願い申し上げます。
- ご注文、ご照会は弊社本・支店・営業部(課)までお申し付けください。
- 表示価格は2017年2月時点での税抜価格です。



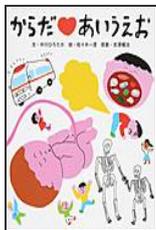
深い穴に落ちてしまった

イバン・レピラ、白川 貴子 著
東京創元社

名も年もわからない兄弟が穴に落ちて、出られなくなりました。なぜ章番号が素数のみなのか。文章に織り交ぜられた不思議な暗号が示すものとは。綿密に構成され、さまざまな寓意に彩られた物語。

産経新聞 2017/02/05

2017:1./ 125p
978-4-488-01067-6
本体 ¥1,500+税



からだ?あいうえお

保育社

「あしはだいにのしんぞうだ」「いちょうがげんきでいいちようし」…。子どもの病気や健康法について、あいうえお順にわかりやすいイラストで示した絵本。見返しに人体のイラスト、ジャケット裏に「あいうえおひょう」あり。

産経新聞 2017/02/05

2017:1./ 32p
978-4-586-08565-1
本体 ¥1,600+税



神社の解剖図鑑<2> 神様とご利益の深い関係の読み解き方

本間 美加子 著
エクスマレッジ

商売繁盛、恋愛、縁切りの神様はもちろんのこと、体の各パーツを守る神様から、ペットの神様まで、具体的にわがままな願いに耳を傾けてくれる神社をご利益別に紹介します。掲載神社データリスト付き。

産経新聞 2017/02/05

2017:1./ 159p
978-4-7678-2266-2
本体 ¥1,600+税



「文明の衝突」はなぜ起きたのか～対立の煽動がテロの連鎖を生む～(犀の教室)

薬師院 仁志 著
晶文社

起きているのはイスラム教圏とキリスト教圏の衝突ではない。格差との闘い、不平等の連鎖との闘いである! 闘争と葛藤が繰り返されてきたヨーロッパ・中東の歴史的経緯を振り返りつつ、世界の緊張を解くための処方箋をさぐる。

産経新聞 2017/02/05

2017:1./ 229p
978-4-7949-6828-9
本体 ¥1,600+税



ジ・アート・オブ・シン・ゴジラ～映画『シン・ゴジラ』公式記録集～(バラエティ)

グラウンドワークス

映画制作のために描かれたデザイン画、イメージボード、資料写真等を収録し、スタッフインタビューやメイキング記録を網羅した、500 ページを超える『シン・ゴジラ』の公式記録集。

産経新聞 2017/02/05

2016:12./ 560p
978-4-905033-08-0
本体 ¥9,800+税



しんせかい

山下 澄人 著
新潮社

19歳の山下スミは演劇塾で学ぶため北を目指す。辿り着いた先の<谷>では、俳優や脚本家志望の若者たちが自給自足の共同生活を営んでいた…。文学界の異端者が自らの原点を描き出す。『新潮』掲載を単行本化。

産経新聞 2017/02/05、読売新聞 2017/02/05、日本経済新聞 2017/02/12

2016:10./ 163p
978-4-10-350361-3
本体 ¥1,600+税





五番町夕霧楼(P+D BOOKS)

水上 勉 著
小学館

昭和 20 年代半ば、京都で遊郭の娼妓となった片桐夕子、19 歳。夕子の最初の客で頻繁に通ってくる修行僧・櫛田正順が前代未聞の大事件を起こし…。実際に起きた事件と対峙した著者が、それぞれの人物像を丹念に描く。

産経新聞 2017/02/11

2016:11./ 227p
978-4-09-352285-4

本体 ¥500+税



テレビ・ドキュメンタリーを創った人々

NHK 放送文化研究所 編
NHK出版

多様に自己更新しながら発展してきたテレビ・ドキュメンタリー。ディレクター、カメラマンら、番組制作に携わったさまざまな“創り手”たちの仕事ぶりに迫る。『放送研究と調査』連載「テレビ制作者研究」シリーズを書籍化。

産経新聞 2017/02/12

2016:12./ 510p

978-4-14-081711-7

本体 ¥3,500+税



都政大改革～小池百合子知事&「チーム小池」の戦い～(扶桑社新書 226)

野田 数 著
育鵬社

混迷の築地移転問題、暗雲の東京五輪、伏魔殿の都庁、都議会との攻防…。課題山積の首都・東京を、どう改革するのか? 小池知事を支える特別秘書が、小池都政の全貌を明かす。

産経新聞 2017/02/12

2016:12./ 175p

978-4-594-07595-8

本体 ¥800+税



あめ

イブ・スパンク・オルセン 著
亜紀書房

ある雨の日のこと。シャロtteが窓の外を見ていると、大きな雨粒がふたつ、家の中に飛び込んできました。雨粒は、バラバラとポトポトという名前です。シャロtteが、雨が降るしくみについてたずねると…。

産経新聞 2017/02/12

2017:1./ 1冊(ページ付なし)

978-4-7505-1497-0

本体 ¥1,300+税



不屈の日本人

関 厚夫 著
イースト・プレス

岡本太郎が感嘆した縄文文化が宿る蝦夷・北の風土、戦中に「帝王・カラヤン」を地下室にかくまった東洋の歌姫・田中路子…。東北を中心に日本の歴史と人物を掘り起こし、不屈の魂の源流を探る。『産経新聞』掲載を書籍化。

産経新聞 2017/02/12

2017:1./ 271p

978-4-7816-1507-3

本体 ¥1,500+税



毒舌の作法～あなたの“武器”となる話し方&書き方、教えます～(ワニブックス PLUS 新書 185)

吉川 潮 著
ワニブックス

毒舌と悪口はどこが違うのか。毒舌を吐くため、書くために必要な態度とは。辛口評論家として知られる作家が、新聞や雑誌のコラムに書いた実例を挙げながら、「正しい毒舌」をこと細かに解説する。

産経新聞 2017/02/12

2017:2./ 255p

978-4-8470-6108-0

本体 ¥880+税





ぬり絵コミックまめねこ

ねこまき 著

さくら舎

自分だけの可愛いまめねこができるぬり絵コミック。書き込み式。

産経新聞 2017/02/12

2017:2./ 111p

978-4-86581-090-5

本体 ¥800+税



1984年のUWF

柳澤 健 著

文藝春秋

キックと関節技で戦い、厳格なルールが適用される、そんな UWF を、観客たちは真剣勝負の格闘技とみなした。1984年に誕生した UWF の全貌を、そこに関わった男たちの物語とともに描く。『ナンバー』連載を単行本化。

産経新聞 2017/02/12、日本経済新聞 2017/02/19

2017:1./ 411p

978-4-16-390594-5

本体 ¥1,800+税



世にも奇妙な人体実験の歴史(文春文庫 S19-1)

トレヴァー・ノートン 著

文藝春秋

性病、寄生虫、コレラ、ペスト……人類を絶滅の危機から救った医学の発展の裏には、多くの科学者による果敢な自己人体実験があった。

産経新聞 2017/02/18

2016:11./ 457p

978-4-16-790739-6

本体 ¥1,000+税



落語と歩く(岩波新書 新赤版 1642)

田中 敦 著

岩波書店

「八つっあん」「喜いやん」になったつもりで落語の舞台を歩いてみると、昔と今が行きかう東京や大阪の姿が見えてくる。全国の落語ゆかりの地を訪ね歩いている著者による、落語フィールドウォークのすすめ。

産経新聞 2017/02/19

2017:1./ 3p,211p,36p

978-4-00-431642-8

本体 ¥840+税



うちってやっぱりなんかへん?

トールル・コーヴェ、青木 順子 著

偕成社

おしゃれな家にへんてこな自転車。私はふつうがよかったのに。ノルウェー出身のアカデミー賞監督が描く7歳の少女の悩める日々。

産経新聞 2017/02/19

2017:2./ 39p

978-4-03-348350-4

本体 ¥1,500+税



暗黒の巨人軍論(角川新書 K-124)

野村 克也 著

KADOKAWA

醜聞、疑惑、凡プレー続出…。巨人軍のスクandalが止まらない。球界の盟主に何が起きているのか? エリート集団墮落の原因はどこにあるのか? 帝国の闇を野村克也が斬る。

産経新聞 2017/02/19

2017:2./ 200p

978-4-04-082094-1

本体 ¥800+税





日本エリートはズレている(角川新書 K-121)

道上 尚史 著
KADOKAWA

外国に対し、「日本のマネばかり」「石油が出るだけのラッキーな国」と上から目線
を続ける日本の”グローバルエリート”。中国、韓国、そしてドバイでさまざまな外国
人と交流を持つ現役外交官が本気で警鐘を鳴らす。

2017:1./ 233p
978-4-04-082101-6
本体 ¥800+税



産経新聞 2017/02/19



小林カツ代伝～私が死んでもレシピは残る～

中原 一歩 著
文藝春秋

料理本 230 冊以上、考案したレシピは 1 万超。天性の舌を持つ不世出の料理研
究家・小林カツ代。その波乱万丈の人生の光と影をレシピと共に描く。

2017:1./ 254p
978-4-16-390396-5
本体 ¥1,500+税



産経新聞 2017/02/19



招待状(赤川次郎ショートショート王国)

赤川 次郎 著
光文社

赤川次郎のファンクラブ会誌『三毛猫ホームズの事件簿』掲載のショートショートを
集成。ミステリー、サスペンス、ファンタジー…。会員から募集したタイトルを元に創
作した 27 の物語を収録。文庫も同時刊行。

2017:2./ 230p
978-4-334-91147-8
本体 ¥1,300+税



産経新聞 2017/02/19



何がちがう?どうちがう?似ている日本語

佐々木 瑞枝 著
東京堂出版

「あがる」と「のぼる」、「返す」と「戻す」、「不在」と「留守」…。似ている日本語のビミ
ョーなニュアンス、教えます! 日本人が意外と知らない似ていることばの使い分け
を、日本語教育の第一人者である著者が解説します。

2017:2./ 163p
978-4-490-20959-4
本体 ¥1,200+税



産経新聞 2017/02/19



富国と強兵～地政経済学序説～

中野 剛志 著
東洋経済新報社

経済力と政治力・軍事力との間の密接不可分な関係を解明する地政経済学で、
資本主義終焉論と地政学が復活する今と未来を読み解く。

2016:12./ 590p,48p
978-4-492-44438-2
本体 ¥3,600+税



産経新聞 2017/02/19



木槿の国の学校～おばあちゃんの回想録～ 改訂普及版

上野 幹久 編
上野 瓏子 著
梓書院

日本統治下の朝鮮の学校教育という制度の中に身を置き、子供たちと関わりなが
ら、戦中、戦後の激動期を気丈に生きた 1 人の女性教師の足跡。朝鮮統治のあり
のままの姿が見えてくる一冊。

2016:9./ 257p
978-4-87035-585-9
本体 ¥1,500+税



産経新聞 2017/02/19



宇宙はなぜ「暗い」のか? ~オルバースのパラドックスと宇宙の姿~

津村 耕司 著

ベレ出版

無限の空間に無限の恒星が一樣に散らばっているとしたら、空は全体が太陽面のように明るいはず? さまざまな角度から「宇宙の明るさ」について探ることでその疑問を解き明かし、宇宙の姿をとらえる。

産経新聞 2017/02/25

2017:1./ 191p

978-4-86064-501-4

本体 ¥1,500+税



* 9 7 8 4 8 6 0 6 4 5 0 1 4 *



白い衝動

呉 勝浩 著

講談社

スクールカウンセラーとして働く奥貫千早のもとに現れた高校 1 年の生徒・野津秋成は、「人を殺してみたい。できるなら、殺すべき人間を殺したい」と語りだした…。社会が抱える悪を問う、祈りに溢れた長編小説。

産経新聞 2017/02/26

2017:1./ 339p

978-4-06-220389-0

本体 ¥1,600+税



* 9 7 8 4 0 6 2 2 0 3 8 9 0 *



人工能はいかにして強くなるのか? ~対戦型 AI で学ぶ基本のしくみ~(ブルーボックス B-2001)

小野田 博一 著

講談社

チェス、チェッカー、囲碁などの対戦型 AI は、何を「思考」し、何を「学習」しているのだろうか。進化し続ける人工知能の基本から、「深層学習」「画像認識の原理」など、最新技術の核心までを解説する。

産経新聞 2017/02/26

2017:1./ 246p

978-4-06-502001-2

本体 ¥1,000+税



* 9 7 8 4 0 6 5 0 2 0 0 1 2 *



本を守ろうとする猫の話

夏川 草介 著

小学館

高校生の夏木林太郎は、祖父を突然亡くした。祖父が営んでいた古書店をたたみ、叔母に引き取られることになった林太郎の前に、人間の言葉を話すトラネコが現れ…。『STORY BOX』掲載に書き下ろしを加える。

産経新聞 2017/02/26

2017:1./ 222p

978-4-09-386463-3

本体 ¥1,400+税



* 9 7 8 4 0 9 3 8 6 4 6 3 3 *



さっぱりと欲ばらず

吉沢 久子 著

中央公論新社

99 歳の吉沢久子が、「さっぱりと欲ばらず生きる」ためにしてきたことや、世間体を気にしない素敵な生き方、家事を楽しくこなす方法などを綴る。「ご機嫌に生きるヒント」が満載。

産経新聞 2017/02/26

2017:2./ 205p

978-4-12-004941-5

本体 ¥1,300+税



* 9 7 8 4 1 2 0 0 4 9 4 1 5 *



「ジュニア」と「官能」の巨匠富島健夫伝

荒川 佳洋 著

河出書房新社

「ジュニア小説」というジャンルをひらき「官能」の巨匠であった伝説的作家の波瀾万丈の生涯と強烈な個性をえがく初の評伝。

産経新聞 2017/02/26

2017:1./ 317p

978-4-309-02541-4

本体 ¥2,900+税



* 9 7 8 4 3 0 9 0 2 5 4 1 4 *



芥川賞の偏差値

小谷野 敦 著
二見書房

芥川賞の受賞作は面白くない。同じ作家でも、ほかに面白い小説はあるのに、芥川賞は面白くないのを選ぶ。奇妙な文学賞、芥川賞の第1回から156回まで、164作の受賞作品全てに偏差値をつける捻破りな文学批評。

2017:3./ 365p
978-4-576-17029-9
本体 ¥1,500+税



産経新聞 2017/02/26



イルカと日本人～追い込み漁の歴史と民俗～

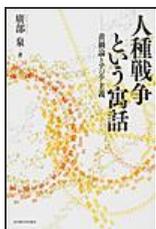
中村 羊一郎 著
吉川弘文館

かつて日本全国で行われていたイルカ追い込み漁の実態と歴史を、現地調査と資料を駆使して体系的に分析。追い込み漁批判に対して客観的な事実を提示する。また、イルカ食を通じて、伝統食のありようにも鋭く切り込む。

2017:1./ 17p,264p,8p
978-4-642-08305-8
本体 ¥2,400+税



産経新聞 2017/02/26



人種戦争という寓話～黄禍論とアジア主義～

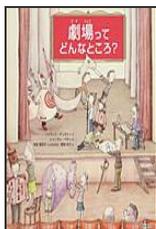
廣部 泉 著
名古屋大学出版会

欧米に広く見られた黄禍論的言説と、広い意味でのアジア主義は、相互に作用し合いながら、どのように日米関係に影響を与えてきたのか。1890年代半ばからアジア太平洋戦争終結に至る半世紀の歴史を検討する。

2017:1./ 4p,241p,47p
978-4-8158-0858-7
本体 ¥5,400+税



産経新聞 2017/02/26



劇場ってどんどこ?

西村書店

劇場へようこそ!演劇やバレエ、演奏会の舞台裏はどうなってるの?楽しいイラストで、演劇の歴史や世界の演劇事情も紹介。

2017:1./ 38p
978-4-89013-973-6
本体 ¥1,600+税



産経新聞 2017/02/26



ウィリアム・モリスの遺したもの～デザイン・社会主義・手しごと・文学～

川端 康雄 著
岩波書店

ヴィクトリア朝を代表する詩人、デザイナー、社会主義者のウィリアム・モリス。多彩な活動の全貌を追いながら、彼の思想と仕事の流儀を探り、柳宗悦、宮澤賢治らモリスに影響を受けた日本の芸術家・思想家たちの軌跡をたどる。

2016:12./ 7p,305p,12p
978-4-00-022233-4
本体 ¥2,600+税



朝日新聞 2017/02/05



読んじゃいなよ!～明治学院大学国際学部高橋源一郎ゼミで岩波新書をよむ～ (岩波新書 新赤版 1627)

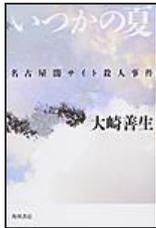
高橋 源一郎 編
岩波書店

稀代の読み手・高橋源一郎が、ゼミの学生と岩波新書をトコトコ読んだ2年間の記録。新書執筆陣の鷺田清一、長谷部恭男、伊藤比呂美を交え、真剣勝負の対話を重ねる中から、いまどきの学生の等身大の不安や希望も見えてくる。

2016:11./ 2p,345p,26,5p
978-4-00-431627-5
本体 ¥980+税



朝日新聞 2017/02/05



いつかの夏～名古屋闇サイト殺人事件～

大崎 善生 著

KADOKAWA

「闇サイト」で集まった凶漢三人の犯行により命を落とした一人の女性がいた。彼女はなぜ殺されなくてはならなかったのか。そして何を残したのか。被害女性の生涯に寄り添いながら、事件に迫る長編ノンフィクション。

2016:11./ 374p

978-4-04-102522-2

本体 ¥1,600+税



朝日新聞 2017/02/05



黄金の時刻(とき)の滴り 改訂版(講談社文芸文庫 つ C2)

辻 邦生 著

講談社

それは<黄金の時刻>である現在を生きる喜びを喚起し、あるいは冥府へと下降していく作家の姿を描き出す。東西の文豪たちを創作へと突き動かしてきた思いの根源に迫る12の物語。

2017:1./ 441p

978-4-06-290343-1

本体 ¥1,900+税



朝日新聞 2017/02/05



天災と国防(講談社学術文庫 2057)

寺田 寅彦 著

講談社

標題作「天災と国防」ほか、自らの関東大震災経験を綴った「震災日記より」、デマに対する考察「流言蜚語」など、地震・津波・火災・噴火などについての論考やエッセイ全12編を収録。天災について再考するための必読書。

2011:6./ 204p

978-4-06-292057-5

本体 ¥780+税



朝日新聞 2017/02/05



カラスの教科書(講談社文庫 ま 75-1)

松原 始 著

講談社

カラスはお嫌いですか? 大丈夫、しばらく見ていれば好きにはならずとも、ちょっと興味が湧いて来ます。カラスの基礎知識、餌と博物学、Q&A、カラス度診断など、くちばしの先から脚の先までカラスのことがわかる本。

2016:3./ 361p

978-4-06-293357-5

本体 ¥720+税



朝日新聞 2017/02/05



書楼弔堂<破曉>(集英社文庫 き 15-4)

京極 夏彦 著

集英社

明治二十年代中頃、東京の外れに佇む三階建ての灯台のような異様な本屋「書楼弔堂」。無数の書物が揃うその店で、時代の移り変わりの中で迷える人々と彼らが探し求める本を店の主人が引き合わせていく。

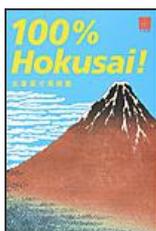
2016:12./ 536p

978-4-08-745522-9

本体 ¥800+税



朝日新聞 2017/02/05



北斎原寸美術館〜100% Hokusai!〜(100% ART MUSEUM)

葛飾 北斎 著

小学館

葛飾北斎の「富嶽三十六景」「百物語」をはじめとする錦絵、版本「伝神開手北斎漫画」「富嶽百景」、肉筆画「夏の朝」「鳳凰図」など代表作 100 点を迫力ある原寸図版で掲載。

2016:10./ 199p

978-4-09-682229-6

本体 ¥3,000+税



朝日新聞 2017/02/05



世紀のラブレター(新潮新書)

梯 久美子 著
新潮社

ゆかしき皇族の相聞歌から、来世の邂逅を願う伴侶の悲哀まで。明治から平成の100年、近現代史を彩った男女58人の類まれな、あられもない恋文の力をたどる異色ノンフィクション。

朝日新聞 2017/02/05

2008:7./ 206p
978-4-10-610272-1
本体 ¥680+税



火災の科学~火事のしくみと防ぎ方~(中公新書ラクレ 383)

辻本 誠 著
中央公論新社

ビル火災から家屋火災まで、これで万全!火災研究でわが国トップレベルにある、東京理科大学の研究成果をまとめて収録。写真・図表を多数収録し、火災がおこるしくみ、被害の現実、防災の心得などを解説する。

朝日新聞 2017/02/05

2011:3./ 229p
978-4-12-150383-1
本体 ¥840+税



Beastars<1>(少年チャンピオン・コミックス)

板垣 巴留 著
秋田書店

肉食獣と草食獣が共存する世界。そこには、希望も恋も不安もいっぱいあるんだ。チェリートン学園の演劇部員レゴシは、狼なのにとっても繊細。そんな彼が多くの動物たちと青春していく動物群像劇が始まる!!

朝日新聞 2017/02/05

2017:1./ 208p
978-4-253-22754-4
本体 ¥429+税



「快傑ハリマオ」を追いかけて

二宮 善宏 著
河出書房新社

1960年、テレビドラマ「快傑ハリマオ」が全国の少年の心を捉えた。その後、姿を消した主演男優のその後を追うノンフィクション。

朝日新聞 2017/02/05

2016:11./ 213p
978-4-309-02522-3
本体 ¥2,000+税



ユリシーズ 1-12

ジェイムズ・ジョイス、柳瀬 尚紀 著
河出書房新社

20世紀最高の小説を最強の翻訳で。小説技巧の全てを駆使して甦るダブリン1904年6月16日の「真実」。全18章中12章まで。

朝日新聞 2017/02/05

2016:12./ 572p
978-4-309-20722-3
本体 ¥4,500+税



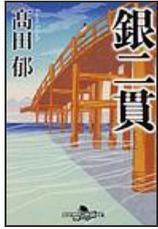
篝火~傑作歴史小説~(光文社文庫)

尾崎士郎 著
光文社

朝日新聞 2017/02/05

1990:1./ 268p
978-4-334-71083-5
本体 ¥408+税





銀二貫(幻冬舎時代小説文庫)

高田 郁 著
幻冬舎

大坂天満の寒天問屋和助は、仇討ちで父を亡くした鶴之輔を銀二貫で救う。人はこれほど優しく、強くなれるのか?一つの味と一つの恋を追い求めた若者の運命は?話題の新星・待望の文庫化。

2010:8./ 345p
978-4-344-41532-4
本体 ¥600+税



朝日新聞 2017/02/05



伝えることから始めよう

高田 明 著
東洋経済新報社

初の自著!高田明が語るとなぜ買いたくなるのか?「伝わるコミュニケーション」のベースとなる「人生哲学」を語り尽くした一冊。

2017:1./ 271p
978-4-492-04590-9
本体 ¥1,600+税



朝日新聞 2017/02/05



終幕のゆくえ~書き下ろし短編集~(双葉文庫 ま-21-09)

眉村 卓 著
双葉社

67歳の柴田一郎は、独り暮らしの無聊を慰めるべく、自分史を書きはじめ...。「自分史」をはじめ、人生の黄昏時を迎えた者たちに訪れる、奇妙であやしい出来事を描いた20の物語を収録する。

2016:12./ 321p
978-4-575-51956-3
本体 ¥657+税



朝日新聞 2017/02/05



声なき?~空也十番勝負 青春篇~<上>(双葉文庫 さ19-59)

佐伯 泰英 著
双葉社

直心影流の達人、坂崎磐音の嫡子・空也は、16歳で武者修行の旅に出る。向かったのは他国者を受け入れない“異国”薩摩。待ち受けるのは国境を支配する無法集団外城衆徒。空也は名を捨て、己に無言の行を課して国境を目指す。

2017:1./ 334p
978-4-575-66810-0
本体 ¥648+税



朝日新聞 2017/02/05



声なき?~空也十番勝負 青春篇~<下>(双葉文庫 さ19-60)

佐伯 泰英 著
双葉社

瀕死の状態で薩摩入りを果たした坂崎空也は、前藩主の御側用人・渋谷重兼とその孫娘に命を救われる。野太刀流の薬丸新蔵と切磋琢磨して薩摩剣法を極めていく空也。そんな中、空也を付け狙う外城衆徒が再び姿を現し...

2017:1./ 350p
978-4-575-66811-7
本体 ¥648+税



朝日新聞 2017/02/05



「山の不思議」発見!~謎解き登山のススメ~(ヤマケイ新書 YS033)

小泉 武栄 著
山と溪谷社

自然をよく観察して小さな謎を探し出し、それを解くことで自然の性質を学ぶ「知的登山」を提案。著者が実際に行った知的登山の事例を紹介し、日本の山の面白い現象や特色などを解説する。

2016:12./ 221p
978-4-635-51043-1
本体 ¥780+税



朝日新聞 2017/02/05



近代科学の形成と音楽

ピーター・ペジック 著

NTT出版

音楽なくして近代科学の発展はなかった! 科学者にしてプロのピアニストである著者が、音楽が天文学、数学、物理学、医学・生理学など、科学の幅広い分野に与えた影響を、歴史の流れに沿って紹介する。

2016:12./ 478p

978-4-7571-6065-1

本体 ¥5,000+税



朝日新聞 2017/02/05



知の仕事術(インターナショナル新書 001)

池澤 夏樹 著

集英社インターナショナル

反知性主義の流れに抗し、知識人という圧倒的少数派へ読者を導くために、これまでの作家活動から会得した池澤流スキルとノウハウを初公開。現代を知力でサバイバルするための実践技術を学ぶ。

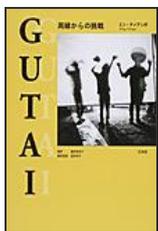
2017:1./ 221p

978-4-7976-8001-0

本体 ¥740+税



朝日新聞 2017/02/05



GUTAI~周縁からの挑戦~

ミン・ティアンボ、藤井 由有子、富井 玲子 著

三元社

戦後日本の前衛美術運動のなかで、今日欧米でも高く評価されている「具体美術協会」。彼らは、実験性を謳歌し、印刷媒体と郵便制度を斬新に用いて、モダニズムに<周縁>から挑戦した。その歴史をトランスナショナルに考える。

2016:11./ 263p

978-4-88303-413-0

本体 ¥4,000+税



朝日新聞 2017/02/05



江戸の火事(江戸時代史叢書 4)

黒木 喬 著

同成社

火事と喧嘩は江戸の華。世界にも類を見ないほど多発した火災を通して、都市の織りなす環境、武士の都としての特異な行政、そして江戸市民の生活を浮彫りにする。

1999:12./ 240p

978-4-88621-190-3

本体 ¥2,500+税



朝日新聞 2017/02/05



ウインドアイ(CREST BOOKS)

ブライアン・エヴンソン 著

新潮社

妹はどこへ消えたのか。それとも妹などいなかったのか? 得体の知れない不安と恐怖が、読者の現実をも鮮やかに塗り替えていく…。滑稽でいて切実な、知覚と認識をめぐる25の物語。「遁走状態」に続く短篇集。

2016:11./ 302p

978-4-10-590132-5

本体 ¥2,000+税



朝日新聞 2017/02/05、産経新聞 2017/02/12



出雲を原郷とする人々

岡本 雅享 著

藤原書店

神話の地・出雲から遠く離れた列島各地に、出雲という地名や神社が数多く存在するのはなぜか? 「出雲」発の人びとの移動の歴史を足で辿る、異色の移住・文化史。地図や写真も多数掲載。『山陰中央新報』連載を単行本化。

2016:11./ 350p

978-4-86578-098-7

本体 ¥2,800+税



朝日新聞 2017/02/05、東京・中日新聞 2017/02/05



猫俳句パラダイス(幻冬舎新書 く-5-3)

倉阪 鬼一郎 著
幻冬舎

ポケットに、いつも猫。147 の表題句のみならず、数百の引用句のすべてが猫・猫・猫。どのページから読み進めても愛らしい姿が現れます。猫好き、俳句好きのための珠玉の猫アンソロジー。

2017:1./ 187p
978-4-344-98449-3
本体 ¥780+税



朝日新聞 2017/02/05、読売新聞 2017/02/12



治安維持法小史(岩波現代文庫 学術 161)

奥平 康弘 著
岩波書店

本書は戦前日本の特異な治安立法がいかに運用され、敗戦後までの 20 年間にどう変容していったかを克明に描きだす。法の拡張解釈や恣意的な運用、鍵としての「国体」概念などを分析し、戦前社会の実像を読む最良の基本書。

2006:6./ 360p
978-4-00-600161-2
本体 ¥1,200+税



朝日新聞 2017/02/12



だしの神秘(朝日新書 602)

伏木 亨 著
朝日新聞出版

日本料理に絶対欠かせない「だし」。油脂や砂糖が一般に手に入らなかった日本で、だしが発展していった歴史をひもとき、合わせだしがうま味を最大限に引き出す理由を科学的に分析する。本当に旨いだしのとり方も大公開。

2017:1./ 239p
978-4-02-273702-1
本体 ¥760+税



朝日新聞 2017/02/12



将棋めし<1>(MF コミックフラッパーシリーズ)

松本 渚 著
KADOKAWA

前代未聞、将棋×めしの異色マンガ！ プロ棋士・峠なゆたが対局の休憩中に食べるメニューとは!? そして、それが将棋にどう影響するのか!? めしで勝敗が決まると言っても過言ではない！

2017:1./ 180p
978-4-04-068823-7
本体 ¥600+税



朝日新聞 2017/02/12



これからお祈りにいきます(角川文庫 つ 11-2)

津村 記久子 著
KADOKAWA

人型のはりぼてに神様にとられたくない物をめいめいが工作して入れるという奇祭の風習がある町に生まれ育ったシゲル。祭嫌いの彼が、誰かのために祈る——。不器用な私たちのまっすぐな祈りの物語。

2017:1./ 236p
978-4-04-104751-4
本体 ¥640+税



朝日新聞 2017/02/12



絶滅の地球誌(講談社選書メチエ 638)

澤野 雅樹 著
講談社

毎年、5 万の種が消滅する地球は「第六の絶滅」へと静かな行進を続けている。今まさに進行する「大絶滅」と、人間が手にした「核」という力の生成過程と 3 つの帰結を論じ、現代と未来における人間の立ち位置と行方を展望する。

2016:11./ 365p
978-4-06-258641-2
本体 ¥2,000+税



朝日新聞 2017/02/12



中世の声と文字～親鸞の手紙と『平家物語』～(集英社新書 0864)

大隅 和雄 著
集英社

中世日本の思想は「声」によって形成・伝達された。親鸞や法然、日蓮の「生の声」が詰まった手紙や、琵琶法師の「語り」で広まった『平家物語』の読解などを通して、中世の新たな側面を描く画期的な一冊。

2017:1./ 187p
978-4-08-720864-1
本体 ¥700+税



朝日新聞 2017/02/12



土の記<上>

高村 薫 著
新潮社

東京の大学を出て関西の大手メーカーに就職し、奈良県は大宇陀の旧家の婿養子となった伊佐夫。妻を交通事故で失い、古希を迎えた伊佐夫は、残された棚田で黙々と米をつくる…。『新潮』連載を加筆修正。

2016:11./ 248p
978-4-10-378409-8
本体 ¥1,500+税



朝日新聞 2017/02/12



土の記<下>

高村 薫 著
新潮社

雨の下でにわか農夫はじっと息を殺し、晴れば嬉々として田んぼへ飛び出す。男は土を耕し、鯰と遊ぶ。始まりも終わりもない、果てしない人間の物思いと、天と地と、生命のポリフォニー。『新潮』連載を加筆修正。

2016:11./ 251p
978-4-10-378410-4
本体 ¥1,500+税



朝日新聞 2017/02/12



応仁の乱～戦国時代を生んだ大乱～(中公新書 2401)

呉座 勇一 著
中央公論新社

室町後期、諸大名が東西両軍に分かれ、京都市街を主戦場として戦った応仁の乱。なぜ勃発し、どう終結に至ったか。長期化した理由とは。高い知名度とは対照的に、実態は十分知られていない日本史上屈指の大乱を読み解く。

2016:10./ 8p,302p
978-4-12-102401-5
本体 ¥900+税



朝日新聞 2017/02/12



『ヒットソング』の作りかた～大滝詠一と日本ポップスの開拓者たち～(NHK 出版新書 506)

牧村 憲一 著
NHK出版

数々の大物ミュージシャンの音楽プロデュースを手掛け、今日まで 40 年以上業界の最前線で活動を続けてきた伝説の仕掛人が、彼らの素顔と、長く愛され、支持され続けるものづくりの秘密を明らかにする。

2016:12./ 199p
978-4-14-088506-2
本体 ¥740+税



朝日新聞 2017/02/12



あなたの人生の意味～先人に学ぶ「惜しまれる生き方」～

デイヴィッド・ブルックス 著
早川書房

『ニューヨーク・タイムズ』の名コラムニストが、アイゼンハワーからモンテニューまで、さまざまな人生を歩んだ 10 人の生涯を通じて、現代人が忘れていた内的成熟の価値と「生きる意味」を根源から問い直す。

2017:1./ 478p
978-4-15-209666-1
本体 ¥2,300+税



朝日新聞 2017/02/12



デービッド・アトキンソン新・所得倍増論～潜在能力を活かせない「日本病」の正体と処方箋～

デービッド・アトキンソン 著

東洋経済新報社

「イギリス人アナリスト」シリーズ最後の一冊!GDP を 1.7 倍に、賃金を 2 倍に成長させるために必要な「戦略」のすべてを解説。

2016:12./ 305p
978-4-492-39635-3

本体 ¥1,500+税



朝日新聞 2017/02/12



三月(ポプラ文庫 お4-5)

大島 真寿美 著

ポプラ社

短大を卒業してから約 20 年。当時亡くなった男子学生の死に疑問を持ったノンには、かつての仲間と連絡を取る。それぞれの道を歩んできた彼女たち 6 人を待ち構えていたものは。かけがえのない友情と希望の物語。

2017:2./ 233p

978-4-591-15119-8

本体 ¥640+税



朝日新聞 2017/02/12



スノーデン、監視社会の恐怖を語る～独占インタビュー全記録～

小笠原 みどり 著

毎日新聞出版

米国の世界同時監視システムの真実を告発したスノーデンへインタビュー。スノーデンの日本での工作活動の全貌、通信傍受の実態、監視と戦争の危険な関係などを明らかにする。『サンデー毎日』『世界』連載をもとに書籍化。

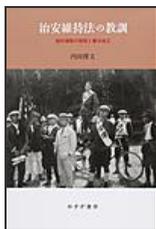
2016:12./ 191p

978-4-620-32410-4

本体 ¥1,400+税



朝日新聞 2017/02/12



治安維持法の教訓～権利運動の制限と憲法改正～

内田 博文 著

みすず書房

大正 14 年公布、改正の度に進化した治安維持法。帝国議会の審議と大審院判例から制定と運用の過程を読み解き、あらゆる「権利運動」を抑圧した法理論とその帰結を解明する。

2016:9./ 589p

978-4-622-08531-7

本体 ¥9,000+税



朝日新聞 2017/02/12



言葉の贈り物

若松 英輔 著

亜紀書房

読めなくなってもなお本を買い続けた父、自分を厳しく叱った元上司、思いを言葉にすること、書けない時間を愛しむこと…。日々の営みをめぐって、本当にだいたいなことをそっと語り出す書き下ろしエッセイ集。

2016:11./ 165p

978-4-7505-1490-1

本体 ¥1,500+税



朝日新聞 2017/02/12



負債論～貨幣と暴力の 5000 年～

デヴィッド・グレーバー、酒井 隆史、高祖 岩三郎、佐々木 夏子 著

以文社

現代人の首をしめあげる負債の秘密を、古今東西にわたる人文知の総結集をとおして貨幣と暴力の 5000 年史という壮大な展望のもとに解き明かす。資本主義と文明総体の危機に警鐘を鳴らしつつ、21 世紀の幕開けを示す書。

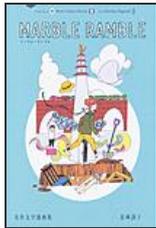
2016:11./ 7p,770p,66p

978-4-7531-0334-8

本体 ¥6,000+税



朝日新聞 2017/02/12



MARBLE RAMBLE～名作文学漫画集～

長崎 訓子 著

パイインターナショナル

皮肉と愛と毒気あふれる名作文学を、イラストレーター長崎訓子がコミック化。佐藤春夫「蝗の大旅行」、夏目漱石「変な音」、モーパッサン「髪」など全 11 話を収録する。

2015:8./ 140p

978-4-7562-4616-5

本体 ¥1,600+税



朝日新聞 2017/02/12



「共謀罪」なんていない?!～これってホントに「テロ対策」?～

斎藤 貴男、保坂 展人、足立 昌勝、海渡 雄一、山下 幸夫、山下 幸夫 編

斎藤 貴男、保坂 展人、足立 昌勝、海渡 雄一、山下 幸夫 著

合同出版

過去 3 度廃案となった「共謀罪」法案が「テロ等組織犯罪準備罪」と名前を変え、再び私たちの前に現れようとしている。共謀罪が引き起こす監視社会に警鐘を鳴らし続ける 5 人のスペシャリストが、共謀罪の問題点を指摘する。

2016:12./ 166p

978-4-7726-1232-6

本体 ¥1,400+税



朝日新聞 2017/02/12



わたつみ～三部作～

辻井 喬 著

思潮社

記憶はどこまでいってもその人だけのもの 名前のない鳥が せめて高く啼いて飛び立つ日 わたつみの空は晴れているだろうか 戦後の詩の見事な達成を鮮やかに刻印する記念碑。

2001:8./ 298p

978-4-7837-1248-0

本体 ¥3,800+税



朝日新聞 2017/02/12



失敗の科学～失敗から学習する組織、学習できない組織～

マシュー・サイド、有枝 春 著

ディスカヴァー・トゥエンティワン

だから人は、同じ過ちを繰り返すー。英タイムズも絶賛!22 カ国刊行の世界的ベストセラー、ついに日本上陸!

2016:12./ 343p

978-4-7993-2023-5

本体 ¥1,900+税



朝日新聞 2017/02/12



ゴシックハート(立東舎文庫 た3-1)

高原 英理 著

リットーミュージック

いくつかの飛躍と変質はありながらも一貫した世界を作り上げてきたのが「ゴシック」という名の感受性である。死と暗黒、耽美と残酷に彩られたゴシック世界の全貌を描く本格「ゴシック」評論。

2017:1./ 318p

978-4-8456-2984-8

本体 ¥900+税



朝日新聞 2017/02/12



西村雅彦の俳優入門～1 カ月で効果が出るセリフのメソッド～

西村 雅彦 著

飛鳥新社

俳優には役作りや理論などいらない。俳優の基本は「伝える」こと。俳優・西村雅彦がワークショップ指導の中で構築した、まったく演技経験がない人でも舞台に立つための練習方法をまとめる。実践的稽古を収録した DVD 付き。

2016:12./ 109p

978-4-86410-526-2

本体 ¥1,574+税



朝日新聞 2017/02/12



冬の本

北條 一浩 編
夏葉社

冬に読んだ本、冬になると思い出す本、まるで冬のような本…。エッセイストや書店員、コラムニストら 84 人が、「冬の本」という 1 つの言葉をめぐって、そこから発想できることを自由に綴る。

2012:12./ 196p
978-4-904816-07-3
本体 ¥1,700+税



朝日新聞 2017/02/12



メシュガー

アイザック・B.シンガー、大崎 ふみ子 著
吉夏社

常に死を意識しながらも新たな生を模索するユダヤ難民たち。作家アーロンは、その中の一人、ミアムに強く惹かれる。やがて彼女の<暗黒>の過去が暴かれ…。著者が自らの作家人生をリアルに織り込みながら描く最晩年の長篇。

2016:12./ 334p
978-4-907758-25-7
本体 ¥2,600+税



朝日新聞 2017/02/12



汚れた戦争～1914-1918～

タルディ、ヴェルネ 著
共和国/editorial republica

ひとりの兵士による定点観測のようにして、第一次世界大戦の戦地でのさまざまなエピソード、多くの死が語られるコミック。大戦研究者ヴェルネによる、殺戮現場の悲惨さを補強する日録と写真も収録する。

2016:12./ 173p
978-4-907986-13-1
本体 ¥3,500+税



朝日新聞 2017/02/12



ロシア革命～破局の8か月～(岩波新書 新赤版 1637)

池田 嘉郎 著
岩波書店

ロシア革命から 100 年。これまで革命の障害のように見なされてきた立憲主義者・自由主義者らの奮闘に光をあて、新たな社会を模索した人びとが時代に賭けていた思いや挫折を臨場感ある筆致で描き出す。

2017:1./ 14p,232p,4p
978-4-00-431637-4
本体 ¥840+税



朝日新聞 2017/02/12、日本経済新聞 2017/02/26



シルバー・デモクラシー～戦後世代の覚悟と責任～(岩波新書 新赤版 1610)

寺島 実郎 著
岩波書店

戦後民主主義、高度成長の恩恵を受けてきた団塊の世代は「与えられた民主主義」をどう超克するのか。4000 万人高齢者社会の到来を見据え、シルバーが貢献する新たな参画型社会の構築を提言する。

2017:1./ 14p,200p
978-4-00-431610-7
本体 ¥760+税



朝日新聞 2017/02/19



トヨタの野望～小説・巨大自動車企業～

梶山 三郎 著
講談社

失われた 20 年を高度成長期のように駆け抜けた巨大自動車企業は、日本経済最後の砦。気鋭の経済記者が覆面作家となって、メディア禁制・28 兆円のタブーに挑む!

2016:10./ 381p
978-4-06-219607-9
本体 ¥1,700+税



朝日新聞 2017/02/19



竜は動かさず～奥羽越列藩同盟?末～<上> 万里波濤編

上田 秀人 著
講談社

仙台藩士の玉虫左太夫は、学問を究めるため江戸へ出奔。幕府の学者邸で下働きを数年務めたのち、外国奉行の従者の座を?み取る。安政7年1月、左太夫は品川沖を出航した…。『東奥日報』『福島民報』ほか連載に加筆し書籍化。

朝日新聞 2017/02/19

2016:12./ 315p
978-4-06-220363-0
本体 ¥1,600+税



竜は動かさず～奥羽越列藩同盟?末～<下> 帰郷奔走編

上田 秀人 著
講談社

帰国した左太夫は、藩から京洛の動静を探るよう命じられる。西国の情報を仕入れていると、薩摩と会津が手を組むという事態が。めまぐるしい政変に、左太夫は急ぎ国元へ…。『東奥日報』『福島民報』ほか連載に加筆し書籍化。

朝日新聞 2017/02/19

2016:12./ 314p
978-4-06-220364-7
本体 ¥1,600+税



上京ものがたり

西原 理恵子 著
小学館

東京に来て最初に気づいた事は、私がこの日のために用意したお気に入りのクツや洋服ぜんぶがものすごくかっこ悪かった事だ?。東京で一人暮らしをしている全ての女の子たちに読んでもらいたい、絵本のようなオールカラー本。

朝日新聞 2017/02/19

2004:11./ 1冊
978-4-09-179274-7
本体 ¥781+税



昭和最後の日～テレビ報道は何を伝えたか～(新潮文庫 に-31-1)

日本テレビ報道局天皇取材班 著
新潮社

昭和天皇吐血の大スクープを報じたその瞬間から、激動の昭和が終焉へと向かう最後のドラマが始まった。マスコミは連日病状を速報し、ついに崩御の時が訪れる…。テレビ報道の真実を克明に綴るドキュメンタリー。

朝日新聞 2017/02/19

2015:8./ 524p
978-4-10-126011-2
本体 ¥750+税



グッドモーニング(新潮文庫 nex さ-85-3)

最果 タヒ 著
新潮社

飛んだ破片がガラスのように反射して、これがみんなの朝焼けになるのだと知った。世界と言語を破壊していく暴力と妄想。中原中也賞に輝いた鮮烈なる第1詩集。単行本未収録作品9篇を収録して文庫化。

朝日新聞 2017/02/19

2017:2./ 126p
978-4-10-180089-9
本体 ¥430+税



セブティウイザン 1(パンチコミックス)

タイム 涼介 著
新潮社

その日、江月朝一(65歳)は定年退職を迎えた。家に帰ると妻、夕子(70歳)から信じられない事実を告げられる。「私、妊娠しました」。超高齢出産夫婦がおりなす全く新しい家族の物語が始まる。夫婦の愛に、あなたもきっと涙する。

朝日新聞 2017/02/19

2017:2./ 176p
978-4-10-771951-5
本体 ¥580+税





入門!進化生物学～ダーウィンから DNA が拓く新世界へ～(中公新書 2414)

小原 嘉明 著
中央公論新社

奇妙な姿かたちも、進化のたまもの!生物の多様な姿や驚きの行動が、どのようにして生じたのかを解説。さらに、中立進化説、分子遺伝学や行動生物学といった最新の知見を紹介する。

2016:12./ 2p,271p
978-4-12-102414-5
本体 ¥880+税



朝日新聞 2017/02/19



天皇の影法師(中公文庫 い108-4)

猪瀬 直樹 著
中央公論新社

天皇崩御の朝、何が起こったのか?歴代天皇の柩を担いできた八瀬童子とは?最晩年の森?外はなぜ「元号考」に執念を燃やしたのか?天皇というシステムに独自の切り口と取材で迫る。東浩紀と著者の対談も収録。

2012:4./ 309p
978-4-12-205631-2
本体 ¥667+税



朝日新聞 2017/02/19



動物農場 新訳版(ハヤカワ epi 文庫 87)

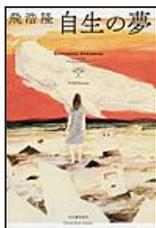
ジョージ・オーウェル 著
早川書房

動物たちは飲んだくれの農場主を追い出し理想的な共和国を築こうとするが.....。全体主義やスターリン主義への痛烈な批判を寓話的に描いた作品

2017:1./ 206p
978-4-15-120087-8
本体 ¥700+税



朝日新聞 2017/02/19



自生の夢

飛 浩隆 著
河出書房新社

73 人を言葉だけで死に追いやった殺人者が、怪物(忌字禍)を滅ぼすために召還される。表題作他、飛浩隆 10 年ぶり待望の作品集。

2016:11./ 281p
978-4-309-02521-6
本体 ¥1,600+税



朝日新聞 2017/02/19



ぼくらのミステリ・クロニクル

空犬 太郎 編
戸川 安宣 著
国書刊行会

伝説の叢書「日本探偵小説全集」を企画する一方、多くの新人作家を発掘した名編集者、戸川安宣。ミステリを愛する名伯楽が、幼い頃の読書体験から、編集者として関わってきた人々、ミステリ専門書店の運営までを語る。

2016:11./ 432p,15p
978-4-336-05896-6
本体 ¥2,700+税



朝日新聞 2017/02/19



引揚げ文学論序説～新たなポストコロニアルへ～

朴 裕河 著
人文書院

帝国日本の解体とともに満洲、朝鮮、中国から帰国して作家となり、苛酷な引揚げ体験を苦しみながら表現したものたちがいた。それらを「引揚げ文学」と名付け総括した、戦後史を揺さぶる画期的論考。

2016:11./ 208p
978-4-409-16099-2
本体 ¥2,400+税



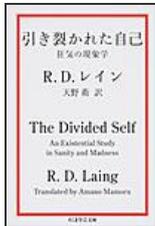
朝日新聞 2017/02/19

**外遊日記(三島由紀夫のエッセイ 3)**三島由紀夫 著
筑摩書房

アメリカ、スペインなどを訪れた際の見聞録、紀行文、観劇記からなる『旅の絵本』など外国旅行が不自由な時代の旅日記。

1995:6./ 310p
978-4-480-03046-7
本体 ¥660+税

朝日新聞 2017/02/19

**引き裂かれた自己～狂気の現象学～(ちくま学芸文庫 レ7-1)**R.D.レイン 著
筑摩書房

統合失調症とは、苛酷な現実から自己を守ろうとする決死の努力である。患者の世界に寄り添い、反精神医学の旗手となったレインの主著、改訳版。

2017:1./ 360p
978-4-480-09769-9
本体 ¥1,300+税

朝日新聞 2017/02/19

**職場がヤバイ!不正に走る普通の人たち**前田 康二郎 著
日本経済新聞出版社

「まさか」はこうして始まる! 経理を専門とする著者が、会社における不正がどのような心理状態、組織体制で発生しやすいのかを解説し、口止めされたときや強要されそうになったとき、どのように対応すればよいかを記す。

2016:12./ 259p
978-4-532-32122-2
本体 ¥1,600+税

朝日新聞 2017/02/19

**レジリエンス～こころの回復とはなにか～(文庫クセジュ 1009)**セルジュ・ティスロン 著
白水社

人によって困難な状況はさまざまである。それぞれの困難に向き合いその先に進むために。精神医学におけるレジリエンス研究の現状とは。

2016:12./ 174p,7p
978-4-560-51009-4
本体 ¥1,200+税

朝日新聞 2017/02/19

**教養としての「世界史」の読み方**本村 凌二 著
PHPエディターズ・グループ

歴史は「人類の経験」の集大成。現代を読み解くヒントは、世界史の中にある。グローバル時代に必須の「教養世界史」の読み方を解説。

2016:12./ 301p
978-4-569-83194-7
本体 ¥1,800+税

朝日新聞 2017/02/19

**洞窟ばか～すきあらば、前人未到の洞窟探検～**吉田 勝次 著
扶桑社

ときに 10 日間以上洞窟に入りっぱなしのことも。何度死にかけても、暗闇の先にある誰も見たことのない世界がどうしても見てみたい! 洞窟探検家が自身の半生を振り返りながら、洞窟愛を綴る。

2017:1./ 239p 図版
16p
978-4-594-07625-2
本体 ¥1,400+税

朝日新聞 2017/02/19



日本年号史大事典

所 功、久禮 且雄 著
雄山閣

大化から平成にいたる日本公年号 247 について、改元年月日、使用期間、改元理由、読み方、当該年間の主な出来事、改元の経緯及び特記事項などを記載。日本年号制度の成立と展開についても詳しく解説する。

朝日新聞 2017/02/19

2017:1./ 806p
978-4-639-02436-1
本体 ¥9,200+税



ブルマーの謎〜<女子の身体>と戦後日本〜

山本 雄二 著
青弓社

ブルマーは導入当初から性的なまなざしにさらされてきた。にもかかわらず、学校現場で存続してきたのはなぜか。綿密な資料探索と聞き取り調査で、その「謎」を解き明かし、戦後日本の女性観の変容と軌轢を浮き彫りにする。

朝日新聞 2017/02/19

2016:12./ 201p
978-4-7872-3410-0
本体 ¥2,000+税



猫の日本史〜猫と日本人がつむいだ千三百年の物語〜(歴史新書)

桐野 作人 著
洋泉社

古代の天皇から禅僧、武士、江戸の庶民に至るまで多くの人々に愛されてきた猫たち。残された数少ない記録から、猫の暮らしや、猫を中心とする人々の交流等を丹念に描き出し、一千年以上におよぶ猫と日本人のかかわりをたどる。

朝日新聞 2017/02/19

2017:1./ 287p
978-4-8003-1130-6
本体 ¥1,050+税



アラサーの平成ちゃん、日本史を学ぶ〜日本人だから知りたい!〜(BAMBOO ESSAY SELECTION)

もぐら、藤井 青銅 著
竹書房

本邦初!元号擬人化!マンガと年表で丸わかり!!今はなぜ「平成」なのか?そんな疑問に、平成ちゃんたちが答えます!!

朝日新聞 2017/02/19

2015:4./ 191p
978-4-8019-0231-2
本体 ¥1,200+税



キャッツ・アイ

マーガレット・アトウッド、松田 雅子、松田 寿一、柴田 千秋 著
開文社出版

カナダで生まれ育った画家のイレインには、幼少期にいじめを受けた過去があった。女性として、母親として、画家として、彼女がいかに困難を克服し自己を確立していったか、その半生を描く。自伝的な要素が盛り込まれた小説。

朝日新聞 2017/02/19

2016:12./ 576p
978-4-87571-085-1
本体 ¥2,600+税



アブサンの文化史〜禁断の酒の二百年〜

バーナビー・コンラッド三世 著
白水社

19〜20 世紀にかけて、芸術家たちに愛飲されてきた「緑の妖精」ーニガヨモギからつくられるアブサンを、図版もたっぷり解説。

朝日新聞 2017/02/19、読売新聞 2017/02/26、日本経済新聞 2017/02/26

2016:12./ 253p
978-4-560-09529-4
本体 ¥2,800+税





ロッキング・オンの時代

橋川 幸夫 著

晶文社

リスナーがミュージシャンと対等の立場で批評するスタンスで支持を集めた音楽雑誌『ロッキング・オン』は、いかなる場から生まれたのか。創刊メンバーのひとりである著者が、創刊の時期から約 10 年の歩みを振り返る。

2016:11./ 267p

978-4-7949-6940-8

本体 ¥1,600+税



朝日新聞 2017/02/19、日本経済新聞 2017/02/19



紅のトキの空(評論社の児童図書館・文学の部屋)

ジル・ルイス 著

評論社

12 歳のスカーレットと 8 歳のレッドのきょうだい。夢は紅のトキの飛ぶ情景を見ること。けなげに生きる子どもたちを描く感動作。

2016:12./ 269p

978-4-566-01398-8

本体 ¥1,600+税



朝日新聞 2017/02/25



こどものなかま

レイン・スミス 著

BL出版

ペンギン、クラゲ、クジラ、カラス。こどもがいろいろななかまに出会って遊び、別れていきます。最後に見つけたなかまとは…。なかまとすぐす、きらめくような時間を描いた絵本。

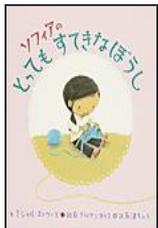
2016:12./ 40p

978-4-7764-0745-4

本体 ¥1,600+税



朝日新聞 2017/02/25



ソフィアのとってとてもすてきなぼうし

BL出版

みんなに編んでばかりで、自分の帽子がないゴールドマンおばちゃま。ソフィアは、おばちゃまに内緒で、編んであげることにしました。でも、編みあがった帽子は…。

2016:12./ 32p

978-4-7764-0777-5

本体 ¥1,400+税



朝日新聞 2017/02/25



方言萌え!?~ヴァーチャル方言を読み解く~(岩波ジュニア新書 845)

田中 ゆかり 著

岩波書店

方言を演说的ツールとして用いることが SNS やゲームを始め巷で流行中! そんな「ヴァーチャル方言」は、「リアル方言」にも影響を与えている。その関係をつぶさに観察し、日本語や日本社会の新たな断面を浮き彫りにする。

2016:12./

16p,205p,14p

978-4-00-500845-2

本体 ¥880+税



朝日新聞 2017/02/26



SMAP と平成(朝日新書 598)

中川 右介 著

朝日新聞出版

2016 年 8 月 8 日?14 日に、SMAP の解散発表、そして天皇陛下の生前退位のご意向発表という衝撃的な出来事が重なった。時代の転換点となったこの 1 週間から、SMAP の軌跡と平成という時代の総体に迫る。

2016:12./ 278p

978-4-02-273698-7

本体 ¥820+税



朝日新聞 2017/02/26



世界をつくった6つの革命の物語～新・人類進化史～

スティーブン・ジョンソン 著

朝日新聞出版

ガリレオは祭壇ランプに何を見たか? 古代洞窟に歌は響いたか? イヌイットの瞬間冷凍とは? 「ガラス」「冷たさ」「音」「清潔」「時間」「光」という、文明を変えた 6 つの大発明を切り口に、人類進化の歴史をひもとく。

2016:8./ 339p

978-4-02-331530-3

本体 ¥1,900+税



* 9 7 8 4 0 2 3 3 1 5 3 0 3 *

朝日新聞 2017/02/26



86-エイティシックス-(電撃文庫 3218)

安里 アサト 著

KADOKAWA

サンマグノリア共和国の<存在しない第 86 区>。そこでは「エイティシックス」の烙印を押された青少年少女たちが日夜<有人の無人機>として戦い続けていた。若者たちを率いる少年・シンと彼らの指揮を執る少女・レーナの物語。

2017:2./ 340p

978-4-04-892666-9

本体 ¥630+税



* 9 7 8 4 0 4 8 9 2 6 6 6 9 *

朝日新聞 2017/02/26



きれいな人

高橋 たか子 著

講談社

マダム・ヴァイトラックの 100 歳の誕生日祝いに配られた詩集と、98 歳の「小娘」イヴォンヌの何日にもわたって続いていく昔語り。長編小説。『群像』掲載を単行本化。

2003:6./ 317p

978-4-06-211813-2

本体 ¥1,900+税



* 9 7 8 4 0 6 2 1 1 8 1 3 2 *

朝日新聞 2017/02/26



ジャニーズと日本(講談社現代新書 2402)

矢野 利裕 著

講談社

フォーリーブス、たのきん、SMAP、嵐…。ジャニーズ帝国はなぜここまで隆盛を極めたのか。ジャニー喜多川の発想の源を見据えながらジャニーズの歴史を辿り、音楽性やショービジネスの視点から戦後日本の大衆文化を論じる。

2016:12./ 238p

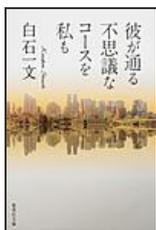
978-4-06-288402-0

本体 ¥760+税



* 9 7 8 4 0 6 2 8 8 4 0 2 0 *

朝日新聞 2017/02/26



彼が通る不思議なコースを私も(集英社文庫 し 63-1)

白石 一文 著

集英社

学習障害児の教育に才能を発揮する、優秀で少し変わった教師、椿林太郎。彼の目に映る、人間の未知なる可能性とは—。“生”への根源的な問いを投げかける著者渾身の長編小説。(解説/菊間千乃)

2017:1./ 364p

978-4-08-745531-1

本体 ¥620+税



* 9 7 8 4 0 8 7 4 5 5 3 1 1 *

朝日新聞 2017/02/26



盲目的な恋と友情(新潮文庫 つ-29-5)

辻村 深月 著

新潮社

自身の美貌に無自覚で恋も知らない蘭花の人生を、茂実が一変させた。彼との恋愛に溺れる蘭花だが、やがて裏切りを知る。蘭花の友人・留利絵がその年月を見つめた時、また別の真実が…。男女、そして女友達の妄執を描いた長編。

2017:2./ 302p

978-4-10-138882-3

本体 ¥550+税



* 9 7 8 4 1 0 1 3 8 8 8 2 3 *

朝日新聞 2017/02/26



おばちゃんたちのいるところ

松田 青子 著
中央公論新社

「わたしたち、ものけになりましょう」追いつめられた現代人のもとへ、八百屋お七や皿屋敷のお菊が一肌脱ぎにやってくる。愉快的連作短編集。『アンデル小さな文芸誌』連載を加筆修正し単行本化。

朝日新聞 2017/02/26

2016:12./ 231p
978-4-12-004918-7
本体 ¥1,400+税



サピエンス全史～文明の構造と人類の幸福～<上>

ユ瓦尔・ノア・ハラリ 著
河出書房新社

国家、貨幣、企業……虚構が他人との協力を可能にし、文明をもたらした!ではその文明は、人類を幸福にしたのだろうか?現代世界を鋭くえぐる、40カ国で刊行の世界的ベストセラー!

朝日新聞 2017/02/26

2016:9./ 267p
978-4-309-22671-2
本体 ¥1,900+税



サピエンス全史～文明の構造と人類の幸福～<下>

ユ瓦尔・ノア・ハラリ 著
河出書房新社

近代世界は帝国主義・科学技術・資本主義のフィードバック・ループによって、爆発的に進歩した!ホモ・サピエンスの過去、現在、未来を俯瞰するかつてないスケールの大著、ついに邦訳!

朝日新聞 2017/02/26

2016:9./ 294p
978-4-309-22672-9
本体 ¥1,900+税



この世界を知るための人類と科学の400万年史

レナード・ムロディナウ 著
河出書房新社

ヒトの誕生から言語の獲得、ニュートンやアインシュタイン、量子の奇妙な世界の発見まで、世界を見る目を一変させる決定版科学史!

朝日新聞 2017/02/26

2016:5./ 416p
978-4-309-25347-3
本体 ¥2,600+税



地方自治と図書館～「知の地域づくり」を地域再生の切り札に～

片山 善博、糸賀 雅児 著
勁草書房

地域の情報拠点・住民の自立支援の拠点として図書館が見直されている。地方自治、地域づくりの観点から公共図書館の課題を検討する。

朝日新聞 2017/02/26

2017:1./ 12p,252p,6p
978-4-326-05017-8
本体 ¥2,300+税



SMAPと平成ニッポン～不安の時代のエンターテインメント～(光文社新書 858)

太田 省一 著
光文社

SMAP が活動した平成という時代は、日本そのもの、そして暮らしが先行きの見えない不安にさらされた時代でもあった。SMAP ひいてはアイドルは、社会とどのように関わったかを考えるエンターテインメント論。

朝日新聞 2017/02/26

2016:12./ 187p
978-4-334-03961-5
本体 ¥740+税





東大 vs 京大入試文芸頂上決戦

永江 朗 著
原書房

どんな文芸作品が選ばれるのか？東大と京大の問題の違いは校風の違い？どちらの問題がおもしろいか？約 70 年分を読み比べてみたら.....世相と教育と国語との関係をさぐる文芸エッセイ。

朝日新聞 2017/02/26

2017:1./ 300p
978-4-562-05368-1
本体 ¥1,800+税



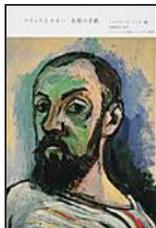
活版印刷三日月堂<2> 海からの手紙(ポプラ文庫 ほ4-2)

ほしお さなえ 著
ポプラ社

小さな活版印刷所「三日月堂」には、今日も悩みを抱えた客がやってくる。店主の弓子が活字を拾い、刷り上げるのは、誰かの忘れていた記憶や、言えなかった想い...。活字と言葉の温かみに、優しい涙が流れるシリーズ第2弾。

朝日新聞 2017/02/26

2017:2./ 329p
978-4-591-15329-1
本体 ¥680+税



マティスとルオー友情の手紙

アンリ・マティス、ジョルジュ・ルオー、ジャクリーヌ・マンク 編
アンリ・マティス、ジョルジュ・ルオー、後藤 新治、パナソニック汐留ミュージアム 著
みすず書房

パリ国立美術学校で出会って以来、50年にわたり手紙を交わし、家族ぐるみの交流をつづけたマティスとルオー。ふたりの巨匠の創作の舞台裏がわかる往復書簡集。手紙や絵画の図版、年譜なども収録。

朝日新聞 2017/02/26

2017:1./ 263p,61p 図
版 19 枚
978-4-622-08564-5
本体 ¥3,500+税



ビッグヒストリー〜われわれはどこから来て、どこへ行くのか〜

デヴィッド・クリスチャン、シンシア・ストークス・ブラウン、クレイグ・ベンジャミン、長沼 毅、石井 克弥、竹田 純子、中川 泉 著
明石書店

自然科学と人文社会学が融合したビッグヒストリーのテキスト。最新の科学の成果に基づいて 138 億年前のビッグバンから未来にわたる長大な時間の中に「人間」の歴史を位置づけ、「8つのスレッシュホールド」を軸に読み解く。

朝日新聞 2017/02/26

2016:11./ 19p,400p
978-4-7503-4421-8
本体 ¥3,700+税



国家と石綿〜ルポ・アスベスト被害者「息ほしき人々」の闘い〜

永尾 俊彦 著
現代書館

1935 年には、アスベストの危険性が認識されていた。その使用の全面禁止は 2012 年だった。石綿問題を通して日本の病巣を問う。

朝日新聞 2017/02/26

2016:11./ 373p
978-4-7684-5789-4
本体 ¥2,700+税





ビッグヒストリー入門～科学の力で読み解く世界史～

デヴィッド・クリスチャン 著

WAVE出版

人はどこから来て、どこへ行こうとしているのか?人類の歴史を、狩猟採集時代、農耕時代、近代に分け、科学の力を結集して読み解く。思考実験なども収録。難問山積の現代社会を生き抜く知恵と広い視野を身につけるための本。

2015:10./ 275p,11p

978-4-87290-765-0

本体 ¥1,800+税



朝日新聞 2017/02/26



ねえ君、不思議だと思いませんか?

池内 了 著

而立書房

科学的思考のすすめリニア新幹線、STAP細胞騒動、ドローンという怪物、電力自由化、宇宙の軍事化、町工場の技術 etc.いま日本に何が起きているのか?

2016:12./ 284p

978-4-88059-399-9

本体 ¥1,900+税



朝日新聞 2017/02/26



襲撃(フィクションのエル・ドラード)

レイナルド・アレナス 著

水声社

絶対的な独裁国家で、違反者たちを抹殺する取締員として頭角を現した主人公は、各地を肅正して回る旅に出る。その真の狙いは、母親を亡き者にするという妄執的な渴望だった...。「ペンタゴニア(5つの苦悩)」の第5部最終作。

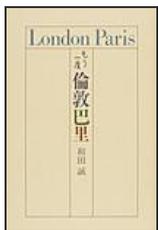
2016:11./ 190p

978-4-89176-960-4

本体 ¥2,200+税



朝日新聞 2017/02/26



もう一度倫敦巴里

和田 誠 著

ナナノク社

対象への愛情を伴う深い洞察によって描かれた、見事な「モジリ」の数々。和田誠の戯作・麗作大全集。1977年に刊行された「倫敦巴里」に、「雪国」海外篇などを加え、再編集して書籍化。

2017:1./ 170p

978-4-904292-71-6

本体 ¥2,200+税



朝日新聞 2017/02/26



対面的～<見つめ合い>の人間学～

大浦 康介 著

筑摩書房

対面する二人の間に何が起きているのか。その不可思議な力に、自己、他者、世界認識の転回点がある。対面の諸相から現代社会のありようを浮彫にする野心的論考。

2016:12./ 236p

978-4-480-84312-8

本体 ¥2,900+税



朝日新聞 2017/02/26、読売新聞 2017/02/26



奇蹟の爪音～アメリカが熱狂した全盲の箏曲家衛藤公雄の生涯～

谷口 和巳 著

小学館

戦後まもなく、妻とたった2人でアメリカに渡り、カーネギーホール、リンカーンセンターで箏のリサイタルを大成功させた全盲の箏曲家・衛藤公雄。箏を通じて日本文化の真髄を伝えようと全身全霊で格闘した彼の生涯を描く。

2016:12./ 223p

978-4-09-388527-0

本体 ¥1,800+税



東京・中日新聞 2017/02/05



稲と米の民族誌～アジアの稲作景観を歩く～(NHK ブックス 1242)

佐藤 洋一郎 著

NHK出版

稲の品種から栽培方法、米の調理法、食べ方、信仰まで、アジアの稲作文化には日本人の想像を超えた多様性が存在する。インド・ヒマラヤから、タイ、ラオス、ベトナム、カンボジア、中国まで、アジアの稲作文化の全容を描く。

2016:11./ 302p
978-4-14-091242-3

本体 ¥1,600+税



東京・中日新聞 2017/02/05



ビルマ1946～独立前夜の物語～(アジア文学館)

テインペーミン、南田 みどり 著

段々社

1940年代半ばのビルマ。中央政界や反政府組織の混迷ぶりを浮き彫りにしながら、所属政党の異なる男女の恋愛を軸に、政治に翻弄されるデルタ地帯の人間模様を活写。ビルマ共産党書記長を務めた作家が獄中で書き上げた長編。

2016:10./ 280p
978-4-434-22233-7

本体 ¥2,200+税



東京・中日新聞 2017/02/05



日本文学全集<09> 平家物語

河出書房新社

古代日本で最も武張った年代記。栄華から滅びにいたる道筋の哀感を、語り物につながる文体で伝える。

2016:12./ 905p
978-4-309-72879-7

本体 ¥3,500+税



東京・中日新聞 2017/02/12



娘の孫

天野 純希 著

幻冬舎

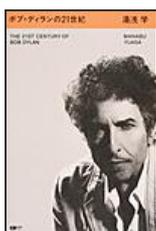
名将・斎藤道三の孫、斎藤龍興は、家臣の謀反により城を追われ、国と大切な人を失う。失意を乗り越えて兵法を学び、武芸に励んで城を奪還するも、龍興の前に織田信長が立ち塞がり…。『小説すばる』掲載作品を加筆・修正。

2016:12./ 307p
978-4-344-03045-9

本体 ¥1,600+税



東京・中日新聞 2017/02/12



ボブ・ディランの21世紀(CD ジャーナルムック)

湯浅 学 著

音楽出版社

音盤、映像、絵画…。多彩な作品で2000年代のボブ・ディランを巡る。2014年の日本公演日記、年表も収録。カラーのジャケット写真も多数掲載。『CD ジャーナル』掲載を中心に単行本化。

2017:1./ 221p
978-4-86171-160-2

本体 ¥1,852+税



東京・中日新聞 2017/02/12



ナショナリズムの昭和

保阪 正康 著

幻戯書房

左翼的偏見や右翼的独善から解放し、後世に受け継ぐべき「ナショナリズム」を提示する渾身の昭和史研究の決定版。

2016:10./ 715p
978-4-86488-100-5

本体 ¥4,200+税



東京・中日新聞 2017/02/12



人生の踏絵

遠藤 周作 著
新潮社

人生にも、さまざまな「踏絵」がある。そんな踏絵を踏んでしまう弱い人間にこそ、神は寄り添ってくれる…。不朽の傑作「沈黙」の創作秘話をはじめ、文学と宗教、人生の救済と奥深さを縦横に語る遠藤周作の名講演集。

2017:1./ 189p
978-4-10-303523-7
本体 ¥1,400+税



東京・中日新聞 2017/02/12、東京・中日新聞 2017/02/26



大岡昇平～文学の軌跡～

川西 政明 著
河出書房新社

中也、小林らとの文学格闘で鍛えられて出発した作家が、粘り強い散文精神を發揮し、戦後文学の極北となるかを書き下ろす遺稿。

2016:12./ 168p
978-4-309-02533-9
本体 ¥1,800+税



東京・中日新聞 2017/02/19



徳川家康～われ一人腹を切て、万民を助くべし～(ミネルヴァ日本評伝選)

笠谷 和比古 著
ミネルヴァ書房

三河の弱小大名に生まれたものの、持前の努力と強運、そして家臣団に支えられてついに天下人となった徳川家康。本書では、その知られざる人物像を析出しつつ、卓越した戦略と政略、そして政治思想を解明する。

2016:12./
21p,435p,13p
978-4-623-07869-1
本体 ¥3,500+税



東京・中日新聞 2017/02/19



稀代の本屋 蔦屋重三郎

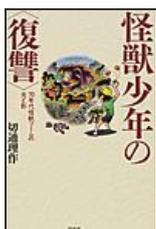
増田 晶文 著
草思社

「蔦屋が、本の値打ちを変えてみせます!」山東京伝、歌麿、写楽、十返舎一九…。きらめく才能を見つけ育てて世に送り出し、江戸を、日本を変えた。稀代の本屋・蔦屋重三郎の波乱に満ちた生涯を描く時代小説。

2016:12./ 381p
978-4-7942-2248-0
本体 ¥1,800+税



東京・中日新聞 2017/02/19



怪獣少年の<復讐>～70年代怪獣ブームの光と影～

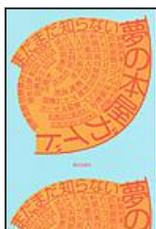
切通 理作 著
洋泉社

ゴジラ、ガメラ、ウルトラマン…。子どもたちに向けて夢と希望とともに死と現実を突きつけた 70 年代特撮ドラマの一群。その目的は何だったのか。関係者の証言をもとに考察する。

2016:12./ 369p
978-4-8003-1119-1
本体 ¥2,400+税



東京・中日新聞 2017/02/19



まだまだ知らない夢の本屋ガイド

朝日出版社

「選んだ本をお持ちする相手がすでにこの世にいらっしやらない」「政府に目をつけられないようにと、書店の名も毎日変えた」…。日本全国の架空の本屋 22 店を、現役の本屋員 22 名が文章で案内する。

2016:11./ 277p
978-4-255-00963-6
本体 ¥1,600+税



東京・中日新聞 2017/02/26



日本型ヘイトスピーチとは何か～社会を破壊するレイシズムの登場～

梁 英聖 著
影書房

戦後続いてきたヘイトクライムは、ひどすぎるヘイトスピーチへと成長した。在日コリアンを難民化した<1952 年体制>、日本型企业社会の差別構造等も俎上にのせ、日本が内包してきた<レイシズム/不平等>を可視化する。

2016:12./ 314p
978-4-87714-468-5
本体 ¥3,000+税



読売新聞 2017/02/26



密着最高裁のしごと～野暮で真摯な事件簿～(岩波新書 新赤版 1629)

川名 壮志 著
岩波書店

司法の顔は見えにくい。でも、実は最高裁は面白い。夫婦別姓はなぜダメなのか? 裁判員裁判で市民が出した結論は無意味? きわどい判断で注目を集めた訴訟を追い、現役記者が最高裁の知られざる「しくみ」を解き明かす。

2016:11./ 11p,230p
978-4-00-431629-9
本体 ¥840+税



読売新聞 2017/02/05



中年スーパーマン左江内氏(てんとう虫コミックススペシャル)

藤子 F・不二雄 著
小学館

出世とも浮いた話ともまるで無縁な、さえない中年サラリーマン左江内氏は、ある日先代スーパーマンに見込まれスーパースーツをしぶしぶ引き継ぎます。練り上げられた全 14 話は、どれも深みを持った大人の珠玉のストーリー。

2016:12./ 250p
978-4-09-142355-9
本体 ¥648+税



読売新聞 2017/02/05



藤子・F・不二雄「異色短編集」<1> ミノタウロスの皿(小学館文庫)

藤子不二雄F 著
小学館

SF の手法を駆使して現代世相を痛烈に風刺した異色短編集!

1995:8./ 291p
978-4-09-192061-4
本体 ¥562+税



読売新聞 2017/02/05



イベリコ豚を買いに(小学館文庫 の 4-5)

野地 秩嘉 著
小学館

幻の豚を追ってスペインへ向かった著者。現地で明かされた驚くべき事実の数々とは? イベリコ豚を 4 年にわたって徹底取材した、食ノンフィクション。

2016:12./ 301p
978-4-09-406380-6
本体 ¥610+税



読売新聞 2017/02/05



大阪名物～なにわみやげ～(新潮文庫 い-121-10)

井上 理津子、団田 芳子 著
新潮社

和・洋菓子から寿司、惣菜、調味料、酒、日用雑貨、手工芸品に至るまで、大阪のそこでしか買えない手づくりの逸品を中心に 62 品を厳選。旅行や散歩の愉しみに、手土産に買うべきものがないと悩む人に贈る名物案内。

2016:12./ 254p
978-4-10-126392-2
本体 ¥790+税



読売新聞 2017/02/05

**カズサビーチ**山本 一力 著
新潮社

ペリー来航の前に浦賀に入港していた米国船。洋上で日本人漂流者を救助した彼らは、被弾覚悟で鎖国中の日本に針路を取った。言葉を越えた友情と敬意に江戸幕府老中は…。実話に基づく歴史長篇。『小説新潮』連載を書籍化。

2016:12./ 283p
978-4-10-460608-5
本体 ¥1,600+税

読売新聞 2017/02/05

**洋食ウキウキ(中公新書ラクレ 571)**今 柊二 著
中央公論新社

みんな大好き、日本が誇る洋食屋さん約 100 店を紹介。ルーツをさかのぼって老舗ホテル、軍港、産業都市、はたまたデパート食堂、ファミレス、学生街。「定食評論家」が津々浦々で食べ歩く。

2017:1./ 317p
978-4-12-150571-2
本体 ¥1,000+税

読売新聞 2017/02/05

**未来のだるまちゃんへ(文春文庫 か 72-1)**かこ さとし 著
文藝春秋

『だるまちゃんとてんぐちゃん』で知られる著者の歩んできた道のりとは？ 90 歳の国民的絵本作家から、未来への希望のメッセージ。

2016:12./ 269p
978-4-16-790758-7
本体 ¥660+税

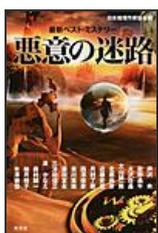
読売新聞 2017/02/05

**英国のテーブルウェア～アンティーク&ヴィンテージ～**Cha Tea 紅茶教室 著
河出書房新社

美しいティーカップ、憧れのアンティークシルバーを華麗な写真で紹介。選び方から手入れまで。これ 1 冊ですべてわかる決定版!!

2016:5./ 111p
978-4-309-25565-1
本体 ¥1,600+税

読売新聞 2017/02/05

**悪意の迷路(最新ベスト・ミステリー)**日本推理作家協会 編
芦沢 央 著
光文社

2013?2015 年に発表された短編作品を厳選した、ミステリーの“今”が堪能できるアンソロジー。芦沢央、歌野晶午、大沢在昌、大山誠一郎、北原尚彦など 15 人の名手による作品を収録。

2016:11./ 504p
978-4-334-91134-8
本体 ¥1,800+税

読売新聞 2017/02/05

**殺意の隘路(最新ベスト・ミステリー)**日本推理作家協会 編
青崎 有吾 著
光文社

2013?2015 年に発表された短編作品を厳選した、ミステリーの“今”を堪能できるアンソロジー。青崎有吾、赤川次郎、有栖川有栖、伊坂幸太郎、石持浅海、乾ルカなど 15 作家の作品を収録。

2016:12./ 433p
978-4-334-91139-3
本体 ¥1,800+税

読売新聞 2017/02/05



コーヒー語辞典～珈琲にまつわる言葉をイラストと豆知識でほっこり読み解く～

山本 加奈子、村澤 智之 著
誠文堂新光社

世界のコーヒーや歴史、淹れ方、道具などコーヒーにまつわる様々な言葉を辞典形式にまとめ、イラストと独自の視点で紹介し、とじこみ付録「ポर्टランドコーヒーショップガイド」つき。本体表紙にも記事あり。

2015:5./ 199p
978-4-416-61597-3
本体 ¥1,500+税



読売新聞 2017/02/05



偽史の政治学～新日本政治思想史～

河野 有理 著
白水社

近代日本の光と闇のコントラストに留意することで、明治・大正・昭和というそれぞれの時代を象徴する一齣を提示する試み

2016:12./ 248p,3p
978-4-560-09528-7
本体 ¥2,800+税



読売新聞 2017/02/05



描かれたザビエルと戦国日本～西欧画家のアジア認識～

鹿毛 敏夫 編
勉誠出版

ザビエルのアジア宣教活動と戦国日本の様相を如実に語る連作油彩画全 20 点をフルカラーで公開し、詳細に解説。さらに、アジア各地や日本における布教活動の実態、大内氏・大友氏ら大名への影響を考察した論考を収める。

2017:1./ 158p
978-4-585-22156-2
本体 ¥2,800+税



読売新聞 2017/02/05



名著で読む世界史 120

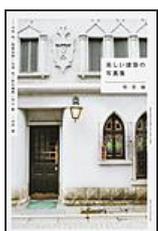
森本 一夫 編
山川出版社

古代から現代まで、世界の名著 120 作品を歴史的視点から解説し、新しい知の発見へと導く読書ガイド。

2016:11./ 365p
978-4-634-64063-4
本体 ¥1,800+税



読売新聞 2017/02/05



美しい建築の写真集<喫茶編>

沖本 明、西郡 友典、古瀬 桂、鈴木 竜典、平山 賢、竹内 厚 著
パイインターナショナル

明治、大正時代に建てられた近代建築や、60?70 年代のモダニズム建築など、美しい建築の喫茶店やホテルのラウンジ全 31 件を豊富なカラー写真で紹介。データ:2015 年 11 月現在。

2016:1./ 173p
978-4-7562-4734-6
本体 ¥1,800+税



読売新聞 2017/02/05



異教のニューカマーたち～日本における移民と宗教～

三木 英 編
森話社

200 万を超える在留外国人と日本人は今いかなる関係を築いているのだろうか？新しい隣人を深く知るために異国の地で彼らが拠り所とする信仰をフィールドワークから詳らかにする。

2017:1./ 386p
978-4-86405-105-7
本体 ¥4,800+税



読売新聞 2017/02/05



懐かしの地サイダー

清水 りょうこ 著
有峰書店新社

日本全国のローカルサイダー95本を厳選。「養老サイダー」「コロナパイン」など伝説となった幻のサイダーから、その土地に行かないと飲めない超レアものまで、地サイダーのすべてを写真とともに紹介する。

読売新聞 2017/02/05

2016:2./ 127p
978-4-87045-287-9
本体 ¥1,380+税



幻想の坩堝～ベルギー・フランス語幻想短編集～

Maurice Maeterlinck、岩本 和子、三田 順、岡本 夢子 著
松籟社

アメリカの孤児院で育った「僕」は、幼少期の記憶につながる不思議な夢を見る。やがてオランダへの旅で「謎」が少しずつ解かれて...。「夢の研究」など9編を収録。蠱惑に満ちた幽暗の文学世界へ誘うベルギー幻想文学選集。

読売新聞 2017/02/05

2016:12./ 13p,312p
978-4-87984-352-4
本体 ¥1,800+税



10分後にうんこが出ます～排泄予知デバイス開発物語～

中西 敦士 著
新潮社

道ばたでお腹ピーピー大惨事を引き起こした若者が思い立ったのは、排泄のタイムリミットを超音波で推定するデバイスの開発。それはいつしか介護の未来を変えるまでになり...。超文系の著者による発明ドキュメンタリー。

読売新聞 2017/02/05、朝日新聞 2017/02/12

2016:11./ 223p
978-4-10-350531-0
本体 ¥1,300+税



シベリア抑留～スターリン独裁下、「収容所群島」の実像～(中公新書 2411)

富田 武 著
中央公論新社

第2次世界大戦後、日独兵士・民間人ら400万人以上が、ソ連領内や管理地に抑留され、「賠償」を名目に労働を強制された悲劇。「シベリア抑留」の起源から実態までを詳述し、その全貌を描く。関連年表も掲載。

読売新聞 2017/02/05、日本経済新聞 2017/02/12

2016:12./ 5p,262p
978-4-12-102411-4
本体 ¥860+税



フリートレード・ネーション～イギリス自由貿易の興亡と消費文化～

フランク・トレントマン 著
NTT出版

なぜイギリスは自由な貿易を保持し続け、国民的な自由貿易文化の花を咲かせたのか。また、第一次世界大戦後自由貿易からの決別はいかにして起こったのか。イギリス自由貿易の興亡を壮大なスケールで描く。

読売新聞 2017/02/05、日本経済新聞 2017/02/12

2016:11./ 11p,489p
978-4-7571-4334-0
本体 ¥4,800+税



うつヌケ～うつトンネルを抜けた人たち～

田中 圭一 著
KADOKAWA

著者自身のうつ病脱出体験をベースに、うつ病からの脱出に成功した人たちのレポート。うつ病について実体験から知識を学べ、かつ悩みを分かち合い勇気付けられるドキュメンタリーコミック。

読売新聞 2017/02/12

2017:1./ 173p
978-4-04-103708-9
本体 ¥1,000+税





麻雀放浪記<1> 青春編(角川文庫)

阿佐田 哲也 著
角川書店
読売新聞 2017/02/12

1979:1./ 332p
978-4-04-145951-5
本体 ¥552+税

* 9 7 8 4 0 4 1 4 5 9 5 1 5 *



美しい日本語(角川ソフィア文庫 E107-2)

金田一 春彦 著
KADOKAWA
日本人らしい表現や心を動かす日本語、間違いやすい言葉、相手にわかりやすく説明するための 6 つのコツ…。言語学の第一人者・金田一春彦による、美しい表現と伝え方で日本語力がアップする実践的日本語講義。

2016:12./ 253p
978-4-04-400231-2
本体 ¥720+税

* 9 7 8 4 0 4 4 0 0 2 3 1 2 *

読売新聞 2017/02/12



大きな鳥にさらわれぬように

川上 弘美 著
講談社
遙か遠い未来、滅亡の危機に瀕した人類は、小さな集団に分かれ、密やかに暮らしていた。生きながらえるために、ある祈りを胸に秘め-。かすかな光を希求する人間の行く末を暗示した、新しい神話。『群像』掲載等を単行本化。

2016:4./ 340p
978-4-06-219965-0
本体 ¥1,500+税

* 9 7 8 4 0 6 2 1 9 9 6 5 0 *

読売新聞 2017/02/12



世界観(小学館新書 287)

佐藤 優 著
小学館
トランプの課題、テロとの戦い、東アジアの命運…。世界で発生した大事件に対して、佐藤優が正面から思考した記録。インテリジェンスや地政学、宗教的知見から事象の「本質」を導き出す。『SAPIO』連載をもとに書籍化。

2016:12./ 286p
978-4-09-825287-9
本体 ¥780+税

* 9 7 8 4 0 9 8 2 5 2 8 7 9 *

読売新聞 2017/02/12



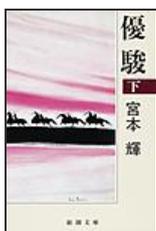
優駿<上>(新潮文庫)

宮本 輝 著
新潮社
その交配は、大博打だった。馬主、騎手、調教師、牧場主……、一頭のサラブレッドに関わる人々の人生の断面を重ねて壮大な感動を呼ぶ名作。

1989:11./ 334p
978-4-10-130706-0
本体 ¥630+税

* 9 7 8 4 1 0 1 3 0 7 0 6 0 *

読売新聞 2017/02/12



優駿<下>(新潮文庫)

宮本 輝 著
新潮社
その疾駆は、奇跡を運んだ。宿運、嫉妬、敵愾心、裏切り……、人間達の心のうごめきを一頭の美しい馬が風となってたち斬っていく。宮本文学を代表する傑作長編。

1989:11./ 394p
978-4-10-130707-7
本体 ¥670+税

* 9 7 8 4 1 0 1 3 0 7 0 7 7 *

読売新聞 2017/02/12



汚染訴訟<上>(新潮文庫 ク-23-35)

ジョン・グリシャム 著

新潮社

世界最大の法律事務所を解雇された女性弁護士サマンサは、田舎町ブレイディの無料法律相談所で働くことに。地元の弁護士ドノヴァンと出会い、巨大炭鉱企業の不正を暴かんとするドノヴァンの闘いに巻き込まれていく...

2017:2./ 440p

978-4-10-240935-0

本体 ¥750+税



読売新聞 2017/02/12



汚染訴訟<下>(新潮文庫 ク-23-36)

ジョン・グリシャム 著

新潮社

辣腕弁護士ドノヴァンの乗った自家用機が墜落した。サマンサはドノヴァンの弟ジェフと共に、石炭会社の不正を暴く決定的証拠を安全な場所に運び出そうとするが、闇の手は彼らの作戦を阻もうとする...

2017:2./ 351p

978-4-10-240936-7

本体 ¥670+税



読売新聞 2017/02/12



21世紀の「中華」～習近平中国と東アジア～

川島 真 著

中央公論新社

尖閣、歴史認識、AIIB、南シナ海情勢...。中国はなぜ脅威なのか。日本はどう対峙すべきか。「問題としての中国」を識るための、中国外交史の第一人者による現代中国時論集。

2016:11./ 350p

978-4-12-004906-4

本体 ¥2,000+税



読売新聞 2017/02/12



スコアブックの余白～読売巨人軍前会長おぼえ書き～

桃井 恒和 著

中央公論新社

読売巨人軍の会長だった著者が、8年間にわたって社内報に連載した名コラムを集大成。プロ野球への深い愛情が浮かび上がる。巻頭には長嶋茂雄・終身名誉監督が寄せた序文「桃井さんと私」を掲載する。

2017:1./ 213p

978-4-12-004934-7

本体 ¥1,500+税



読売新聞 2017/02/12



大岡昇平歴史小説集成(中公文庫 お2-12)

大岡 昇平 著

中央公論新社

「レイテ戦記」の著者が切り拓いた歴史小説の新境地。「吉村虎太郎」「姉小路暗殺」ほか長篇「天誅組」へと連なる佳篇、「高杉晋作」「竜馬殺し」など幕末維新期を舞台にした作品群等を網羅した短篇集。

2017:1./ 322p

978-4-12-206352-5

本体 ¥1,000+税



読売新聞 2017/02/12



利腕(ハヤカワ・ミステリ文庫)

ディック・フランシス 著

早川書房

片手の敏腕調査員シッド・ハレーの許にまいこんだ昔なじみの厩舎からの依頼—所属の有力馬が、次々と原因不明のままレース生命を断たれるというのだ。調査に乗り出したハレーを襲ったのは、彼を恐怖のどん底へ突き落とす脅迫だった。

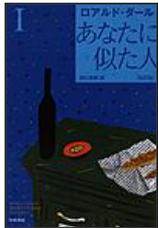
1985:8./ 406p

978-4-15-070718-7

本体 ¥500+税



読売新聞 2017/02/12



あなたに似た人<1> 新訳版(ハヤカワ・ミステリ文庫 HM 22-9)

ロアルド・ダール 著
早川書房

ある日とつぜん夫に別れを告げられた妻は、思わず夫の頭に一撃を喰わせてしまった。刑事である夫の死体を前に、妻は凶器をどうする?短篇ミステリのスタンダード「おとなしい凶器」など全 11 篇を収載。

2013:5./ 308p
978-4-15-071259-4
本体 ¥760+税



読売新聞 2017/02/12



カブールの園

宮内 悠介 著
文藝春秋

サンフランシスコで暮らす移民三世のレイは、旅の途中にかつて日系人収容所であった博物館を訪れる。日本と世界のリアルがここに!

2017:1./ 206p
978-4-16-390593-8
本体 ¥1,350+税



読売新聞 2017/02/12



炸裂志

閻 連科、泉 京鹿 著
河出書房新社

作家・閻連科は、炸裂市の歴史、売春婦と盗賊の年代記を綴り始める。発禁にも関わらず問題作を世に問うノーベル賞候補作家の大作。

2016:11./ 471p
978-4-309-20721-6
本体 ¥3,600+税



読売新聞 2017/02/12



こびとが打ち上げた小さなボール

チョ セヒ、斎藤 真理子 著
河出書房新社

刊行から 30 年、韓国で今も最も読まれる 130 万部のロングセラー。知られざる世界的名作がついに邦訳。解説=四方田犬彦。

2016:12./ 357p
978-4-309-20723-0
本体 ¥1,900+税



読売新聞 2017/02/12



舞う百日紅(光文社文庫 ち 6-2)

知野 みさき 著
光文社

父の跡を継ぎ、上絵師として身を立てたい律。副業の似面絵の評判は上々で、引きも切らず注文が舞い込んでいた。そんな折、母を殺めた辻斬りの似面絵そっくりな男に出会うのだが…。恋に仕事に一途な女職人の活躍を描く。

2017:1./ 336p
978-4-334-77418-9
本体 ¥660+税



読売新聞 2017/02/12



病葉流れて(幻冬舎文庫)

白川 道 著
幻冬舎

将来に焦燥感を覚えていた梨田が運命的に出逢った麻雀。博打の時だけ生の実感を覚え、のめり込んでいく梨田。そして果てしなき放蕩の日々が始まる。自叙伝的ギャンブル小説の傑作!

2004:8./ 477p
978-4-344-40552-3
本体 ¥686+税



読売新聞 2017/02/12



ハンザ～12-17 世紀～

フィリップ・ドラング、高橋 理、奥村 優子、小澤 実、小野寺 利行、柏倉 知秀、高橋 陽子、谷澤 毅 著

みすず書房

アイスランドからロシアにおよぶ中世北ヨーロッパ交易を支配した、最大にして最長の商人・都市共同体、ハンザ。その制度、文化、歴史を余すところなく詳述した決定版。

2016:12./ 434p,39p

978-4-622-08511-9

本体 ¥5,500+税



読売新聞 2017/02/12



サドのエクリチュールと哲学、そして身体

鈴木 球子 著

水声社

シュルレアリスムによって賞揚され、精神医学によって診断され、逸話によって引き回されたサドは、はたして 18 世紀のサドだったのか?啓蒙の時代に、「道德」と「自然」を暴力的に書き綴った彼の戦略と射程を見極める。

2016:11./ 273p

978-4-8010-0203-6

本体 ¥4,000+税



読売新聞 2017/02/12



絨毯が結ぶ世界～京都祇園祭インド絨毯への道～

鎌田 由美子 著

名古屋大学出版会

京都祇園祭の山鉾を飾る「幻の絨毯」は、どのようにして日本にもたらされたのか。絨毯の特徴やデザインから国際流通・受容の実態までトータルに解明し、多数の図版とともに、日本、インド、ヨーロッパを結ぶ絨毯の道をたどる。

2016:12./

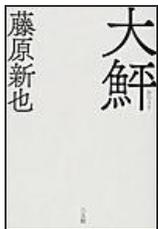
6p,371p,125p 図版 104p

978-4-8158-0855-6

本体 ¥10,000+税



読売新聞 2017/02/12



大鯪

藤原 新也 著

三五館

あなたの優しさは強さからくる優しさじゃなく、弱さからくる優しさだと思います。父性を求める青年が、最北の海に出会った老人。包容力に満ちた老いの季節を迎えた老人と青年の奇跡の一日を描く。

2016:12./ 269p

978-4-88320-682-7

本体 ¥1,600+税



読売新聞 2017/02/12



一日に一字学べば...

桐竹 勘十郎、樋渡 優子 著

コムニケ出版

内気な、漫画家志望の少年が、14 歳で伝統芸能の人形浄瑠璃「文楽」に入門。長い長い修業の日々を通して、“一人前の人形遣い”に成長し…。三世桐竹勘十郎が、入門からの 50 年を語る。『月刊朝礼』連載をもとに書籍化。

2017:1./ 255p

978-4-903841-12-0

本体 ¥1,680+税



読売新聞 2017/02/12



映画監督小林正樹

梶山 弘子 編

岩波書店

「人間の条件」「切腹」「怪談」…。映画監督・小林正樹の作品と人となりについての評伝的資料を集成。生い立ちに始まる自身の映画人生を語ったインタビューや書簡、日記のほか、関係者や研究者らの論考、証言などを収録。

2016:12./ 677p

978-4-00-022295-2

本体 ¥6,800+税



読売新聞 2017/02/12、日本経済新聞 2017/02/19



田中角栄失脚～『文藝春秋』昭和49年11月号の真実～(朝日文庫 し49-1)

塩田 潮 著
朝日新聞出版

『文藝春秋』昭和49年11月号に掲載された「田中角栄研究」は、時の最高権力者を退陣に追い込んだ。2本のレポートはどうか取材され、日本の政治と言論をどう変えたのか。関係者の証言をもとに「角栄失脚」のドラマを描く。

2016:12./ 372p
978-4-02-261886-3
本体 ¥840+税



読売新聞 2017/02/19



ビブリア古書堂の事件手帖<7> 葉子さんと果てない舞台(メディアワークス文庫 み4-7)

三上 延 著
KADOKAWA

ビブリア古書堂に迫る影。奇妙な縁で対峙することになった劇作家シェイクスピアの古書と謎多き仕掛け。そこには女店主の祖父による巧妙な罠が張り巡らされていた。日本で一番愛されるビブリオミステリ、ここに完結。

2017:2./ 341p
978-4-04-892640-9
本体 ¥650+税



読売新聞 2017/02/19



七つの忠臣蔵(新潮文庫 い-17-88)

縄田 一男 編
吉川 英治、池波 正太郎、柴田 錬三郎、海音寺 潮五郎、佐江 衆一、菊池 寛、山本 一力 著
新潮社

「忠臣蔵」に鏝められた人間模様を描いた短編集。仇討ち劇の陰に咲く悲恋「べんがら炬燵」、知られざる浅野内匠頭の狂態「火消しの殿」、剣の達人堀部安兵衛の峻厳たる男気「実説「安兵衛」」など全7編を収録。

2016:12./ 309p
978-4-10-139734-4
本体 ¥550+税



読売新聞 2017/02/19



駒姫～三条河原異聞～

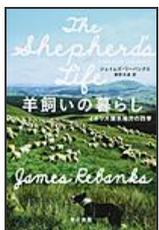
武内 涼 著
新潮社

無実の罪で処刑されんとする最上義光の娘・駒姫。最上家の男たちは、石田光成、伊達政宗、徳川家康らの野望渦巻く都から姫を取り戻すことができるのか。人間の真の強さを問う慟哭の歴史ドラマ。

2017:1./ 389p
978-4-10-350641-6
本体 ¥1,800+税



読売新聞 2017/02/19



羊飼いの暮らし～イギリス湖水地方の四季～

ジェームズ・リーバンクス、濱野 大道 著
早川書房

何百匹もの子羊が生まれる春、太陽がさんさんと輝き、羊たちが山で気ままに草を食む夏…。イギリス・湖水地方で六百年以上つづく羊飼いの家系に生まれた著者が、羊飼いとして生きる喜びを語りつくす。

2017:1./ 385p
978-4-15-209668-5
本体 ¥2,400+税



読売新聞 2017/02/19



再発!それでもわたしは山に登る

田部井 淳子 著
文藝春秋

人生が終わるそのときまで、人と山を愛した世界初の女性エベレスト登頂者、田部井淳子。がん闘病中も精力的に活動し、2016年10月20日に亡くなった著者の遺稿集。

2016:12./ 223p
978-4-16-390588-4
本体 ¥1,400+税



読売新聞 2017/02/19



さよなら、カルト村。～思春期から村を出るまで～

高田 かや 著
文藝春秋

高校には行けず朝6時から労働! 結婚は村人が決めたおじさんと!? 過酷な労働や掟に縛られた「カルト村」で育った著者が、13?19歳の青春期を描いたコミックエッセイ。「カルト村で生まれました。」の続編。

2017:1./ 141p
978-4-16-390595-2
本体 ¥1,000+税



読売新聞 2017/02/19



漱石の印税帖～娘婿がみた素顔の文豪～(文春文庫 ま39-1)

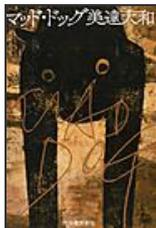
松岡 譲 著
文藝春秋

漱石没後に続出した「文豪ゆかりの品々」の真贋。大ベストセラー作家の収支決算は? 娘婿が書き綴る、文豪の素顔と文壇回想録。

2017:2./ 275p
978-4-16-790799-0
本体 ¥690+税



読売新聞 2017/02/19



マッド・ドッグ

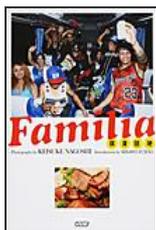
美達 大和 著
河出書房新社

菊山尚泰は1924年、韓国の貧しい農家に生まれ、18歳の時に日本に来た。その腕力だけで頂点に立った一人の男の一生。

2017:1./ 381p
978-4-309-02536-0
本体 ¥1,500+税



読売新聞 2017/02/19



Familia 保見団地

名越 啓介、藤野 眞功 著
世界文化社

日系ブラジル人が約3000人暮らす愛知県豊田市にある保見団地。写真家とノンフィクション作家が3年間住み込んで、その生活を描き出した写真集。

2016:11./ 1冊(ページ付なし)
978-4-418-16244-4
本体 ¥2,980+税



読売新聞 2017/02/19



その後の慶喜～大正まで生きた将軍～(ちくま文庫 い90-1)

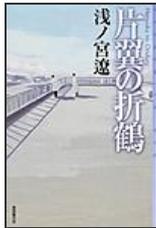
家近 良樹 著
筑摩書房

幕府瓦解から大正まで、30歳で歴史の表舞台から姿を消した最後の将軍の“長い余生”を近い人間の記録を元に明らかにする。

2017:1./ 255p,5p
978-4-480-43422-7
本体 ¥780+税



読売新聞 2017/02/19



片翼の折鶴(ミステリ・フロンティア 90)

浅ノ宮 遼 著
東京創元社

病室にあった翼のちぎれた折鶴の意味とは? 医師たちは推理の先に何を見るのか。静かな感動を呼ぶ表題作、第 11 回ミステリーズ!新人賞受賞作「消えた脳病変」など、臨床探偵・西丸の活躍を描く連作集。

読売新聞 2017/02/19

2016:11./ 225p
978-4-488-01792-7
本体 ¥1,600+税



ふくろうくん(こどもの本)

アーノルド・ローベル 著
文化出版局

読売新聞 2017/02/19

1987:3./ 64p
978-4-579-40255-7
本体 ¥854+税



TOKYO 外国人裁判

高橋秀実 著
平凡社

激増する外国人(不法就労者)。潜在的犯罪者の烙印を押された彼らが犯罪者となったとき、日本の裁判所はどのようにその罪を裁くのか。アジアへの差別を法廷から問いかける。

読売新聞 2017/02/19

1992:8./ 318p
978-4-582-82391-2
本体 ¥1,650+税



人生にはやらなくていいことがある(ベスト新書 538)

柳 美里 著
ベストセラーズ

過去の失敗、未来の不安にとらわれないために。お金、仕事、結婚、人間関係... 柳美里が「やるべきこと」ではなく「やらなくていいこと」から、幸せな生き方を見つめ直す。

読売新聞 2017/02/19

2016:12./ 205p
978-4-584-12538-0
本体 ¥780+税



<和解>のリアルポリティクス〜ドイツ人とユダヤ人〜

武井 彩佳 著
みすず書房

ホロコースト加害者と被害者を和解させたのは、道徳上無欠の謝罪ではなく国益と償いの理性的競合だった。和解の実相に批判的かつ実証的に迫りつつ、記憶の継承から派生する新たな問題も示す。

読売新聞 2017/02/19

2017:1./ 257p,22p
978-4-622-07921-7
本体 ¥3,400+税



失われた宗教を生きる人々〜中東の秘教を求めて〜(亜紀書房翻訳ノンフィクション・シリーズ 2-14)

ジェラード・ラッセル 著
亜紀書房

レタスを食べるのを拒否するヤズィード教徒、輪廻転生を信じるドゥルーズ派...。中東の秘境に、マイナー宗教の伝統を生きる人々を訪ね、その生々しい肉声から、文化の共生を可能にする古代の叡智を浮かび上がらせる。

読売新聞 2017/02/19

2016:12./ 488p
978-4-7505-1444-4
本体 ¥3,700+税





殺人の人類史<上>

コリン・ウィルソン、デイモン・ウィルソン、松田 和也 著
青土社

人はなぜ暴力をふるうのか。究極の問いへの答えを求めて-。古代から近代、そしていまなお繰り返されるありとあらゆる暴力の膨大なリストを整理し、人類史最大の謎にせまる鬼才コリン・ウィルソンの遺作。

2016:11./ 386p
978-4-7917-6961-2
本体 ¥3,200+税



読売新聞 2017/02/19



殺人の人類史<下>

コリン・ウィルソン、デイモン・ウィルソン、松田 和也 著
青土社

人はなぜ暴力をふるうのか。究極の問いへの答えを求めて-。古代から近代、そしていまなお繰り返されるありとあらゆる暴力の膨大なリストを整理し、人類史最大の謎にせまる鬼才コリン・ウィルソンの遺作。

2016:11./ 305p,14p
978-4-7917-6962-9
本体 ¥3,000+税



読売新聞 2017/02/19



思想戦~大日本帝国のプロパガンダ~

バラク・クシュナー、井形 彬 著
明石書店

「アジアの解放者」日本を内外に宣伝する「思想戦」。その戦士となることを国民は自ら選び加担した-。「十五年戦争」の長期にわたり総動員体制を持続させたプロパガンダのメカニズムと、参加した国民の実像を描く。

2016:12./ 417p
978-4-7503-4436-2
本体 ¥3,700+税



読売新聞 2017/02/19、東京・中日新聞 2017/02/26



サザビーズで朝食を~競売人が明かす美とお金の物語~

フィリップ・フック 著
フィルムアート社

シャガール、ミロはブルーが多いほど高額に?ゴッホは自殺したからこそ価値が高まった?サザビーズのディレクターが、長年の経験をもとに、作品の様式からオークションの裏側まで、美術にまつわるトピックを解説する。

2016:12./ 469p
978-4-8459-1632-0
本体 ¥3,000+税



読売新聞 2017/02/19、日本経済新聞 2017/02/19



歌ことば 100

今野 寿美 著
本阿弥書店

あがなふ、きりぎし、たまゆら、まにまに…。近現代の歌集から短歌の表現に特有と思われる語や言い回しを集め、100語にしぼって、用例作品に沿いながら、焦点の語を中心に作品の読み取りを試みる。『歌壇』連載を単行本化。

2017:1./ 298p
978-4-7768-1290-6
本体 ¥2,700+税



読売新聞 2017/02/21



しんくわ(新鋭短歌 32)

しんくわ 著
書肆侃侃房

卓球やあらゆる間接キスなどに負けるわけにはいかない僕らだ 理科室の水槽の中の僕たちに新月の夜を知らせたペンギン 第3回歌葉新人賞受賞作「卓球短歌カットマン」などを収録した、今を詠う歌人・しんくわの歌集。

2016:12./ 141p
978-4-86385-243-3
本体 ¥1,700+税



読売新聞 2017/02/21



狩人の悪夢(火村シリーズ)

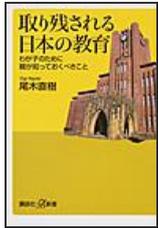
有栖川 有栖 著
KADOKAWA

ホラー作家の白布施と対談することになった、推理作家の有栖川有栖。眠ると悪夢を見てしまうという部屋のある白布施の家に行くことになった有栖だが、事件に巻き込まれ…。火村英生シリーズ。『文芸カドカワ』掲載を書籍化。

2017:1./ 413p
978-4-04-103885-7
本体 ¥1,600+税



読売新聞 2017/02/26



取り残される日本の教育～わが子のために親が知っておくべきこと～(講談社+α 新書 331-2C)

尾木 直樹 著
講談社

経済領域にも視野を広げ、世界と比べて日本の教育が遅れていることにアプローチ。危機的な状況にある日本の子どもたちに、これからどのような「教育」を提供していくのかを考える。

2017:1./ 204p
978-4-06-272972-7
本体 ¥840+税



読売新聞 2017/02/26



贅沢のススメ(講談社文庫 ほ 40-5)

本城 雅人 著
講談社

高級品を扱う店を次々と買収する気鋭ファンドのボス・藤浪と、その下で働く若者・古武士。二人はまず店に乗り込み、藤浪が帳簿を確認し、古武士が店で実際に働く。職人達が失った志や夢を取り戻す、再生の物語。

2017:1./ 401p
978-4-06-293547-0
本体 ¥800+税



読売新聞 2017/02/26



三省堂国語辞典のひみつ～辞書を編む現場から～(新潮文庫 い-129-1)

飯間 浩明 著
新潮社

三省堂国語辞典の編集に携わる著者が、改訂を重ねてきた三省堂国語辞典の内容を紹介しながら、「国語辞典のどういう所に注目してほしいか」「どういうふうに使ってほしいか」などを書きつづる。

2017:2./ 294p
978-4-10-120676-9
本体 ¥550+税



読売新聞 2017/02/26



縫わんばならん

古川 真人 著
新潮社

長崎の島の漁村の家の一族をめぐる四世代の来歴。語り合うことで持ち寄る記憶の断片を縫いあわせて結実するものがたりは、意識の流れを縦横に編み込んで人生の彩りを織りなす。『新潮』掲載を単行本化。

2017:1./ 138p
978-4-10-350741-3
本体 ¥1,600+税



読売新聞 2017/02/26



気づいたら先頭に立っていた日本経済(新潮新書 697)

吉崎 達彦 著
新潮社

悲観するな。成長のタネはこんなにある！ 経済が「実需」から遊離し、「遊び」でしか伸ばせなくなった時代、もっとも可能性に満ちている国は日本である——。エコノミストが独自の「遊民経済学」で読み解く。

2016:12./ 250p
978-4-10-610697-2
本体 ¥800+税



読売新聞 2017/02/26



神よ、あの子を守りたまえ(トニ・モリスンコレクション)

トニ・モリスン、大社 淑子 著
早川書房

漆黒の肌を持って生まれたために母から拒絶された少女。成人した彼女は、去った恋人を追って旅に出て、様々な人々と出会う。ノーベル文学賞受賞作家が現代を舞台に描いた贖罪と生まれ直しの物語

2016:11./ 239p
978-4-15-209649-4
本体 ¥3,000+税



読売新聞 2017/02/26



みんな酒場で大きくなった(河出文庫 お36-1)

太田 和彦 著
河出書房新社

角野卓造・川上弘美・東海林さだお・椎名誠・大沢在昌・成田一徹という豪華メンバーと太田和彦が酒場愛を語る、酒場愛溢れる対談集!

2017:1./ 219p
978-4-309-41501-7
本体 ¥660+税



読売新聞 2017/02/26



インスタント・ジャーニー

田丸 雅智 著
実業之日本社

1話5分の絶景旅行!フランス、東京、ペルー…。ショートショートの名手がおくる、全18編の世界旅行へご招待。『J□novel+』『月刊J□novel』等掲載を書籍化。

2017:1./ 232p
978-4-408-53701-6
本体 ¥1,500+税



読売新聞 2017/02/26



塩の博物誌

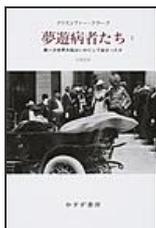
ピエール・ラズロ 著
東京書籍

塩漬けという保存・調理法、魚と浸透圧など塩の生物学、「塩税」「塩の行進」など塩をめぐる政治と歴史のエピソード、塩田、塩の道。塩の神話と伝説、塩に関する世界の諺ほか、総合的な「知の塩」を提唱する。

2005:2./ 247p
978-4-487-80013-1
本体 ¥2,400+税



読売新聞 2017/02/26



夢遊病者たち～第一次世界大戦はいかにして始まったか～<1>

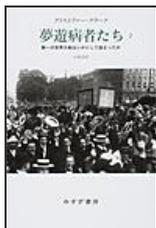
クリストファー・クラーク、小原 淳 著
みすず書房

それは20世紀最初の災厄であり、あらゆる災厄はここから湧き出した。史上初の総力戦、第一次世界大戦はどのように始まったのか。バルカン半島の紛争が未曾有の世界大戦へと展開する過程を克明に描く。

2017:1./ 369p,50p
978-4-622-08543-0
本体 ¥4,600+税



読売新聞 2017/02/26



夢遊病者たち～第一次世界大戦はいかにして始まったか～<2>

クリストファー・クラーク、小原 淳 著
みすず書房

政策決定者たちは、自らの決定が戦争へと展開することを見ようとなし「夢遊病者」だった。史上初の総力戦、第一次世界大戦はどのように始まったのか。バルカン半島の紛争が未曾有の世界大戦へと展開する過程を克明に描く。

2017:1./ p371?844 88p
978-4-622-08544-7
本体 ¥5,200+税



読売新聞 2017/02/26



日本の橋～その物語・意匠・技術～(シリーズ・ニッポン再発見 5)

五十畑 弘 著
ミネルヴァ書房

いろいろな出来事や小説の舞台となった橋にまつわる物語や、造形の対象として見た橋の意匠、そして構造物の側面から見た橋の技術の視点から話題を設定。これを通じて日本の文化と歴史をとらえる。

2016:12./ 249p,5p
978-4-623-07890-5
本体 ¥2,000+税



読売新聞 2017/02/26



よみがえる古代山城～国際戦争と防衛ライン～(歴史文化ライブラリー 440)

向井 一雄 著
吉川弘文館

朝鮮半島にルーツを持つ日本の古代山城。その分布は一見大陸からの防衛ラインをなしているが、機能したのだろうか。史書など記録にない謎の遺跡「神籠石系山城」を中心に実態を探り、新たな古代山城を描き出す。

2017:1./ 7p,211p
978-4-642-05840-7
本体 ¥1,700+税



読売新聞 2017/02/26



地域ごはん日記～コミュニティデザイナーのおいしい旅～

山崎 亮 著
パイインターナショナル

くいしん坊コミュニティデザイナー・山崎亮が、日本各地から世界まで、地元の特産や地域密着グルメを食べながら考えた、まちのこと・ごはんのことを綴る。『建築ジャーナル』連載コラムをもとに単行本化。

2017:1./ 255p
978-4-7562-4814-5
本体 ¥1,500+税



読売新聞 2017/02/26



バーニングマン～アート・オン・ファイヤー～

ジェニファー・レイザー 著
玄光社

伝説の巨大芸術アートイベント「バーニングマン」日本初の公式写真集!

2017:1./ 256p
978-4-7683-0803-5
本体 ¥3,400+税



読売新聞 2017/02/26



語源が分かる恐竜学名辞典～恐竜類以外の古生物(翼竜類・魚竜類など)の学名も一部含む～

松田 眞由美、小林 快次、藤原 慎一 著
北隆館

命名者の意図を伝えることを目的に、主に恐竜の学名に焦点を当て、学名を分解し、その由来について解説する。恐竜類の他に、中生代に生息していた翼竜類、プレシオサウルス類なども掲載。用語リスト、学名解説の2部構成。

2017:1./ 540p
978-4-8326-0734-7
本体 ¥9,000+税



読売新聞 2017/02/26



モータリゼーションの世紀～T型フォードから電気自動車へ～(岩波現代全書 096)

鈴木 直次 著
岩波書店

T型フォード発売から1世紀。モータリゼーションを主導してきたGM、フォード、クライスラーを軸に、欧州、日本、新興国をも視野に入れて自動車産業の栄枯盛衰の歴史を辿り、自動車文明のこれからを展望する。

2016:11./ 7p,263p,7p
978-4-00-029196-5
本体 ¥2,300+税



日本経済新聞 2017/02/05



自由と規律～イギリスの学校生活～ 改版(岩波新書 青版 C-141)

池田潔 著
岩波書店

若き日をイギリスのパブリック・スクールで学んだ著者が、自由の精神が厳格な規律の中で見事に育まれてゆく教育システムを、体験を通して興味深く描く。

1993:4./ 171p
978-4-00-412141-1
本体 ¥720+税



日本経済新聞 2017/02/05



朝のガスパール

筒井康隆 著
朝日新聞出版

パソコン・ゲーム、財テク、パーティー、不倫、ヤクザ……。商社常務・貴野原征三と美貌の妻・聡子を主人公に、めくるめく筒井ワールドが展開!25000 通にのぼる意見を「物語」に結実させた史上初の読者参加新聞小説。

1992:7./ 327p
978-4-02-256483-2
本体 ¥1,262+税



日本経済新聞 2017/02/05



横浜駅 SF(カドカワ BOOKS M-い-2-1-1)

柘刈 湯葉 著
KADOKAWA

日本は自己増殖する「横浜駅」に支配されていた。脳に埋め込んだSuikaで管理されるエキナカ社会。その外で廃棄物を頼りに暮らすヒロトは、エキナカを追放されたある男から人類の未来を担う“使命”を課され……

2016:12./ 282p
978-4-04-072157-6
本体 ¥1,200+税



日本経済新聞 2017/02/05



暴露の世紀～国家を揺るがすサイバーテロリズム～(角川新書 K-115)

土屋 大洋 著
KADOKAWA

IT革命以後、完全なる機密情報など存在しえない「暴露の世紀」が幕を開けた。狙われているのは原発、東京五輪、そしてあなたのスマホ——。サイバーセキュリティの第一人者が日本人に突きつける、新世紀の現実。

2016:12./ 239p
978-4-04-082102-3
本体 ¥800+税



日本経済新聞 2017/02/05



星の王子さま(角川文庫 サ 3-1)

サン＝テグジュペリ 著
角川書店

砂漠のまっただ中に不時着した飛行士の前に現れた不思議な金髪の少年。少年の話から、彼の存在の神秘が次第に明らかに……。生きる意味を問いかける永遠の名作、斬新な新訳で登場。

2011:6./ 158p
978-4-04-298219-7
本体 ¥480+税



日本経済新聞 2017/02/05



影法師(講談社文庫 ひ 43-4)

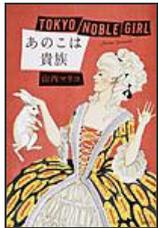
百田 尚樹 著
講談社

生涯の契りを誓った2人の少年。1人は異例の出世を果たし、1人は貧困のなかで朽ち果てた。国家老となった名倉彰蔵は、竹馬の友・磯貝彦四郎の不遇の死の真相を追うが……。単行本未収録の「終章」を袋とじで収録。

2012:6./ 397p,7p
978-4-06-277283-9
本体 ¥660+税



日本経済新聞 2017/02/05



あのはは貴族〜TOKYO NOBLE GIRL〜

山内 マリコ 著
集英社

東京生まれのお嬢様・華子と、地方生まれの OL・美紀。会うはずのなかった女二人が同じ男をきっかけに巡り合っ。東京の「上流階級」を舞台に、結婚の葛藤と解放を描く、渾身の長編小説。

日本経済新聞 2017/02/05

2016:11./ 283p
978-4-08-771017-5
本体 ¥1,500+税



生きて来た以上は、生きねばならぬ〜漱石珠玉の言葉〜(新潮文庫 な-1-30)

石原 千秋 編
夏目 漱石 著
新潮社

世間と自身の生き方との大きな隔たりに苦しんだ夏目漱石。彼の残した言葉には、類稀な経験に育まれた深い叡智が込められている。漱石研究の第一人者が、25 作品から 413 の言葉を厳選し、それらを鮮やかに読み解く。

日本経済新聞 2017/02/05

2017:2./ 495p
978-4-10-101030-4
本体 ¥750+税



沈黙 改版(新潮文庫)

遠藤 周作 著
新潮社

島原の乱が鎮圧されて間もないころ、キリシタン禁制の厳しい日本に潜入したポルトガル人司祭ロドリゴは、日本人信徒たちに加えられる残忍な拷問と悲惨な殉教のうめき声に接して苦悩し、ついに背教の淵に立たされる……。

日本経済新聞 2017/02/05

2003:5./ 312p
978-4-10-112315-8
本体 ¥550+税



シンガポール〜スマートな都市、スマートな国家〜

ケント・カルダー、長谷川 和弘 著
中央公論新社

シンガポールは、発展途上国だけではなく、G7 のような先進工業国にとってもモデルになりうる。シンガポールの経済発展、社会の安定、対外関係における戦略を徹底分析する。

日本経済新聞 2017/02/05

2016:12./ 273p
978-4-12-004927-9
本体 ¥2,300+税



これからの「正義」の話しよう〜いまを生き延びるための哲学〜(ハヤカワ文庫 NF 376)

マイケル・サンデル 著
早川書房

正解のない究極の難問に挑み続ける、ハーバード大学の超人気哲学講義 "JUSTICE"。サンデル教授の問いに取り組むことで見えてくる、よりよい社会の姿とは？

日本経済新聞 2017/02/05

2011:11./ 475p
978-4-15-050376-5
本体 ¥900+税



モンティ・パイソンができるまで〜ジョン・クリーズ自伝〜

ジョン・クリーズ、安原 和見 著
早川書房

私立小学校初日に味わった屈辱的な体験から相棒チャップマンと出会った大学の楽園の日々を経て、パイソンズ結集へ……笑いの革命を推し進めたラディカルな英国喜劇人が書き下ろした待望の自伝

日本経済新聞 2017/02/05

2016:12./ 565p
978-4-15-209661-6
本体 ¥3,400+税





竜馬がゆく<1>(文春文庫)
 司馬 遼太郎 著
 文芸春秋
 日本経済新聞 2017/02/05

1998:9./ 446p
 978-4-16-710567-9
 本体 ¥650+税



* 9 7 8 4 1 6 7 1 0 5 6 7 9 *



竜馬がゆく<2>(文春文庫)
 司馬 遼太郎 著
 文芸春秋
 日本経済新聞 2017/02/05

1998:9./ 441p
 978-4-16-710568-6
 本体 ¥650+税



* 9 7 8 4 1 6 7 1 0 5 6 8 6 *



竜馬がゆく<3>(文春文庫)
 司馬 遼太郎 著
 文芸春秋
 日本経済新聞 2017/02/05

1998:9./ 430p
 978-4-16-710569-3
 本体 ¥650+税



* 9 7 8 4 1 6 7 1 0 5 6 9 3 *



竜馬がゆく<4>(文春文庫)
 司馬 遼太郎 著
 文芸春秋
 日本経済新聞 2017/02/05

1998:9./ 425p
 978-4-16-710570-9
 本体 ¥650+税



* 9 7 8 4 1 6 7 1 0 5 7 0 9 *



竜馬がゆく<5>(文春文庫)
 司馬 遼太郎 著
 文芸春秋
 日本経済新聞 2017/02/05

1998:10./ 430p
 978-4-16-710571-6
 本体 ¥650+税



* 9 7 8 4 1 6 7 1 0 5 7 1 6 *

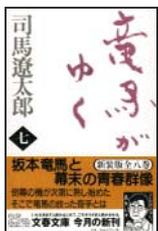


竜馬がゆく<6>(文春文庫)
 司馬 遼太郎 著
 文芸春秋
 日本経済新聞 2017/02/05

1998:10./ 437p
 978-4-16-710572-3
 本体 ¥650+税



* 9 7 8 4 1 6 7 1 0 5 7 2 3 *



竜馬がゆく<7>(文春文庫)
 司馬 遼太郎 著
 文芸春秋
 日本経済新聞 2017/02/05

1998:10./ 426p
 978-4-16-710573-0
 本体 ¥650+税



* 9 7 8 4 1 6 7 1 0 5 7 3 0 *



竜馬がゆく<8>(文春文庫)
 司馬 遼太郎 著
 文芸春秋
 日本経済新聞 2017/02/05

1998:10./ 441p
 978-4-16-710574-7
 本体 ¥650+税



* 9 7 8 4 1 6 7 1 0 5 7 4 7 *



エラリー・クイーン推理の芸術

フランシス・M.ネヴィンズ 著

国書刊行会

第1作「ローマ帽子の謎」出版と<作家=探偵>エラリー・クイーン誕生秘話から、覆面作家時代の逸話、合作の内幕、代作者問題、ダネイとリーの知られざる横顔まで、エラリー・クイーンの秘密を解き明かす。

日本経済新聞 2017/02/05

2016:11/
457p,76p,37p 図版
12p

978-4-336-06102-7
本体 ¥3,600+税



シリア難民～人類に突きつけられた 21 世紀最悪の難問～

パトリック・キングズレー 著

ダイヤモンド社

EU 分裂、イスラム国、相次ぐテロ…。泥沼化する難民危機の「最前線」で、いったい何が起きているのか?移民専門ジャーナリストが、3 大陸 17 各国で取材し、「難民危機」の本質をあぶり出す。

日本経済新聞 2017/02/05

2016:11./ 13p,342p

978-4-478-06885-4

本体 ¥2,000+税



「本をつくる」という仕事

稲泉 連 著

筑摩書房

ミス無くすための校閲。衣装を着せる装丁。むろん紙がなければ本はできない。印刷、製本、書体など本を支えるプロに話を聞きに行く。

日本経済新聞 2017/02/05

2017:1./ 235p

978-4-480-81534-7

本体 ¥1,600+税



僕が「プロ経営者」になれた理由～変革のリーダーは「情熱×戦略」～

樋口 泰行 著

日本経済新聞出版社

経営のプロとして変革を断行してきた著者が、「変革のリーダー」となるためのマインドセットや視点の持ちかた、キャリアを積んでいくにあたってのヒントを綴る。『日経電子版』の「出世ナビ」連載コラムをもとに書籍化。

日本経済新聞 2017/02/05

2016:12./ 230p

978-4-532-32118-5

本体 ¥1,600+税



ディベートがうまくなる法～議論・説得・交渉に勝つための技術～(PHP 文庫)

北岡 俊明 著

PHP研究所

ディベートは、単なる議論の技術ではなく、論理的に考え、表現するための方法論である。会議やプレゼンですぐに役立つ画期的な入門書。

日本経済新聞 2017/02/05

1997:3./ 203p

978-4-569-56995-6

本体 ¥456+税



サッカー戦術とチームワーク

チャールズ・F.C.ヒューズ 著

ベースボール・マガジン社

日本経済新聞 2017/02/05

1986:7./ 188p

978-4-583-01636-8

本体 ¥1,500+税





テクノロジーは貧困を救わない

外山 健太郎 著

みすず書房

試行錯誤から見えてきたのは、人間開発の重要性だった。ガーナのリベラルアーツ教育機関、インド農民の動画教育などを紹介しながら、社会を前進させるのは、テクノロジーではなく人間の知恵であることを語り尽くす。

2016:11./ 301p,91p

978-4-622-08554-6

本体 ¥3,500+税



日本経済新聞 2017/02/05



治天のまなざし、王朝美の再構築～鎌倉・南北朝時代～(天皇の美術史 2)

伊藤 大輔、加須屋 誠 著

吉川弘文館

鎌倉?南北朝期の美術史を、視覚の在り方＝「まなざし」の力学から考察し深化させる。絵巻物や肖像画を軸とした院政期美術を再検討、未解明の14世紀美術史を体系的に把握。研究の最前線を切り開く、新たな中世美術論。

2017:2./ 7p,204p

978-4-642-01732-9

本体 ¥3,500+税



日本経済新聞 2017/02/05



がん消滅の罫～完全寛解の謎～

岩木 一麻 著

宝島社

余命半年の宣告を受けたがん患者が、生命保険の生前給付金を受け取ると、その直後、病巣がきれいに消え去ってしまう。連続して起きるがん消失事件は奇跡か、陰謀か。医師・夏目とがん研究者・羽島が謎に挑む!

2017:1./ 325p

978-4-8002-6565-4

本体 ¥1,380+税



日本経済新聞 2017/02/05



故事成語で読み解く中国経済

李 智雄 著

日経BP社

中国経済を知るための必読書。需要飽和による経済成長の鈍化という現状をデータ中心に確認した上で、シャドー・バンキングや不良債権の問題を考察。さらに中国経済を分析するにあたっての基礎知識と経済指標を簡潔に説明する。

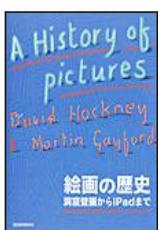
2016:11./ 399p

978-4-8222-5181-9

本体 ¥2,800+税



日本経済新聞 2017/02/05



絵画の歴史～洞窟壁画からiPadまで～

デイヴィッド・ホックニー、マーティン・ゲイフォード、木下 哲夫 著

青幻舎

人類は何を見つめ、描いてきたのか。洞窟壁画からレンブラント、中国の水墨画、ディズニー映画、iPad ドローイングまで、画像の歴史を叙述するとともに、時代や地域の枠を越え、絵画表現の本質に迫る。図版 310 点を収録。

2017:3./ 360p

978-4-86152-587-2

本体 ¥5,500+税



日本経済新聞 2017/02/05



キャスターという仕事(岩波新書 新赤版 1636)

国谷 裕子 著

岩波書店

ジャーナリズムに新しい風を吹き込んだ<クローズアップ現代>。番組スタッフたちの熱き思いとともに、真摯に、そして果敢に、自分の言葉で世に問いかけ続けてきたキャスターが、23年にわたる挑戦の日々を語る。

2017:1./ 5p,246p

978-4-00-431636-7

本体 ¥840+税



日本経済新聞 2017/02/05、産経新聞 2017/02/12、朝日新聞 2017/02/26



春に散る<上>

沢木 耕太郎 著
朝日新聞出版

「俺たちにはまだ、やり残したことがある」40年ぶりにアメリカから帰国したひとりの男。かつてボクシングの世界で共に頂点を目指した仲間と再会して…。『朝日新聞』連載を大幅に加筆して単行本化。

2016:12./ 427p
978-4-02-251441-7
本体 ¥1,600+税



日本経済新聞 2017/02/05、産経新聞 2017/02/26



春に散る<下>

沢木 耕太郎 著
朝日新聞出版

男たちのもとへ現れた若きボクサー。才能あふれる彼に、いったい何を手渡してやれるだろう？ 人生の終盤にたどり着く「幸せ」のかたちを問う感動巨編。『朝日新聞』連載を大幅に加筆して単行本化。

2016:12./ 419p
978-4-02-251442-4
本体 ¥1,600+税



日本経済新聞 2017/02/05、産経新聞 2017/02/26



人質の経済学

ロレッタ・ナポリオーニ、村井 章子 著
文藝春秋

誘拐ビジネスとは何か。助かる人質と助からない人質の違いは。交渉人、誘拐専門の警備会社、囚われた人質、難民らの証言によって事実を明らかにし、誘拐により、いかにジハーディスト組織が成立し、伸長していったかを描く。

2016:12./ 308p
978-4-16-390580-8
本体 ¥1,750+税



日本経済新聞 2017/02/05、読売新聞 2017/02/26



音の糸

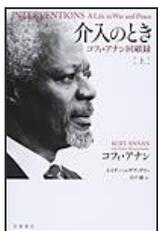
堀江 敏幸 著
小学館

音の発毛促進、前倒しのアンコール、魔笛の使い方…。記憶を手繰る、言葉を奏でる。静かに響きわたる、作家・堀江敏幸の音楽エッセイ。『クラシックプレミアム』連載記事に加筆して構成。

2017:1./ 171p
978-4-09-388525-6
本体 ¥1,600+税



日本経済新聞 2017/02/05、毎日新聞 2017/02/26



介入のとき~コフィ・アナン回顧録~<上>

コフィ・アナン、ネイダー・ムザヴィザドゥ、白戸 純 著
岩波書店

第7代国連事務総長コフィ・アナンの自伝。上は、冷戦後に勃発したソマリア、ルワンダ、ボスニア、コソボ、東チモール、ケニアなどの紛争への困難な介入をたどる。

2016:11./ 17p,248p
978-4-00-061161-9
本体 ¥2,700+税



日本経済新聞 2017/02/12



介入のとき~コフィ・アナン回顧録~<下>

コフィ・アナン、ネイダー・ムザヴィザドゥ、白戸 純 著
岩波書店

第7代国連事務総長コフィ・アナンの自伝。下は、ミレニアム開発目標の創設から、9・11 テロ事件、アフガン戦争、そしてイラク戦争に至るまでの激動の軌跡をたどる。マイケル・イグナティエフによる解説も収録。

2016:11./ 8p,220p,7p
978-4-00-061162-6
本体 ¥2,700+税



日本経済新聞 2017/02/12



労働法入門(岩波新書 新赤版 1329)

水町 勇一郎 著
岩波書店

労働法の根幹と全体像をやさしく説き明かす、社会人のための入門書。採用・人事・解雇・賃金・労働時間・雇用差別・労働組合・労働紛争などの基礎知識をはじめ、欧米諸国との比較や新しい動きも盛り込む。

2011:9./ 20p,226p,4p
978-4-00-431329-8

本体 ¥840+税



日本経済新聞 2017/02/12



安倍三代

青木 理 著
朝日新聞出版

母方の祖父・岸信介を慕う安倍晋三首相のもうひとつの系譜。反戦の政治家として軍部と闘った父方の祖父・寛と、その後を継いだ父・晋太郎。気鋭のジャーナリストが「安倍三代」の軌跡を追う。『AERA』連載を加筆・修正。

2017:1./ 294p

978-4-02-331543-3

本体 ¥1,600+税



日本経済新聞 2017/02/12



破門(角川文庫 く26-7)

黒川 博行 著
KADOKAWA

映画製作への出資金を持ち逃げされたヤクザの桑原と建設コンサルタントの二宮。失踪したプロデューサーを追い、桑原は本家筋の構成員を病院送りにしてしまう。組同士の込みあいをふたりは切り抜かれるのか

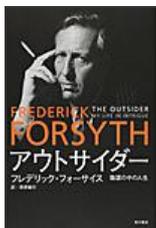
2016:11./ 566p

978-4-04-104117-8

本体 ¥920+税



日本経済新聞 2017/02/12



アウトサイダー〜陰謀の中の人生〜

フレデリック・フォーサイス 著
KADOKAWA

英空軍パイロット、ロイター特派員、BBC 記者。5 カ国語を流暢に操り、旧東ドイツにも潜入。「ジャッカルの日」誕生秘話やナチス残党の秘密結社への潜入取材など、国境を越えて描かれる小説のような人生を初めて明かす。

2016:12./ 379p 図版
16p

978-4-04-104923-5

本体 ¥2,000+税



日本経済新聞 2017/02/12



米中戦争〜そのとき日本は〜(講談社現代新書 2400)

渡部 悦和 著
講談社

元自衛隊最高幹部が「米中戦争」「日中紛争」のリアルな姿を徹底分析。「台湾」「南沙諸島」「尖閣」「南西諸島」の 4 つのシナリオから読み解く。日本の防衛の重要事項についても解説。

2016:11./ 254p

978-4-06-288400-6

本体 ¥840+税



日本経済新聞 2017/02/12



近代天皇論〜「神聖」か、「象徴」か〜(集英社新書 0865)

片山 杜秀、島蘭 進 著
集英社

退位問題をきっかけに天皇とは何かについて新たな論争の火蓋が切られた。この問題を幕末にまで遡り、この国の伝統と西欧文明との間で揺れ続けた日本の近代の中の天皇の姿と向き合う画期的な対論!

2017:1./ 251p

978-4-08-720865-8

本体 ¥760+税



日本経済新聞 2017/02/12



ドラマ「鬼平犯科帳」ができるまで(文春文庫 か71-2)

春日 太一 著
文藝春秋

遂に幕を閉じた TV「鬼平犯科帳」シリーズ。その長い歴史を振り返り、制作スタッフたちの貴重な証言を聞き取るファン必読の書。

日本経済新聞 2017/02/12

2017:1./ 281p
978-4-16-790777-8
本体 ¥700+税



能・狂言の誕生

諏訪 春雄 著
笠間書院

中世に誕生した能や狂言。「いつどこで、だれの手によって誕生したのか」という過程をあきらかにするため、中国大陆からの影響を中心に追究する。東アジアを研究してきた著者の比較芸能史研究の集大成。

日本経済新聞 2017/02/12

2017:1./ 7p,300p
978-4-305-70820-5
本体 ¥3,500+税



バイオリニストは弾いてない

鶴我 裕子 著
河出書房新社

バイオリニストにして屈指のエッセイストでもある著者の最新エッセイ集。指揮、オケ、N響のこと等を辛口で綴る。巻末本音トークも!

日本経済新聞 2017/02/12

2016:11./ 202p
978-4-309-27786-8
本体 ¥1,600+税



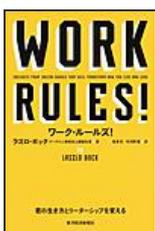
阪急電鉄スゴすぎ謎学〜私鉄界のお手本カンパニーは上質で奥深い魅力がいっぱい!〜(KAWADE 夢文庫 K1060)

小佐野 カゲトシ 著
河出書房新社

車体色の「阪急マルーン」はなぜ、かくも美しい?...鉄道ファンだけでなく、沿線住民からも”溺愛”されている鉄道会社の秘密に迫る!

日本経済新聞 2017/02/12

2017:1./ 222p
978-4-309-49960-4
本体 ¥680+税



ワーク・ルールズ!〜君の生き方とリーダーシップを変える〜

ラズロ・ボック、鬼澤 忍、矢羽野 薫 著
東洋経済新報社

自分より優秀な人だけを採用する。カネを使うときは惜しみなく使う。世界最高の職場を設計した男、グーグルの人事トップが、採用・育成・評価のすべてを公開する。ベストチームをつくるアドバイスが満載。

日本経済新聞 2017/02/12

2015:7./ 558p
978-4-492-53365-9
本体 ¥1,980+税



格付 価値の再認識と広がる投資戦略

田中 英隆、石渡 明 著
日本経済新聞出版社

現状の社債市場とそこにおける格付利用に加えて、市場型間接金融の発展に資する今後のさらなる格付利用のあり方を考えるために、市場における信用格付の価値や意義、利用方法等について格付会社の立場から論じる。

日本経済新聞 2017/02/12

2016:10./ 253p
978-4-532-32110-9
本体 ¥2,300+税





人材覚醒経済

鶴 光太郎 著

日本経済新聞出版社

一億総活躍、同一労働同一賃金、性格スキル…。働き方だけで日本は変わる！成長のアキレス腱となった無限定正社員システム。その問題点を解決できるのはジョブ型正社員だけ。実力派経済学者が労働改革の具体策を提示する。

2016:9./ 311p

978-4-532-35702-3

本体 ¥2,800+税



日本経済新聞 2017/02/12



中国安全保障全史～万里の長城と無人の要塞～

アンドリュー・J.ネイサン、アンドリュー・スコベル、河野 純治 著

みすず書房

何が中国の政策を動かしているのか。アメリカの中国論の権威である著者が、第二次世界大戦後から現在まで、政治・経済・軍事を包括した視点から、グローバルに中国の安全保障政策を鳥瞰する。

2016:12./

24p,336p,31p

978-4-622-07956-9

本体 ¥4,600+税



日本経済新聞 2017/02/12



世界と僕のあいだに

タナハシ・コーツ 著

慶應義塾大学出版会

黒人の肉体は自らの所有物ではなく、白人によって築かれた祖国アメリカの歴史を支えてきた資源にすぎない。冷徹な現実認識をもって、現代アメリカ社会の矛盾を描き、黒人が生き抜く術を教える、父から息子への長い長い手紙。

2017:2./ 189p

978-4-7664-2391-4

本体 ¥2,400+税



日本経済新聞 2017/02/12



労働法で人事に新風を

大内 伸哉 著

商事法務

田辺専務が進めてきた人事改革には労働法の視点が希薄であることに気づいた戸川美智香。正義感あふれる彼女は、それを是正するため、次々とチャレンジし…。美智香が入社した中堅商社・豊夢商事を舞台に、人事部の日常を描く。

2016:1./ 321p

978-4-7857-2377-4

本体 ¥3,400+税



日本経済新聞 2017/02/12



欧州航路の文化誌～寄港地を読み解く～

橋本 順光、鈴木 禎宏 著

青弓社

明治後期から戦前にかけて発展し、多くの日本人に異文化体験を提供した船の旅=欧州航路は、数百年にわたる西洋の東洋進出を歴史的に遡る旅でもあった。和辻哲郎の「風土」を補助線に、近代日本の海外イメージを照らし出す。

2017:1./ 229p

978-4-7872-2069-1

本体 ¥2,000+税



日本経済新聞 2017/02/12



いのちの証言～ナチスの時代を生き延びたユダヤ人と日本人～

六草 いちか 著

晶文社

ナチ政権下、ホロコースト時代をどのように生き延びたのか。生存ユダヤ人とユダヤ人を救った日本人たちの記憶と証言をもとに、悲劇の時代に生きた人間の姿をありのままにつづる、渾身のノンフィクション。

2017:1./ 229p

978-4-7949-6952-1

本体 ¥1,900+税



日本経済新聞 2017/02/12



アピチャップン・ウィーラセタクン〜光と記憶のアーティスト〜

相澤 虎之助、金子 遊 編

相澤 虎之助 著

フィルムアート社

バンコクから離れたタイ東北部で育った映像作家が、映画を呼び覚ます。「イメージの哲学者」アピチャップン・ウィーラセタクンを、アート/人類学/映画論から読み解く批評集。本人のインタビューや作品ガイドも収録。

2016:12./ 311p,39p

978-4-8459-1617-7

本体 ¥3,200+税



日本経済新聞 2017/02/12



ジェイン・エア<上>(岩波文庫 赤 232-1)

シャーロット・ブロンテ 著

岩波書店

伯母に疎まれ、寄宿学校に入れられた孤児ジェインは、18歳の秋、自由と自立を望み旅立つ。家庭教師に雇われた邸で待つ新しい運命とは…。主人公の真率な語りが魅力的な、読みつがれる愛の物語。

2013:9./ 440p

978-4-00-357002-9

本体 ¥1,020+税



日本経済新聞 2017/02/19



ジェイン・エア<下>(岩波文庫 赤 232-2)

シャーロット・ブロンテ 著

岩波書店

身分と慣習を乗り越え結びあう二つの魂、その前に立ちはだかる過酷な事実。再び一人で歩きだしたジェインが、放浪の果てに出会うのは…。自由を求め、自らの意思で運命を切り開く若い女性が語る、時代を超えた鮮烈な愛の物語。

2013:10./ 511p

978-4-00-357003-6

本体 ¥1,080+税



日本経済新聞 2017/02/19



アメリカの大学の裏側〜「世界最高水準」は危機にあるのか?〜(朝日新書 603)

アキ・ロバーツ、竹内 洋 著

朝日新聞出版

過酷な教員終身雇用審査が続く学内には「枯れ木」教授が居座り続け、世界一高い授業料に、学生ローンは100兆円超え! 超名門大学が「階級格差」を再生産! アメリカの大学の実態を現役大学教授が徹底リポートする。

2017:1./ 275p

978-4-02-273703-8

本体 ¥820+税



日本経済新聞 2017/02/19



汝、ふたつの故国に殉ず〜台湾で「英雄」となったある日本人の物語〜

門田 隆将 著

KADOKAWA

台湾女性と家庭を築いた熊本出身の若者は、のちに「英雄」と呼ばれる男の子をもうけた。戦後の台湾の悲劇は、一家を動乱に巻き込んでいき…。「二二八事件」で多くの市民を救った「英雄」徳章とその一族の物語。

2016:12./ 360p

978-4-04-103538-2

本体 ¥1,800+税



日本経済新聞 2017/02/19



在日二世の記憶(集英社新書 0857)

小熊 英二、高 賛侑、高 秀美 編

集英社

「一世」以上に劇的な運命と、アイデンティティをめぐる困難な問いに翻弄された「二世」たちの記録。各分野のパイオニアとして逞しく生き抜いてきた50人のライフヒストリーは、深い感動を呼び起こす!

2016:11./ 761p

978-4-08-720857-3

本体 ¥1,600+税



日本経済新聞 2017/02/19



ブロンテ姉妹 詩選集(エミリ)/ジェイン・エア抄(シャーロット)/アグネス・グレイ(アン)(集英社文庫 Z1-12)

桜庭 一樹 編
ブロンテ姉妹 著
集英社

貧しくも力強く生きた三姉妹の物語は、社会の真実を代弁する—シャーロット『ジェイン・エア(抄)』、エミリ『詩選集』、アン『アグネス・グレイ』を収録。彼女たちの時代とその息吹を探る。(解説/桜庭一樹)

2016:11./ 782p
978-4-08-761045-1
本体 ¥1,300+税



日本経済新聞 2017/02/19



ムハマド・ユヌス自伝<上>(ハヤカワ文庫 NF 444)

ムハマド・ユヌス、アラン・ジョリ 著
早川書房

わずかな無担保の融資により、貧しい人々の経済的自立を助ける「マイクロクレジット」を発案し、ノーベル平和賞を受賞したユヌスとはどのような人物なのか?社会を変えるため闘った男が自ら語る、真実の物語。

2015:9./ 289p
978-4-15-050444-1
本体 ¥880+税



日本経済新聞 2017/02/19



ムハマド・ユヌス自伝<下>(ハヤカワ文庫 NF 445)

ムハマド・ユヌス、アラン・ジョリ 著
早川書房

ユヌスの地道な努力が実を結び、小さな村で産声を上げたグラミン銀行。貧しい人向けの住宅ローンや健康保険といった新規事業を立ち上げ、有力者の支持を集めるまでに飛躍していく…。果敢にチャレンジし続けたユヌスの半生。

2015:9./ 313p
978-4-15-050445-8
本体 ¥880+税



日本経済新聞 2017/02/19



見よ月が後を追う

丸山健二 著
文藝春秋

原発で生気を失った町から、青年はいわくつきのオートバイを駆って都会へ。疾走感あふれる文体で究極の文学を実現した書下し長篇。

1993:5./ 502p
978-4-16-313920-3
本体 ¥1,748+税



日本経済新聞 2017/02/19



サイコパス(文春新書 1094)

中野 信子 著
文藝春秋

とんでもない犯罪を平然と遂行する、ウソがバレても、むしろ自分が被害者であるかのようにふるまう…。そんなサイコパスの脳の謎が脳科学の急速な進歩で明らかになってきた。脳と人類の進化に隠されたミステリーに迫る。

2016:11./ 232p
978-4-16-661094-5
本体 ¥780+税



日本経済新聞 2017/02/19



実況・料理生物学(文春文庫 お 70-1)

小倉 明彦 著
文藝春秋

カレーライスとカプサイシン、ラーメンと浸透圧、お茶とポリフェノール…。ごく身近な「料理」という作業を題材に、生物学を体感する大阪大学の人気講義「料理生物学入門」をもとにした、やさしく楽しい科学本。

2017:2./ 253p
978-4-16-790801-0
本体 ¥780+税



日本経済新聞 2017/02/19



嵐が丘<上>(光文社古典新訳文庫)

エミリー・ジェーン・ブロンテ 著
光文社

ヨークシャの荒野に立つ屋敷〈嵐が丘〉。その主人が連れ帰ったヒースクリフは、屋敷の娘キャサリンに恋をする。しかしキャサリンは隣家の息子と結婚することになり、ヒースクリフは失意のなか失踪する……。

2010:1./ 346p
978-4-334-75199-9

本体 ¥680+税



日本経済新聞 2017/02/19



嵐が丘<下>(光文社古典新訳文庫)

エミリー・ジェーン・ブロンテ 著
光文社

ヒースクリフはリントン家の娘イザベラを誘惑し結婚する。一方、キャサリンは錯乱の末、娘を出産して息絶える。キャサリンの兄ヒンドリーもヒースクリフに全財産を奪われてしまう。

2010:3./ 444p
978-4-334-75200-2

本体 ¥780+税



日本経済新聞 2017/02/19



いきと風流~日本人の生き方と生活の美学~

尼ヶ崎 彬 著
大修館書店

日本人が追求してきた「生き方と生活の美学」を古代から近世の日本文化に即して解き明かす、意欲的な日本論。

2017:1./ 6p,279p
978-4-469-22259-3

本体 ¥2,200+税



日本経済新聞 2017/02/19



天災と日本人~地震・洪水・噴火の民俗学~(ちくま新書 1237)

畑中 章宏 著
筑摩書房

地震、洪水、噴火……天災を生き抜く知恵は、風習や伝承として受け継がれてきた。各地の災害の記憶から、日本人と天災の関係を探る。

2017:2./ 251p
978-4-480-06945-0

本体 ¥820+税



日本経済新聞 2017/02/19



ネーミング全史~商品名が主役に躍り出た~

岩永 嘉弘 著
日本経済新聞出版社

「モノが売れない」といわれる時代に、売れ行きを決めるのは「ネーミング」。時代を超えて生き続ける「ネーミング」を歴史と共に振り返る。『広研レポート』日経産業新聞』連載に加筆、再構成。

2017:1./ 305p
978-4-532-32127-7

本体 ¥2,300+税



日本経済新聞 2017/02/19



在りし、在らまほしかりし三島由紀夫

高橋 睦郎 著
平凡社

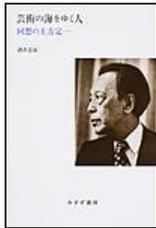
三島晩年に身近にいた者として、五感で感得した作家がどんな人だったか、またどう生きてほしかったか。50年書き続けた三島論。

2016:12./ 280p
978-4-582-83746-9

本体 ¥2,600+税



日本経済新聞 2017/02/19



芸術の海をゆく人～回想の土方定一～

酒井 忠康 著
みすず書房

戦後美術批評に新地平を拓いた土方定一とはどのような人物であったか。八方破れの土方の側近を務めたのち、衣鉢を継いで神奈川県立近代美術館館長となった批評家が、師の影を追慕し、日本美術の来し方行く末を綴る。

日本経済新聞 2017/02/19

2016:11./ 288p
978-4-622-08550-8
本体 ¥4,600+税



回想私の手塚治虫～『週刊漫画サンデー』初代編集長が明かす、大人向け手塚マンガの裏舞台～

峯島 正行 著
山川出版社

これまであまり論じられてこなかった手塚治虫の「大人漫画」の世界を、『漫画サンデー』初代編集長だった著者が存分に語り尽くす。

日本経済新聞 2017/02/19

2016:12./ 373p
978-4-634-15110-9
本体 ¥2,000+税



ブロンテ三姉妹の抽斗～物語を作ったものたち～

デボラ・ラッツ 著
柏書房

手のひらにおさまる豆本、道具のつまんだ裁縫箱、使い込まれた小さな机。ものたちの声に耳をすませば、ヴィクトリア朝時代の喧騒が聞こえてくる。ブロンテ姉妹ゆかりの「物」が姉妹の人生をどのように彩っていたのかを探る。

日本経済新聞 2017/02/19

2017:1./ 369p
978-4-7601-4771-7
本体 ¥2,600+税



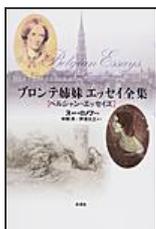
ときめきに死す

丸山 健二 著
求竜堂

かつての同級生が大金を積み私に頼んだのは、ある山荘で若きテロリストの世話をすることだった。使命に向かい黙々と鍛錬する謎の青年に、私の心は再び激しく脈打ちますが…。作家による再構成をした新生版。

日本経済新聞 2017/02/19

2006:12./ 197p
978-4-7630-0667-7
本体 ¥1,800+税



ブロンテ姉妹エッセイ全集～ベルジャン・エッセイズ～

シャーロット・ブロンテ、エミリー・ブロンテ、スー・ロノフ 編
シャーロット・ブロンテ、エミリー・ブロンテ、中岡 洋、芦澤 久江 著
彩流社

1842年、ベルギーのブリュッセルへ留学し、エジェ寄宿女学院で勉強した25歳のシャーロットと23歳のエミリー。“ブロンテ姉妹の空白”を埋める、フランス語で書かれた留学時代のエッセイを丹念に収集し翻訳。

日本経済新聞 2017/02/19

2016:5./
605p,16p,127p
978-4-7791-2233-0
本体 ¥8,000+税



ロケットボーイズ<上>

ホームー・ヒッカム・ジュニア 著
草思社

小さな炭坑町で、夜空に輝く人工衛星スプートニクを見上げ、落ちこぼれ高校生は考えたーそうだ、ぼくらはロケットをつくらう!仲間と共にロケット作りに打ち込んだ青春時代を綴る。映画「遠い空の向こうに」原作。

日本経済新聞 2017/02/19

2000:1./ 294p
978-4-7942-0937-5
本体 ¥1,800+税





ロケットボーイズ<下>

ホーマー・ヒッカム・ジュニア 著
草思社

ロケットクラブの仲間たちは、先生や町の人々の応援に後押しされて、やがて高性能のロケットをつくり出すことに成功する。アメリカの小さな町の高校生たちの青春をいきいきと描く。映画「遠い空の向こうに」原作。

日本経済新聞 2017/02/19

2000:2./ 321p
978-4-7942-0945-0
本体 ¥1,800+税



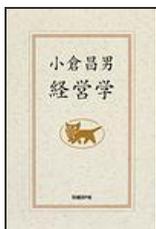
超監視社会～私たちのデータはどこまで見られているのか？～

ブルース・シュナイアー、池村 千秋 著
草思社

すべてがネットにつながる時代、私たちは超監視社会とも呼ぶべき社会を生きている。何気ないネット、スマホ利用から想像を超える情報監視が進む実態を赤裸々に描き、この社会の危うさに警鐘を鳴らす。

日本経済新聞 2017/02/19

2016:12./ 381p
978-4-7942-2237-4
本体 ¥2,000+税



小倉昌男経営学

小倉 昌男 著
日経BP社

1976年2月にスタートした宅急便で、日本の生活を変えたヤマト運輸元社長、小倉昌男。自ら筆を執り、その経営をケーススタディで書き下ろす。宅急便の開発で運輸省や郵政省と闘い、宅急便市場を創った男の論理を展開。

日本経済新聞 2017/02/19

1999:10./ 294p
978-4-8222-4156-8
本体 ¥1,400+税



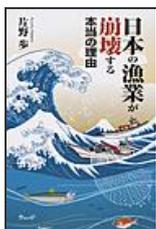
債務、さもなくば悪魔～ヘリコプターマネーは世界を救うか？～

アデア・ターナー 著
日経BP社

元英金融サービス機構長官である著者が、2008年の世界金融危機を招いた金融の肥大化を批判し、厳しい金融規制を提案。「国債を無利子の中央銀行債務に恒久的に置き換える」ヘリコプターマネー政策を提唱する。

日本経済新聞 2017/02/19

2016:12./ 470p
978-4-8222-5188-8
本体 ¥2,800+税



日本の漁業が崩壊する本当の理由

片野 歩 著
ウェッジ

世界の水揚げ量は右肩上がりに増加しているのに日本の水揚げ量は減少している。それはなぜか。魚を取り巻く現状をQ&A形式で説明するとともに、日本のとるべき政策を海外の成功例をもとに論じる。漁業関係者の座談会も収録。

日本経済新聞 2017/02/19

2016:12./ 205p
978-4-86310-172-2
本体 ¥1,300+税



アグネス・グレイ(ブロンテ姉妹集)

アン・ブロンテ 著
京都修学社

日本経済新聞 2017/02/19

2001:7./ 374p
978-4-88334-057-6
本体 ¥1,200+税





テレビじゃ言えない(小学館新書 292)

ビートたけし 著

小学館

政治、犯罪、ネット社会、教育、芸能スキャンダル…。偽善と矛盾だらけの現代ニッポンを、ビートたけしが毒全開でぶった切る。『週刊ポスト』連載「ビートたけしの21世紀毒談」から抜粋したエピソードを大幅加筆。

2017:2./ 189p

978-4-09-825292-3

本体 ¥740+税



日本経済新聞 2017/02/19、毎日新聞 2017/02/26



ハイジが生まれた日～テレビアニメの金字塔を築いた人々～

ちば かおり 著

岩波書店

世界を魅了する日本のアニメのさきがけとなった「アルプスの少女ハイジ」はどのように作り出されたのか。関係者の証言から、「信じるに値する世界」を観せる仕事に懸けた人々のドラマに迫る。『東京新聞』等連載を単行本化。

2017:1./ 11p,158p

978-4-00-024482-4

本体 ¥1,800+税



日本経済新聞 2017/02/26



座右の書『貞観政要』～中国古典に学ぶ「世界最高のリーダー論」～

出口 治明 著

KADOKAWA

北条政子、徳川家康、明治天皇ら歴史上の為政者たちが愛読したといわれるリーダー論の原点「貞観政要」。その中から、マネジメントの原理原則が語られている部分を厳選し、意識しながら解説する。

2017:1./ 271p

978-4-04-103278-7

本体 ¥1,500+税



日本経済新聞 2017/02/26



愉しきかな、俳句(角川俳句ライブラリー)

西村 和子 著

KADOKAWA

俳人・西村和子の快活洒脱の対談集。医師、学者、作家、歌舞伎役者、落語家、詩人など第一線で活躍する達人 15 人と、仕事や人生、俳句の魅力について縦横無尽に語りつくす。『俳句』不定期連載を改題し単行本化。

2017:1./ 371p

978-4-04-400240-4

本体 ¥1,900+税



日本経済新聞 2017/02/26



プーチンの世界～「皇帝」になったワーカー～

フィオナ・ヒル、クリフォード・G.ガディ 著

新潮社

プーチンはいかにしてロシアの中央政界に台頭し、政治と経済を立て直し、反プーチン・デモに対処したのか。「国家主義者」「歴史家」「サバイバリスト」「アウトサイダー」などの顔を持つ戦略家プーチンの実像を明らかにする。

2016:12./ 522p

978-4-10-507011-3

本体 ¥3,200+税



日本経済新聞 2017/02/26



ポピュリズムとは何か～民主主義の敵か、改革の希望か～(中公新書 2410)

水島 治郎 著

中央公論新社

イギリスの EU 離脱、反イスラム、反エリート、トランプ米大統領誕生…。世界を揺さぶる「熱狂」の正体とは?ポピュリズム(大衆迎合主義)が西欧から南北アメリカ、日本まで席卷する現状を分析し、その本質に迫る。

2016:12./ 4p,244p

978-4-12-102410-7

本体 ¥820+税



日本経済新聞 2017/02/26



古本道入門～買うたのしみ、売るよろこび～(中公文庫 お88-1)

岡崎 武志 著
中央公論新社

古本カフェ、女性店主の活躍、一箱古本市…。店主との交流から神保町案内、ブックオフ活用法や古本屋開業の鉄則まで、新しい潮流と古き良き世界を橋渡しする著者が、古本の味わい方を伝授する。2017年の情報を増補。

日本経済新聞 2017/02/26

2017:2./ 279p
978-4-12-206363-1
本体 ¥720+税



新・敬語論～なぜ「乱れる」のか～(NHK 出版新書 508)

井上 史雄 著
NHK出版

上下関係を表すための「敬語」が、配慮し合うためのことばに変わったのはなぜか。現代の社会構造と人間関係の変化から読み解く。進化し続ける日本語の懐の広さと柔軟さ、奥深さがわかる一冊。

日本経済新聞 2017/02/26

2017:1./ 237p
978-4-14-088508-6
本体 ¥780+税



ドラッグと分断社会アメリカ～神経科学者が語る「依存」の構造～

カール・ハート、寺町 朋子 著
早川書房

アメリカで薬物の過剰摂取による死亡者が増えつづけている。なぜ科学的な裏づけのない薬物政策がまかり通るのか。神経科学者が規制の歴史をたどり、薬物が人体にもたらす影響を実証し、従来の依存のイメージを問いなおす。

日本経済新聞 2017/02/26

2017:1./ 409p
978-4-15-209667-8
本体 ¥3,000+税



青年の主張～まなざしのメディア史～(河出ブックス 100)

佐藤 卓己 著
河出書房新社

あの国民的番組を覚えているか!?戦後日本社会の大衆的感性を鏡のように映し続けた弁論イベントを徹底総括する画期的メディア史。

日本経済新聞 2017/02/26

2017:1./ 435p
978-4-309-62500-3
本体 ¥1,800+税



マイクロ動機とマクロ行動

トーマス・シェリング、村井 章子 著
勁草書房

ノーベル経済学賞を受賞したシェリングの代表的著作。全体を構成する「個人」の行動特性とその「全体」の特性の関係性を分析し「マクロの結果は個人の考えているようにはならない」ことを解明する。ノーベル賞受賞講演も収録。

日本経済新聞 2017/02/26

2016:11./ 8p,305p,8p
978-4-326-55076-0
本体 ¥2,700+税



屈折くん

和嶋 慎治 著
シンコーミュージック

「メンヘラ」でも「こじらせ」でもない、僕を作ったのは“屈折”だった-。怪奇派ロックバンド「人間椅子」の中心人物・和嶋慎治による自伝。弘前が生んだ東北のトリクスターが、奇想天外な人生を明かす。

日本経済新聞 2017/02/26

2017:3./ 239p
978-4-401-64388-2
本体 ¥1,500+税





ビジネス現場で役立つ経済を見る眼

伊丹 敬之 著
東洋経済新報社

経済を見る眼を養うポイントは、人間の行動やその動機、多くの人間の間の相互作用を考えること。身近な経済現象を理解したい人に向けて、どんな視点から現実を眺め、どのように論理を組み立てたらいいか、その原点を解説する。

日本経済新聞 2017/02/26

2017:1./ 311p
978-4-492-31494-4
本体 ¥1,800+税



ダーク・マネー〜巧妙に洗脳される米国民〜

ジェイン・メイヤー、伏見 威蕃 著
東洋経済新報社

アメリカを影で操るコークー族とは。政治とカネにまつわる構造と新事実を、実力派ジャーナリストが丹念に掘り起こす話題の書!

日本経済新聞 2017/02/26

2017:1./ 12p,597p,67p
978-4-492-44441-2
本体 ¥3,600+税



大卒無業女性の憂鬱〜彼女たちの働かない・働けない理由〜

前田 正子 著
新泉社

これまで「家事手伝い」として見過ごされてきた無業女性の問題は、女性の貧困問題に直結している。「女性は働く必要がない」という意識が強い関西の大卒無業女性の実態を明らかにし、大卒無業女性への支援やケアを提言する。

日本経済新聞 2017/02/26

2017:2./ 239p
978-4-7877-1612-5
本体 ¥2,000+税



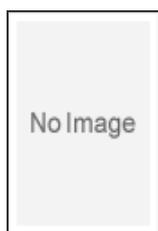
ウェブに夢見るバカ〜ネットで頭がいっぱいの人のための96章〜

ニコラス・G.カー 著
青土社

「ググればわかる」じゃ、ダメな理由とは? Facebook、Google などが描くバラ色の未来に異を唱え、ネット時代に失われつつある人間性を取り戻すために何ができるかを問う。挑発的 IT 文化論。

日本経済新聞 2017/02/26

2016:12./ 467p
978-4-7917-6967-4
本体 ¥2,400+税



アイデン&ティティ

みうらじゅん 著
青林堂

日本経済新聞 2017/02/26

1992:12./ 156p
978-4-7926-0228-4
本体 ¥1,165+税



小さな会社の稼ぐ技術〜竹田式ランチェスター経営「弱者の戦略」の徹底活用法〜

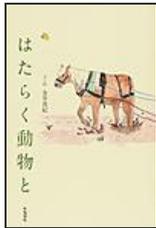
栢野 克己 著
日経BP社

頑張っているのに儲けが出ないのは、戦略が間違っているから。中小・零細企業、個人事業主が利益を出すための「正しい戦略」とその実践方法を余すところなく伝える。迷った時に思い出してほしい竹田陽一語録も収録。

日本経済新聞 2017/02/26

2016:12./ 286p
978-4-8222-5193-2
本体 ¥1,600+税





はたらく動物と

ころから

『世界はフムフムで満ちている』で鮮烈なデビューを飾った金井真紀が、長良川の鵜飼からパリの「エコ鶏」まで、はたらく動物と、ともに生きる人間を描き出す。

日本経済新聞 2017/02/26

2017:2./ 139p

978-4-907239-24-4

本体 ¥1,380+税



バスを待つ男

西村 健 著

実業之日本社

無趣味の元刑事がみつけた道楽は、バスの旅。バス停で何かを待つ男、神社の狐の前掛けの意味、殺人鬼が逃げた理由…。シルバーバスを利用して東京の各地を巡りながら、謎と事件を追う。

毎日新聞 2017/02/04

2017:1./ 290p

978-4-408-53699-6

本体 ¥1,500+税



果てしなき追跡

逢坂 剛 著

中央公論新社

新選組副長・土方歳三は、新政府軍の銃弾に斃れた、はずだった。一命を取り留めた土方は、米国船に乗せられ彼の地へ渡る。だが、意識を取り戻した彼は、記憶を無くして…。『読売プレミアム』連載を加筆、修正し単行本化。

毎日新聞 2017/02/04、毎日新聞 2017/02/12

2017:1./ 588p

978-4-12-004932-3

本体 ¥1,900+税



教育劣位社会～教育費をめぐる世論の社会学～

矢野 眞和、濱中 淳子、小川 和孝 著

岩波書店

教育熱心なのに少ない公的支出。なぜ日本は教育に税金をかけられないのか。画期的な社会調査をもとに日本人の教育費負担についての考え方を探り、税と社会保障の視点を含めた「世論」という新しい切り口からその答えに迫る。

毎日新聞 2017/02/05

2016:12./ 6p,201p,17p

978-4-00-061169-5

本体 ¥2,500+税



ひとりでも行けるオペラ極楽ツアー

石戸谷 結子、木之下 晃 著

朝日新聞出版

美しい写真満載の、世界の歌劇場&街ガイド。ヨーロッパを中心とした歌劇場を、オペラ作品や劇場にまつわる体験談とともに紹介。また、チケットの入手法、街の散策案内などお役立ち情報も充実。

毎日新聞 2017/02/05

2008:9./ 251p

978-4-02-250431-9

本体 ¥2,200+税



ホルケウ英雄伝～この国のいと小さき者～<上>

山浦 玄嗣 著

KADOKAWA

エミシが自治を行ってきたモーヌップ。坂東から移り住んできた豪族の圧政に憤りを覚えた青年マサリキンは、女奴隷となる運命のチキランケを奪い、馬で逃亡を試みる。窮地に立たされた2人は…。壮大な古代史ファンタジー。

毎日新聞 2017/02/05

2016:12./ 375p

978-4-04-104828-3

本体 ¥1,800+税





ホルケウ英雄伝～この国のいと小さき者～<下>

山浦 玄嗣 著

KADOKAWA

囚われのチキランケを鎮所まで追ってきたマサリキンだったが、自らも牢に入れられ、死罪が下される。チキランケが歌う「風の歌」は人々の心を打ち、いつしか鎮所の誰もが口ずさむ歌となり…。壮大な古代史ファンタジー。

毎日新聞 2017/02/05

2016:12./ 366p

978-4-04-105016-3

本体 ¥1,800+税



チア☆ダン～女子高生がチアダンスで全米制覇しちゃったホントの話～の真実～

円山 夢久 著

KADOKAWA

この子たちをアメリカに連れて行く! 福井商業高等学校チアリーダー部「JETS」。普通の女子高生である彼女たちをチアダンスで全米制覇へと導いた女性教師の闘いの日々を描くノンフィクション。

毎日新聞 2017/02/05

2017:1./ 314p

978-4-04-892382-8

本体 ¥1,400+税



橋ものがたり 改版(新潮文庫)

藤沢 周平 著

新潮社

様々な人間が日毎行き交う江戸の橋を舞台に演じられる、出会いと別れ。市井の男女の喜怒哀楽の表情を瑞々しい筆致に描いて、絶賛を浴びた傑作時代小説。

毎日新聞 2017/02/05

2003:10./ 389p

978-4-10-124705-2

本体 ¥630+税



黒書院の六兵衛<上>(文春文庫 あ39-16)

浅田 次郎 著

文藝春秋

不戦開城決した江戸城に、てこでも動かぬ旗本がひとり。旧幕臣の正体があきらかになるにつれ、城中の誰もが遠ざけ、おそれ、追い出せない…。幕末の武士の屈託まで描き出す、時代ミステリー。

毎日新聞 2017/02/05

2017:1./ 324p

978-4-16-790766-2

本体 ¥680+税



黒書院の六兵衛<下>(文春文庫 あ39-17)

浅田 次郎 著

文藝春秋

江戸城明け渡し後も、徳川の世が安泰であるかのように謎の旗本は勤仕をまっとうした。しかも出世までして。やがて明暗と噪寂の中、まさかの天下禪讓の儀が…。時代ミステリー。

毎日新聞 2017/02/05

2017:1./ 305p

978-4-16-790767-9

本体 ¥680+税



リヒャルト・シュトラウス ホーフマンスタール往復書簡全集

リヒャルト・シュトラウス、ホーフマンスタール、ヴェイリー・シュー 著

音楽之友社

ドイツ・オペラ史上類をみないものであるばかりか、20世紀オペラを語る上で重要な第一級の第一次資料である、偉大な音楽家と偉大な詩人の往復書簡集。

毎日新聞 2017/02/05

2000:1./ 618p,23p

978-4-276-13165-1

本体 ¥6,500+税





**図説英国社交界ガイド～エチケット・ブックに見る 19 世紀英国レディの生活～
(ふくろうの本)**

村上 リコ 著

河出書房新社

英国の社交界にとつぜん放り込まれたら?!敬称やテーブルでのマナー、ドレスコード、舞踏会でのルールなど、すべてをお教えます!

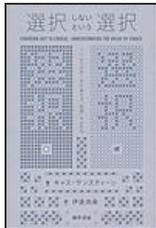
2017:1./ 127p
978-4-309-76249-4

本体 ¥1,800+税



* 9 7 8 4 3 0 9 7 6 2 4 9 4 *

毎日新聞 2017/02/05



選択しないという選択～ビッグデータで変わる「自由」のかたち～

キャス・サンスティーン 著

勁草書房

ネットに氾濫する「あなたへのおすすめ」の数々…。来たるべき世界は効率的なユートピアか?見えない強制に満ちたディストピアか?

2017:1./ 4p,237p,23p
978-4-326-55077-7

本体 ¥2,700+税



* 9 7 8 4 3 2 6 5 5 0 7 7 7 *

毎日新聞 2017/02/05



オペラの誕生(平凡社ライブラリー)

戸口 幸策 著

平凡社

日本人による初めての本格的なオペラ史。オペラの誕生、そしてモンテヴェルディからモーツァルトまで、ヨーロッパ各地の都市文化を土壌にして花咲いたオペラ芸術の歴史を辿る。

2006:4./ 431p,67p
978-4-582-76573-1

本体 ¥1,800+税



* 9 7 8 4 5 8 2 7 6 5 7 3 1 *

毎日新聞 2017/02/05



「軍事研究」の戦後史～科学者はどう向きあってきたか～

杉山 滋郎 著

ミネルヴァ書房

第二次大戦後、「軍事研究に手を染めない」と宣言し、その立場を貫いてきた日本の学界がいま揺らいでいる。戦後日本で起きた事件・論争をふりかえり、学界が軍事とどう向きあうべきか考える。

2017:1./ 12p,298p,8p
978-4-623-07862-2

本体 ¥3,000+税



* 9 7 8 4 6 2 3 0 7 8 6 2 2 *

毎日新聞 2017/02/05



相模原障害者殺傷事件～優生思想とヘイトクライム～

立岩 真也、杉田 俊介 著

青土社

障害者殺しとそれへの抵抗の歴史を召喚し、いちはやく事件のフレームを示してみせた社会学の第一人者と、若者たちの鬱屈の深層を見つめながら、等身大の言葉で語りかける在野の批評家。2人の論考と討議を収録する。

2016:12./ 258p
978-4-7917-6965-0

本体 ¥1,800+税



* 9 7 8 4 7 9 1 7 6 9 6 5 0 *

毎日新聞 2017/02/05



無葬社会～彷徨う遺体変わる仏教～

鵜飼 秀徳 著

日経BP社

毎日、都会のどこかで、誰にも看取られず、続々と人が死んでゆく。変わりゆく葬儀と供養のかたち、変わらぬ仏教界、もがく僧侶-。僧侶でジャーナリストの著者が多死時代の到来と葬送の変化に迫る。死亡数の推移等の資料付き。

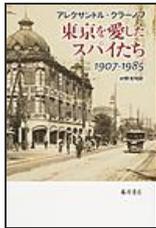
2016:10./ 309p
978-4-8222-3856-8

本体 ¥1,700+税



* 9 7 8 4 8 2 2 2 3 8 5 6 8 *

毎日新聞 2017/02/05



東京を愛したスパイたち～1907-1985～

アレクサンドル・クラーフ、村野 克明 著

藤原書店

格闘技「サンボ」の創始者オシェプコフ、ソ連の探偵小説の先駆者ロマン・キム…。本人・関係者の文章と公的資料を駆使し、ロシア・スパイたちの数奇な運命を描き、東京に残されたその痕跡を辿り直した異色のドキュメント。

毎日新聞 2017/02/05

2016:12./ 4p,421p

978-4-86578-103-8

本体 ¥3,600+税



* 9 7 8 4 8 6 5 7 8 1 0 3 8 *



水俣・女島の海に生きる～わが闘病と認定の半生～

緒方 正実、牧野 喜好 編

緒方 正実 著

世織書房

病苦と向き合いながら自らの水俣病を問いつけた著者の、魂の語り。水俣病の患者認定を求めて行政や社会と闘った 10 年を振り返ると同時に、認定を受けるまでの半生の胸の内を明かす。

毎日新聞 2017/02/05

2016:11./ 9p,331p

978-4-902163-91-9

本体 ¥2,700+税



* 9 7 8 4 9 0 2 1 6 3 9 1 9 *



星空

ジミー・リャオ 著

トゥーヴァージンズ

あのころ、未来は遠くて、形さえなかった。わたしはいつもひとりで、長い道を歩いてきた。「この世界のどこかに、わたしのことを見つけてくれる人がいるの?」やつと、あなたが現れて、そして…。パノラマページあり。

毎日新聞 2017/02/05

2017:2./ 1 冊(ページ付なし)

978-4-908406-05-8

本体 ¥2,000+税



* 9 7 8 4 9 0 8 4 0 6 0 5 8 *



幕末明治新聞ことはじめ～ジャーナリズムをつくった人びと～(朝日選書 952)

奥 武則 著

朝日新聞出版

幕末の激動の中から明治日本が生まれる過程で、長崎、横浜、東京などで次々に新聞が生まれた。草創期の新聞の苦闘とそこで見られたジャーナリズム精神の萌芽を、9 人の新聞人の生涯を通じて描く。

毎日新聞 2017/02/05、読売新聞 2017/02/12

2016:12./ 278p

978-4-02-263052-0

本体 ¥1,500+税



* 9 7 8 4 0 2 2 6 3 0 5 2 0 *



不時着する流星たち

小川 洋子 著

KADOKAWA

ヘンリー・ダーガー、グレン・グールド、エリザベス・テイラー…。世界のはしっこでそっと異彩を放つ人々をモチーフに、その記憶、手触り、痕跡を結晶化した珠玉の 10 篇を掲載。『本の旅人』連載を単行本化。

毎日新聞 2017/02/05、毎日新聞 2017/02/12、日本経済新聞 2017/02/26

2017:1./ 251p

978-4-04-105065-1

本体 ¥1,500+税



* 9 7 8 4 0 4 1 0 5 0 6 5 1 *



マルコ・ポーロ東方見聞録 普及版

マルコ・ポーロ 著

岩波書店

マルコ・ポーロの知識と体験を書き記した「東方見聞録」。140 点を超える現存写本のなかでも、成立当初の形に近いと目される中世フランス語写本 fr.2810 から直接翻訳し、52 点のミニアチュールも掲載。

毎日新聞 2017/02/12

2012:5./ 21p,291p

978-4-00-024815-0

本体 ¥2,400+税



* 9 7 8 4 0 0 0 2 4 8 1 5 0 *

**イタリア紀行<上> 改版(岩波文庫 赤 405-9)**ヨハン・ヴォルフガング・フォン・ゲーテ 著
岩波書店

詩聖ゲーテが『詩と真実』の続編として意図したこの旅行記において、彼はあくまで率直、自然に、真に自分の眼で見、胸で感じたことを淡々として物語り、口ずから旅の物語を聞く感じを読者に与える。1816-29年。

1960:4./ 339p
978-4-00-324059-5
本体 ¥920+税

毎日新聞 2017/02/12

**イタリア紀行<中> 改版(岩波文庫 赤 406-0)**ヨハン・ヴォルフガング・フォン・ゲーテ 著
岩波書店

詩聖ゲーテが『詩と真実』の続編として意図したこの旅行記において、彼はあくまで率直、自然に、真に自分の眼で見、胸で感じたことを淡々として物語り、口ずから旅の物語を聞く感じを読者に与える。1816-29年。

1960:4./ 314p
978-4-00-324060-1
本体 ¥780+税

毎日新聞 2017/02/12

**イタリア紀行<下> 改版(岩波文庫 赤 406-1)**ヨハン・ヴォルフガング・フォン・ゲーテ 著
岩波書店

詩聖ゲーテが『詩と真実』の続編として意図したこの旅行記において、彼はあくまで率直、自然に、真に自分の眼で見、胸で感じたことを淡々として物語り、口ずから旅の物語を聞く感じを読者に与える。1816-29年。

1960:5./ 413p
978-4-00-324061-8
本体 ¥940+税

毎日新聞 2017/02/12

**釈道空ノート(岩波現代文庫 文芸 106)**富岡 多恵子 著
岩波書店

戒名を筆名とした詩人・折口信夫(歌人・釋道空)が秘していたもの、自ら葬り去ったこととは何か。日本の近代と格闘した巨人の軌跡を、その歌と小説にしかと向き合い、史料の発掘と確かな精読で描き出した渾身の評伝。

2006:7./ 375p
978-4-00-602106-1
本体 ¥1,160+税

毎日新聞 2017/02/12

**折口信夫**安藤 礼二 著
講談社

民俗学と国文学が交わる地点に独自の古代学の体系を打ち立てた折口信夫とは、いったい何者であったのか? 生涯の「謎」を解き明かし、思想の全体像に迫る、決定的折口論。

2014:11./ 533p
978-4-06-219204-0
本体 ¥3,700+税

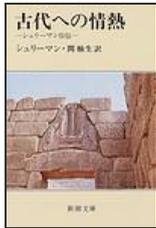
毎日新聞 2017/02/12

**トリエステの坂道(新潮文庫)**須賀 敦子 著
新潮社

書物を愛し、語り合う楽しみを持つ世の人々に惜しまれて逝った著者が、知の光と歴史の影を愛惜に満ちた文体で綴った作品集。未完長編の魁となったエッセイ(単行本未収録)を併録する。

1998:9./ 272p
978-4-10-139221-9
本体 ¥490+税

毎日新聞 2017/02/12



古代への情熱～シュリーマン自伝～ 改版(新潮文庫)

シュリーマン 著
新潮社

少年時代にいだいた夢と信念を実現するために、シュリーマンは、まず財産作りに専念し、ついで驚異的な語学力によって十数カ国語を身につける。そして、当時は空想上の産物とされていたホメーロスの事跡を次々と発掘してゆく。

2004:9./ 181p
978-4-10-207901-0
本体 ¥460+税



毎日新聞 2017/02/12



金閣寺

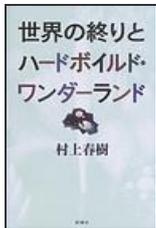
三島由紀夫 著
新潮社

1950年7月1日、「国宝・金閣寺焼失。放火犯人は寺の青年僧」という衝撃のニュースが世人の耳目を驚かせた。31歳の鬼才三島が全青春の決算として告白体の名文に綴った不朽の金字塔。

1990:9./ 241p
978-4-10-321017-7
本体 ¥1,553+税



毎日新聞 2017/02/12



世界の終りとハードボイルド・ワンダーランド

村上 春樹 著
新潮社

静寂な幻想世界と波乱万丈の冒険劇、2つの物語が織り成す、パラレル・ドラマ。村上春樹、80年代の記念碑的傑作長編。85年刊の新装版である99年刊の改裝版。

2005:9./ 618p
978-4-10-353417-4
本体 ¥2,400+税



毎日新聞 2017/02/12



アリゾナ無宿(中公文庫 お87-1)

逢坂 剛 著
中央公論新社

1875年、アリゾナ。人の命が銃弾一発より軽い世界。養父に虐待されてきた少女、射撃の名手、ハコダテから流れ着いたサムライ。偶然出会った3人が賞金稼ぎのチームを組み、凶悪な“お尋ね者”を追う旅に出るはめに…。

2016:12./ 395p
978-4-12-206329-7
本体 ¥740+税



毎日新聞 2017/02/12



逆襲の地平線(中公文庫 お87-2)

逢坂 剛 著
中央公論新社

コマンチ族にさらわれた娘を奪還せよ!1876年、アリゾナ。17歳の少女、記憶喪失のサムライとチームを組んだ凄腕の賞金稼ぎの元に「仕事」が舞い込んだ。広大なアメリカを縦断する決死の追跡が始まり…。

2016:12./ 451p
978-4-12-206330-3
本体 ¥780+税



毎日新聞 2017/02/12



フンボルトの冒険～自然という<生命の網>の発明～

アンドレア・ウルフ、鍛原 多恵子 著
NHK出版

18世紀後半、プロイセン王国で生まれ、博物学者および探検家として活躍したフンボルトの伝記。彼が発見した自然そのものの概念を改めて紹介し、その今日的な意味を伝えるとともに、フンボルトに共鳴した人々の足跡も追う。

2017:1./ 493p,6p
978-4-14-081712-4
本体 ¥2,900+税



毎日新聞 2017/02/12



アーサー・ミラー<1> セールスマンの死(ハヤカワ演劇文庫)

アーサー・ミラー 著
早川書房
毎日新聞 2017/02/12

2006:9./ 245p
978-4-15-140001-8
本体 ¥800+税



アーサー・ミラー<2> るつぼ(ハヤカワ演劇文庫)

アーサー・ミラー 著
早川書房
毎日新聞 2017/02/12

2008:5./ 285p
978-4-15-140015-5
本体 ¥1,000+税



存在感のある人~アーサー・ミラー短篇小説集~

アーサー・ミラー、上岡 伸雄 著
早川書房

世界的に名高いピュリッツァー賞作家、アーサー・ミラーの短篇小説集。海岸で奇妙なカップルを目撃した男の脳裏に、若かりし日々が蘇る表題作をはじめ、「ビーバー」「裸の原稿」など晩年に発表した6篇を収録。

2017:1./ 255p
978-4-15-209665-4
本体 ¥3,000+税



毎日新聞 2017/02/12



折口信夫独身漂流

持田 叙子 著
人文書院

常に充たされず他者を求めてやまない深い衝動をかかえ、負のエネルギーをバネに独特の世界を築いた「折口学」。その人間論的意義を、男性研究者によって整理・分類されてきたインデクスを解体することで問い直そうとする試み。

1999:2./ 244p
978-4-409-54057-2
本体 ¥2,300+税



毎日新聞 2017/02/12



コン・ティキ号探検記(ちくま文庫)

T.ヘイエルダール 著
筑摩書房

古代の<<筏:いかだ>>で太平洋を漂流する一人類学上の仮説を自ら立証した冒険の記録。奇抜な着想と貴重な体験で大評判になった古典的名著。

1996:8./ 358p
978-4-480-03169-3
本体 ¥922+税



毎日新聞 2017/02/12



古寺巡礼 初版(ちくま学芸文庫 W 15-1)

和辻 哲郎 著
筑摩書房

法華寺十一面観音や、薬師寺吉祥天女、法隆寺金堂壁画など、仏教美術の至宝を紹介し、読者を魅了し続ける「古寺巡礼」。生な感動と純粋な情熱があふれるオリジナルの初版を復刻。現行版との異同を詳しく検証した解説も収録。

2012:4./ 316p
978-4-480-09454-4
本体 ¥1,200+税



毎日新聞 2017/02/12



村上春樹と私～日本の文学と文化に心を奪われた理由～

ジェイ・ルービン 著
東洋経済新報社

「IQ84」「ノルウェイの森」をはじめ、夏目漱石「三四郎」や芥川龍之介「羅生門」など数多くの日本文学を翻訳し、その魅力を紹介した世界的翻訳家が、村上春樹のこと、日本の文学と文化に心を奪われた理由を綴る。

2016:11./ 228p
978-4-492-06202-9
本体 ¥1,500+税



毎日新聞 2017/02/12



新訳日本奥地紀行(東洋文庫 840)

イザベラ・バード 著
平凡社

イザベラ・バードの原著簡略本の新訳。明治日本を旅した英国人女性のこまやかで鋭い観察力と描写が、当時の日本の習俗、気風、風景を伝える、旅と冒険の本。

2013:10./ 537p
978-4-582-80840-7
本体 ¥3,200+税



毎日新聞 2017/02/12



日本のインテリジェンス工作～陸軍中野学校、731部隊、小野寺信～

山本 武利 著
新曜社

陸軍中野学校出身者はそこで何を学び、戦地でどのような役割を果たしたのか。満洲国、731部隊、南京虐殺から太平洋戦争までを、諜報・宣伝の観点から見直し、近代戦におけるインテリジェンスのもつ意味を明らかにする。

2016:11./ 286p
978-4-7885-1499-7
本体 ¥2,800+税



毎日新聞 2017/02/12



ショコラ～歴史から消し去られたある黒人芸人の数奇な生涯～

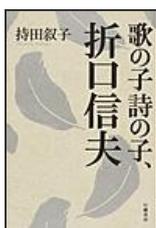
ジェラルール・ノワリエル、舘 葉月 著
集英社インターナショナル

20世紀初頭の華やかかなりしパリで人気随一の芸人となった元奴隷の黒人がいた。だが、芸は認められたが「人間」とは認められず、歴史から消え去った…。日本で1月公開決定の仏映画『ショコラ』の原作!

2017:1./ 571p
978-4-7976-7337-1
本体 ¥3,200+税



毎日新聞 2017/02/12



歌の子詩の子、折口信夫

持田 叙子 著
幻戯書房

日本近代文学運動とその相関図の中に折口を位置づけ、文学者としての折口が切り開いた、古代と近代を結ぶ試みを読み解く。

2016:9./ 259p
978-4-86488-107-4
本体 ¥2,800+税



毎日新聞 2017/02/12



みすず書房旧社屋(SERIE BIBLIOTHECA 1/3)

潮田 登久子 著
幻戯書房

96年までの48年間、みすず書房の本が生まれた本郷三丁目の旧社屋を写真と関係者の文章で残す。人文書出版のひとつの現場。

2016:10./ 196p
978-4-86488-109-8
本体 ¥3,300+税



毎日新聞 2017/02/12



武器としての現代思想～マルクス・ニーチェからネグリ＝ハートまで、“理論武装”が君の力となる～

伊吹 浩一 著
サイゾー

現代を生きていくための力をもたらす「武器」となる現代思想。その源流であるマルクス、ニーチェ、フロイトの思想を紹介し、源流から流れ出た現代思想としてラカン、アルチュセール、フーコーを取り上げて、その核心部を探る。

2016:12./ 255p
978-4-86625-080-9
本体 ¥1,400+税



毎日新聞 2017/02/12



ヘンリー・ダーガー～非現実の王国で～

ヘンリー・ダーガー、ジョン・M.マグレガー 著
作品社

身寄りのない老人が遺した「非現実の王国で」と題された奇妙な絵物語。93年「パラレル・ヴィジョン」展で世界に衝撃を与えたダーガーの、天真爛漫と残酷邪悪が並置する物語の抄録と挿絵、マグレガーによる作品分析を収録。

2000:5./ 141p
978-4-87893-342-4
本体 ¥6,500+税



毎日新聞 2017/02/12



ファウスト

ゲーテ、バルバラ・キンダーマン、クラウス・エンジカート、酒寄 進一 著
西村書店

ドイツの文豪ゲーテによる壮大な戯曲「ファウスト」。ファウスト博士、悪魔メフィスト、美しい娘グレートヒェンをめぐる一連の騒動をえがいた第一部を、分かりやすい散文で再話。アートな絵本シリーズ第10弾。

2016:11./ 34p
978-4-89013-975-0
本体 ¥1,800+税



毎日新聞 2017/02/12



詩国八十八カ所巡り(燈台ライブラリ 3)

嶋岡 晨 編
草場書房

峠三吉「仮縋帯所にて」、谷川俊太郎「電車での素朴な演説」、三木卓「系図」…。四国八十八カ所巡礼になぞらえ、<戦後詩>とその前後において注目される重要な詩88篇を選出。100年の心の歴史をたどるアンソロジー。

2017:1./ 190p
978-4-902616-85-9
本体 ¥1,300+税



毎日新聞 2017/02/12



オトナのたしなみ

柴門 ふみ 著
キノブックス

女友達との付き合い方、理想の夫、怒りを逃がす方法…。イタイ経験によって学んだ、柴門ふみのオトナ流儀!本物の「オトナ」になりたい後輩女子に贈るエッセイ。キノブックス WEB マガジン『キノノキ』連載を加筆修正。

2017:1./ 238p
978-4-908059-60-5
本体 ¥1,400+税



毎日新聞 2017/02/12



夢のなかの夢(岩波文庫 32-706-1)

タブッキ 著
岩波書店

オウイディウス、ラブレール、カラヴァッジョ、ゴヤ、ランボー、スティーヴンソン、ペソアなど、過去の巨匠が見たかもしれない夢を、現代作家タブッキが夢想し描く20の短編。

2013:9./ 162p
978-4-00-327061-5
本体 ¥540+税



毎日新聞 2017/02/19



欧米人とはこんなに違った日本人の「体質」〜科学的事実が教える正しいがん・生活習慣病予防〜(ブルーバックス B-1997)

奥田 昌子 著

講談社

炭水化物を控える。オリーブオイルを摂る。赤ワインを飲む…。欧米人と同じ健康法を取り入れても意味がなく、むしろ逆効果ということも! 「体の人種差」の視点から、日本人が病気にならないための方法を徹底解説する。

2016:12./ 238p
978-4-06-257997-1

本体 ¥900+税



毎日新聞 2017/02/19



在日マネー戦争(講談社+a 文庫 G262-2)

朴 一 著

講談社

闇の帝王・李熙健、パチンコ王・韓昌祐、タクシー界の革命児・青木定雄-「民族の悲願」に賭けた男たちの金融暗闘史。在日コリアンの金融機関という夢を実現しようとした3人の実業家に光を当て、その葛藤の歴史の断面を描く。

2017:1./ 235p

978-4-06-281707-3

本体 ¥630+税



毎日新聞 2017/02/19



ギリシア人の物語<2> 民主政の成熟と崩壊

塩野 七生 著

新潮社

大国ペルシアを打破した民主政アテネ。ペリクレスの手腕によりエーゲ海の盟主として君臨し、その栄光は絶頂をむかえた。だが、デマゴグが煽動するポピュリズムが台頭すると、アテネはスパルタとの泥沼の戦争へと突き進み…。

2017:1./ 413p

978-4-10-309640-5

本体 ¥3,000+税



毎日新聞 2017/02/19



川を歩いて、森へ

天野 礼子 著

中央公論新社

日本の川のかげがえなさに気づいた若き日々、開高健のもとでの修業時代、国を相手に体を張った反ダム運動、そして、養老孟司らの協力を得ながら進めている地域再生…。現代日本が抱える問題に水辺から光をあてる。

2017:2./ 189p

978-4-12-004942-2

本体 ¥1,500+税



毎日新聞 2017/02/19



神の棘<1>(ハヤカワ・ミステリワールド)

須賀 しのぶ 著

早川書房

かつての幼馴染、アルベルトとマティアスは、エリート将校と修道士として道を分かれた。ナチス支配下のドイツを背景に、戦争と信仰に引き裂かれる2人の男の友情と裏切り、その魂の相克を描く歴史ロマン大作。

2010:7./ 358p

978-4-15-209054-6

本体 ¥1,700+税



毎日新聞 2017/02/19



神の棘<2>(ハヤカワ・ミステリワールド)

須賀 しのぶ 著

早川書房

1940年代、次第に狂気を暴走させるナチスドイツ。地獄の底で再会したアルベルトとマティアスは、思わぬ共通の目的の下、ローマを目指す。その先に待つのは、絶望か、希望か。歴史ロマン巨編完結。

2010:8./ 410p

978-4-15-209151-2

本体 ¥1,700+税



毎日新聞 2017/02/19



革命前夜

須賀 しのぶ 著
文藝春秋

日本人留学生が見た、東ドイツの音楽と革命 ドレスデンの音大に留学した眞山はベルリンの壁崩壊に至る東ドイツの革命に立ち会う。音楽の力を感じさせる歴史エンターテインメント。

2015:3./ 402p
978-4-16-390231-9
本体 ¥1,850+税



毎日新聞 2017/02/19



死をポケットに入れて(河出文庫)

チャールズ・ブコウスキー 著
河出書房新社
毎日新聞 2017/02/19

2002:1./ 234p
978-4-309-46218-9
本体 ¥680+税



珍奇な昆虫～オールカラー版～(光文社新書 867)

山口 進 著
光文社

「ジャポニカ学習帳」の表紙写真を40年以上撮り続けてきたカメラマンが、世界中で出会った昆虫のお宝写真を一挙披露。一生を巣の中で過ごすチョウ、潜水して獲物を狩るアリなど、奇妙で面白い昆虫たちをオールカラーで紹介。

2017:2./ 290p
978-4-334-03970-7
本体 ¥1,000+税



毎日新聞 2017/02/19



また、桜の国で

須賀 しのぶ 著
祥伝社

ワルシャワの在ポーランド日本大使館に着任した外務書記生の慎。ロシア人の父を持つ彼は戦争回避に向け奔走し、アメリカ人記者レイと知り合う。だが遂にドイツがポーランドに侵攻し…。『小説 NON』連載を加筆訂正。

2016:10./ 497p
978-4-396-63508-4
本体 ¥1,850+税



毎日新聞 2017/02/19



レクイエム～ある幻覚～(白水 U ブックス)

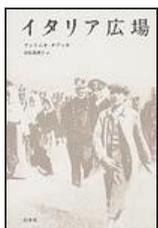
アントニオ・タブッキ 著
白水社

7月には灼熱の昼下がりが、幻覚にも似た静寂な光のなか、ひとりの男がリスボンの街をさまよひ、死んでしまった友人、恋人、そして若き日の父親と出会う。生者と死者、交錯する現実と幻の世界。96年刊の再刊。

1999:7./ 182p
978-4-560-07130-4
本体 ¥1,050+税



毎日新聞 2017/02/19



イタリア広場

アントニオ・タブッキ 著
白水社

30歳で死ぬことが宿命づけられている一家の主の三代にわたる物語。激動のイタリア現代史をある家族の叙事詩として描く。

2009:9./ 228p
978-4-560-08022-1
本体 ¥2,200+税



毎日新聞 2017/02/19



“不機嫌な”太陽～気候変動のもうひとつのシナリオ～

H.スベンスマルク、N.コールダー 著
恒星社厚生閣

太陽活動にみられる長期変動が、宇宙線の挙動に影響し、その結果地球気候の変動をひき起こしている?。研究を通じて得た事実に基づき、太陽と宇宙線が地球気候の形成にどのような役割を果たしているかを解明する。

2010:3./ 235p
978-4-7699-1213-2
本体 ¥2,800+税



毎日新聞 2017/02/19



埋もれた都の防災学～都市と地盤災害の2000年～(学術選書 076)

釜井 俊孝 著
京都大学学術出版会

私達の町の下には何があるのだろうか。土地の記憶を紐解き、人と自然の関係史と現代に通じる災害リスクを探る、防災考古学への招待。

2016:9./ 9p,209p
978-4-8140-0042-5
本体 ¥1,800+税



毎日新聞 2017/02/19



バッハ・古楽・チェロ～アンナー・ビルスマは語る～(Books ウト)

加藤 拓未 編
アンナー・ビルスマ、渡邊 順生 著
アルテスパブリッシング

草創期の古楽運動を牽引したバロック・チェロの巨匠と日本を代表するチェンバロ奏者による対話。レオンハルト、ブリュッヘンらとの交友、愛器、バッハほかの音楽論・演奏論を語り尽くす。未発表ライブ CD 付き。

2016:10./ 267p
978-4-86559-148-4
本体 ¥3,800+税



毎日新聞 2017/02/19



ゴジラ幻論～日本産怪獣類の一般と個別の博物誌～

倉谷 滋 著
工作舎

2016年、東京に上陸し、活動を停止した巨大不明生物「ゴジラ」。従来の生物学の知見では単純に説明することのできない生態、機能、起源と発生プロセス等における多くの謎に、進化発生学者が挑む。

2017:2./ 293p
978-4-87502-482-8
本体 ¥2,000+税



毎日新聞 2017/02/19



押忍とは何か?

大森 敏範 著
三五館

いかにして「押忍」は“OSU(OSS)”となり、世界共通語となったのか?いまや空手界のみならず、世界 200 の国や地域で用いられる「押忍」の源流を探り、伝播の道のりをたどる。『月刊空手道』連載をもとに単行本化。

2016:12./ 197p
978-4-88320-690-2
本体 ¥1,200+税



毎日新聞 2017/02/19



果しなき流れの果に(ハルキ文庫)

小松 左京 著
角川春樹事務所

N 大学理論物理研究所助手の野々村は、ある日、研究所の大泉教授とその友人・番匠谷教授から一つの砂時計を見せられる。それは永遠に砂の落ち続ける砂時計だった!「宇宙」とは、「時の流れ」とは何かを問う SF の傑作。

1997:12./ 437p
978-4-89456-369-8
本体 ¥800+税



毎日新聞 2017/02/19



タブッキをめぐる九つの断章(境界の文学)

和田 忠彦 著

共和国/editorial republica

現代イタリア文学に圧倒的な足跡を刻んだアントニオ・タブッキ。その友であり翻訳者でもある著者が描き出す、タブッキに寄り添って歩んだ<旅>メモランダム。ダブッキの短篇「元気で」、1997年のふたりの対談も収録する。

2016:12./ 213p

978-4-907986-22-3

本体 ¥2,400+税



毎日新聞 2017/02/19



アメリカ映画とキリスト教～120年の関係史～

木谷 佳楠 著

キリスト新聞社

アメリカで製作される映画における、信教の自由、言論の自由は本当に有効なのか。アメリカ映画において、アメリカ独自の宗教的価値観がいかに影響力を及ぼし、映画表現のあり方をコントロールしてきたのかを明らかにする。

2016:12./ 209p

978-4-87395-710-4

本体 ¥1,600+税



毎日新聞 2017/02/19、日本経済新聞 2017/02/26



俳句初学作法～作句の疑問にすべて応えるまぼろしの手引き書～ 改訂版

後藤 比奈夫 著

ふらんす堂

「初学作法」と銘打った通り、これは少々古めかしく行儀のよい俳句作りのバイブル。習う人にとっても教える人にとっても無二の友となって貰えると信じている。

2016:11./ 261p

978-4-7814-0916-0

本体 ¥2,200+税



毎日新聞 2017/02/20



昭和天皇の戦争～「昭和天皇実録」に残されたこと・消されたこと～

山田 朗 著

岩波書店

日本を破滅の淵からすくった平和主義者。多くの人々が抱く昭和天皇のイメージは真実か。昭和天皇研究の第一人者が、「昭和天皇実録」を読み解き、「大元帥」としてアジア太平洋戦争を指導・推進した天皇の実像を明らかにする。

2017:1./ 19p,303p

978-4-00-061177-0

本体 ¥2,400+税



毎日新聞 2017/02/26



坑夫 改版(岩波文庫 31-011-19)

夏目 漱石 著

岩波書店

19歳の家出青年が巡る、「地獄」の鉱山と自らの心の深み。「虞美人草」と「三四郎」の間に著された、漱石文学の真の問題作。最新の校訂に基づく本文に、新聞連載時の挿絵を収録する。

2014:2./ 332p

978-4-00-360019-1

本体 ¥660+税



毎日新聞 2017/02/26



俳句世がたり(岩波新書 新赤版 1634)

小沢 信男 著

岩波書店

浮き世の様々な出来事を、武玉川から子規、漱石や荷風、現在活躍中の俳人まで、古今の俳句を通じて描く。しなやかに世を斬る練達の筆に、近年の世相が鮮やかに浮かび、俳句の魅力が再発見できる。『みすず』連載を書籍化。

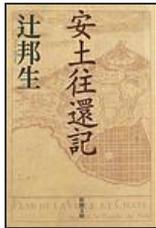
2016:12./ 4p,205p,4p

978-4-00-431634-3

本体 ¥820+税



毎日新聞 2017/02/26



安土往還記 改版(新潮文庫)

辻 邦生 著
新潮社

争乱渦巻く戦国時代、宣教師を送りとどけるために渡来した外国の船員を語り手とし、争乱のさ中であって、純粹にこの世の道理を求め、自己に課した掟に一貫して忠実であろうとする“尾張の大殿(シニョーレ)”織田信長の心と行動を描く。

2005:11./ 257p
978-4-10-106801-5
本体 ¥490+税



毎日新聞 2017/02/26



欧州複合危機～苦悶する EU、揺れる世界～(中公新書 2405)

遠藤 乾 著
中央公論新社

ユーロ危機、難民流入、テロ事件、イギリスの離脱と試練が続く EU。なぜこのような危機に陥ったのか、EU は本当に崩壊するのか、その引き金は何か。日本や世界への影響も含め、欧州が直面する複合的な危機の本質を解明する。

2016:10./ 7p,294p
978-4-12-102405-3
本体 ¥860+税



毎日新聞 2017/02/26



言葉の箱～小説を書くということ～(中公文庫)

辻 邦生 著
中央公論新社

毎日新聞 2017/02/26

2004:8./ 200p
978-4-12-204408-1
本体 ¥648+税



安達峰一郎～日本の外交官から世界の裁判官へ～

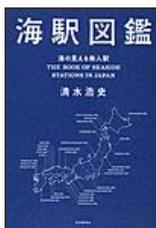
篠原 初枝 編
東京大学出版会

20 世紀の戦間期に、外交官、常設国際司法裁判所所長・判事、さらに国際法学者として、「仁により正を持し、もって萬邦の平和を期」した安達峰一郎。時代状況にも触れながら、安達の生涯やその業績を振り返る。

2017:2./ 10p,263p,16p
978-4-13-036259-7
本体 ¥4,500+税



毎日新聞 2017/02/26



海駅図鑑～海の見える無人駅～

清水 浩史 著
河出書房新社

「海駅」は終着駅であり、新たな旅の始発駅一駅の佇まい、歴史や土地の事。丹念な取材でお贈りする本邦初の「海駅」ガイド!

2017:2./ 277p
978-4-309-27812-4
本体 ¥1,600+税



毎日新聞 2017/02/26



「月給 100 円サラリーマン」の時代～戦前日本の<普通>の生活～(ちくま文庫い 91-1)

岩瀬 彰 著
筑摩書房

物価・学歴・女性の立場―。豊富な資料と具体的なイメージを通して戦前日本の「普通の人」の生活感覚を明らかにする。

2017:2./ 297p
978-4-480-43426-5
本体 ¥800+税



毎日新聞 2017/02/26



鬼殺し<上>(エクス・リブリス)

甘 耀明 著
白水社

日本統治時代から戦後に至る激動の台湾・客家の村で、日本軍に入隊した怪力の少年が祖父と生き抜く。魂を震わす巨篇。東山彰良氏推薦!

毎日新聞 2017/02/26

2017:1./ 381p
978-4-560-09048-0

本体 ¥2,800+税



* 9 7 8 4 5 6 0 0 9 0 4 8 0 *



鬼殺し<下>(エクス・リブリス)

甘 耀明 著
白水社

日本統治時代から戦後に至る激動の台湾・客家の村で、日本軍に入隊した怪力の少年が祖父と生き抜く。魂を震わす巨篇。東山彰良氏推薦!

毎日新聞 2017/02/26

2017:1./ 356p
978-4-560-09049-7

本体 ¥2,800+税



* 9 7 8 4 5 6 0 0 9 0 4 9 7 *



アジア遊学<204> 交錯する台湾認識

陳 來幸、北波 道子、岡野 翔太 編
勉誠出版

複雑な歴史と民主化・本土化に起因するナショナルアイデンティティのゆらぎ、そして IT 大国として、新しい民主主義国家としての変化など、台湾の過去と現在、そしてこれからの可能性を提示する。

毎日新聞 2017/02/26

2016:12./ 265p
978-4-585-22670-3

本体 ¥2,800+税



* 9 7 8 4 5 8 5 2 2 6 7 0 3 *



オックスフォードキリスト教辞典

E.A.リヴィングストン 編
木寺 廉太 著

教文館

時代の変化やキリスト教界の動向に合わせて、最新の情報が充実。巻末には、キリスト教小英和辞典としても使える「欧文・和文項目対照表」、「歴代教皇・対立教皇一覧」、「歴代カンタベリー大主教(大司教)一覧」を付した。

毎日新聞 2017/02/26

2017:1./ 1,016p

978-4-7642-4041-4

本体 ¥12,000+税



* 9 7 8 4 7 6 4 2 4 0 4 1 4 *



長崎まで

野崎 有以 著
思潮社

東京なんて長くいるようなところじゃない 待っていてくれる人がいるのだったら 帰ったほうがいいにきまつてる 私にはそんな場所はない(「ベビーホテル」より) 片隅の生をやわらかく灯す、12の詩篇。

毎日新聞 2017/02/26

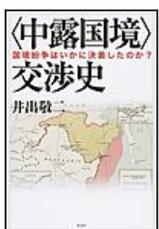
2016:5./ 93p

978-4-7837-3518-2

本体 ¥2,000+税



* 9 7 8 4 7 8 3 7 3 5 1 8 2 *



<中露国境>交渉史～国境紛争はいかに決着したのか?～

井出 敬二 著
作品社

2008年、プーチンは実効支配していた領土をなぜ中国に譲り渡したか? 圧力と交渉によって領土問題が決着した<中露国境紛争>。中露の日本公使を務めた著者が、両国の国境交渉と解決の経緯、交渉者の証言を明らかにする。

毎日新聞 2017/02/26

2017:1./ 257p

978-4-86182-619-1

本体 ¥2,800+税



* 9 7 8 4 8 6 1 8 2 6 1 9 1 *